



下水道モニター 平成27年度第4回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行なっています。

第4回アンケートでは、『東京都下水道事業経営レポート2015』に対する意見と、下水道モニターの感想等についてうかがいました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆実施期間 平成27年11月20日(金)～12月7日(月)18日間
- ◆対象者 東京都下水道局「平成27年度下水道モニター」
※東京都在住20歳以上の男女個人
- ◆回答者数 417名
- ◆調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

【目次】

I 結果の概要

II 回答者属性

III 集計結果

1. 『東京都下水道事業 経営レポート2015』について
2. 下水道モニターの感想について

I 結果の概要

1. 『東京都下水道事業 経営レポート2015』について7~46頁

■ 【レポートの理解度】

(全体) レポートの理解度については、「1.東京都の下水道」の【理解度】※が90.2%と最も多く、次いで「4.震災対策」が83.4%、「3.浸水対策」が81.6%であった。【非理解度】※は、「10.財政運営と営業の効率化」が12.2%、と最も多く、次いで「11.事業指標の達成状況一覧」が11.3%、「12.事業効果の状況」が10.1%であった。

(性別) 性別でみると、【理解度】※は、「1.東京都の下水道」、「3.浸水対策」、「12.事業効果の状況」では、女性が男性より割合が高く、「9.東京下水道の「応援団」を獲得」を除いた他の項目では、男性が女性より割合が高かった。最も【理解度】※が高かったのは「1.東京都の下水道」で、男性が88.9%、女性が91.5%であった。また、男女の差がもっとお大きかったのは「6.合流式下水道の改善」で、男性が76.5%、女性が67.5%と男性が女性より9.0ポイント高かった。

(年代別) 年代別でみると、【理解度】※は、全年代で「1.東京都の下水道」が最も多くなっており、その内60歳代が92.4%と最も多く、次いで40歳代が90.6%、30歳代が90.0%であった。

(地域別) 地域別でみると、【理解度】※は、「5.水再生センター間の相互融通機能の確保」を除いて、23区が多摩地区より割合が高くなっており、その内「7.高度処理」が10.5ポイントと最も差が大きく、次いで「11.事業指標の達成状況一覧」が9.9ポイント、「3.浸水対策」が9.8ポイントであった。

■ 【浸水対策の取組の理解度】

(全体) 浸水対策の取組の理解度については、「3.雨水調整池の整備」が89.5%と最も多く、次いで「1.雨水幹線の整備」が88.1%、「7.雨水浸透ますの設置」が75.0%であった。

(性別) 性別でみると、【理解度】※は、全項目で男性が女性より割合が高い結果となった。最も【理解度】※が高かったのは「3.雨水調整池の整備」で、男性が91.2%、女性が87.4%であった。また、男女の差が最も大きかったのは「2.ポンプ所の能力増強」で、男性が89.5%、女性が83.1%と男性が女性より6.4ポイント高かった。

(年代別) 年代別でみると、【理解度】※は、全体的に高齢層ほど認知度が高く、若年層での認知度が低い傾向であった。

(地域別) 地域別でみると、【理解度】※は、全項目で多摩地区が23区より高く、その内「7.雨水浸透ますの設置」は、7.1ポイントと差が最も大きく、23区が84.4%、多摩地区が91.5%であった。

■ 【レポートについて理解できなかった理由(自由回答)】

(全体) レポートについて理解できなかった理由については、「読みづらい、わかりづらい」が57.3%と最も多く、次いで「内容が難しい」が15.9%であった。

■ 【レポートの評価】

- (全体) レポートの評価については、「3.震災対策」の【高い評価】※が80.4%と最も多く、次いで「2.浸水対策」が78.0%、「6.高度処理」が74.8%であった。
- (性別) 性別でみると、【高い評価】※は、「1.再構築」、「5.合流式下水道の改善」、「6.高度処理」、「9.財政運営と経営の効率化」では男性が女性より割合が高くなっており、その内「1.再構築」が6.5ポイントと最も差が大きかった。一方、「4.水再生センター間の相互融通機能の確保」では、女性が男性より6.7ポイントと最も差が大きかった。
- (年代別) 年代別でみると、【高い評価】※は、50歳代を除いて「3.震災対策」が最も高くなっており、50歳代では「2.浸水対策」が最も高かった。
- (地域別) 地域別でみると、【高い評価】※は、「1.再構築」を除いて、23区が多摩地区より割合が高くなっており、その内「6.高度処理」が11.0ポイントと最も差が大きかった。

■ 【レポートについて評価が低い理由(自由回答)】

- (全体) レポートについて評価が低い理由については、「その他」が27.3%と最も多く、次いで「わかりづらい」が21.8%、「達成率、実績値の低さ」が14.5%であった。

■ 【東京都下水道事業への期待度】

- (全体) 東京都下水道事業への期待度については、「2.浸水対策」の【期待できる】※が84.6%と最も多く、次いで「3.震災対策」が83.5%、「1.再構築」が78.9%であった。
- (性別) 性別でみると、【期待できる】※は、「1.再構築」で男性が80.7%、女性が77.0%と男性が女性より3.7ポイント高く、全項目のうち最も差が大きかった。
- (年代別) 年代別でみると、【高い評価】※は、50歳代を除いて「3.震災対策」が最も高くなっており、50歳代では「2.浸水対策」が最も高かった。
- (地域別) 地域別でみると、【高い評価】※は、「1.再構築」を除いて、23区が多摩地区より割合が高くなっており、その内「9.財政運営と経営の効率化」が6.3ポイントと最も差が大きかった。

■ 【東京都下水道事業への感想や意見(自由回答)】

- (全体) 東京都下水道事業への感想や意見については、「見づらい、わかりづらい」が28.0%と最も多く、次いで「見やすく、わかりやすい」が23.0%、「活動について」が20.9%であった。

2. 下水道モニターの感想について47～67頁

■ 【アンケートの頻度】

- (全体) アンケートの頻度については、「適当」が最も多く、それぞれ「1.実施数(5回/年)」が84.7%、「2.設問数(15問前後)」が89.2%、「3.実施期間(約2週間)」が87.3%であった。
- (性別) 性別でみると、「適当」は、全項目で女性男性よりそれぞれ1.9ポイント、1.8ポイント、0.2ポイント高かった。
- (年代別) 年代別でみると、「多い(長い)」は、「1.実施数(5回/年)」で20歳代が12.5%、「2.設問数(15問前後)」で70歳以上が14.8%と最も多く、「少ない(短い)」は、「3.実施期間(約2週間)」で20歳代が18.8%と最も多かった。
- (地域別) 地域別でみると、「多い(長い)」は、全項目で多摩地区が23区より高かった。

■ 【設問内容のわかり易さ】

- (全体) 設問内容のわかり易さについては、「わかり易い(答えやすい)」が86.2%、「わかりにくい(答えにくい)」が12.2%、「どちらとも言えない」が21.6%であった。
- (性別) 性別でみると、「わかり易い(答えやすい)」は、男性が女性より3.2ポイント高かった。
- (年代別) 年代別でみると、「わかり易い(答えやすい)」は、40歳代が69.6%と最も多く、次いで20歳代が68.8%となっており、「わかりにくい(答えにくい)」は、20歳代が25.0%と最も多く、次いで70歳以上が18.5%であった。
- (地域別) 地域別でみると、「わかり易い(答えやすい)」は、23区が多摩地区より5.1ポイント高かった。

■ 【わかりにくいと思う理由(自由回答)】

- (全体) わかりにくいと思う理由については、「内容が難しい」が25.5%と最も多く、次いで「手間がかかる」が19.6%、「情報量の多さ」が13.7%であった。

■ 【メールマガジン及び施設見学会への評価】

- (全体) メールマガジン及び施設見学会への評価については、【高い評価】※は、「1.メールマガジン」が67.4%、「2.施設見学会」が70.0%であった。
- (性別) 性別でみると、【高い評価】※は、「1.メールマガジン」と「2.施設見学会」はともに男性が女性より割合が高く、それぞれ6.5ポイント、2.9ポイント高かった。
- (年代別) 年代別でみると、【高い評価】※は、「1.メールマガジン」では60歳代が69.6%、「2.施設見学会」では20歳代が68.8%と最も多かった。
- (地域別) 地域別でみると、【高い評価】※は、「1.メールマガジン」と「2.施設見学会」はともに23区が多摩地区より割合が高く、それぞれ8.2ポイント、11.7ポイント高かった。

■ 【メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由(自由回答)】

- (全体) メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由については、「参加条件、回数」が37.5%と最も多く、次いで「メールマガジン」が21.9%、「参加型イベント」が12.5%であった。

■ 【メールマガジンの継続受信意向】

- (全体) メールマガジンの継続受信意向については、「継続したい」が66.4%、「継続しない」が8.6%、「どちらとも言えない」が24.9%であった。
- (性別) 性別でみると、「継続したい」は、男性が女性より9.5ポイント高かった。
- (年代別) 年代別でみると、「継続したい」は、70歳以上除いて、年齢があるにつれ割合が高くなる傾向にあり、60歳代が78.5%であった。
- (地域別) 地域別でみると、「継続したい」は、23区が多摩地区より9.5ポイント高かった。

■ 【謝礼について】

- (全体) 謝礼については、「多い」が3.1%、「適当である」が84.9%、「少ない」が9.8%、「必要ない」が2.2%であった。
- (性別) 性別でみると、「少ない」は、男性が女性より6.4ポイント高かった。
- (年代別) 年代別でみると、「多い」は、70歳以上が11.1%、「少ない」は、60歳代が12.7%と最も多かった。
- (地域別) 地域別でみると、「適当である」は、23区が多摩地区より3.6ポイント高かった。

■ 【意識や行動に変化のあった事項】

(全体) 意識や行動に変化のあった事項については、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が58.3%と最も多く、次いで「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が54.0%、「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」が45.1%であった。一方、「お米はとぎ汁の出ない「無洗米」を使用するようになった」は13.9%と最も低かった。

(性別) 性別でみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」は、男性が女性より1.5ポイント高く、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」と「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」は、それぞれ女性が男性より16.4ポイント、2.7ポイント高かった。

(年代別) 年代別でみると、50歳代と60歳代を除いて、他の年代では「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が最も多く、20歳代からそれぞれ56.3%、54.3%、55.1%、70.4%となっており、50歳代と60歳代では「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が最も多く、それぞれ69.0%、69.6%であった。

(地域別) 地域別でみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」は、23区が多摩地区より2.4ポイント高く、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」と「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」は、それぞれ多摩地区が23区より10.9ポイント、2.6ポイント高かった。

■ 【下水道モニターの感想について】

(全体) 下水道モニターの感想については、「満足している」が74.3%、「不満足である」が4.3%、「どちらとも言えない」が21.3%であった。

(性別) 性別でみると、「満足している」は、女性が男性より1.3ポイント高かった。

(年代別) 年代別でみると、「満足している」は、20歳代が81.3%と最も多く、次いで40歳代が80.4%となっており、「不満足である」は60歳代が10.1%と最も多かった。

(地域別) 地域別でみると、「満足している」は、23区が多摩地区より6.3ポイント高かった。

■ 【下水道モニターの感想（自由回答）】

(全体) □ 下水道モニターの感想については、「勉強になった、興味を持った、わかり易かった」が62.8%と最も多く、次いで「アンケートについて」が10.4%、「その他」が8.0%であった。

Ⅱ 回答者属性

- 第4回アンケートは、平成27年11月20日(金)から12月7日(月)までの18日間で実施した。その結果、417名の方から回答があった。(回答率55.3%)

- 回答者数(性別、年代別、地域別、職業別)

■ 回答者 性別

性別	モニター数	回答者数	回答率
男性	387	217	56.1%
女性	418	200	47.8%
無回答	3	0	0.0%
全体	808	417	51.6%

■ 回答者 年代別

年代別	モニター数	回答者数	回答率
20歳代	52	16	30.8%
30歳代	181	70	38.7%
40歳代	260	138	53.1%
50歳代	139	87	62.6%
60歳代	121	79	65.3%
70歳以上	52	27	51.9%
無回答	3	0	0.0%
合計	808	417	51.6%

■ 回答者 居住地

居住地	モニター数	回答者数	回答率
23区	461	243	52.7%
多摩地区	346	174	50.3%
無回答	1	0	0.0%
合計	808	417	51.6%

■ 回答者 職業

職業	モニター数	回答者数	回答率
会社員	356	181	50.8%
自営業	67	31	46.3%
学生	12	4	33.3%
私立学校教員・塾講師	6	3	50.0%
パート	71	34	47.9%
アルバイト	21	15	71.4%
専業主婦	150	79	52.7%
無職	90	58	64.4%
その他	32	12	37.5%
無回答	3	0	0.0%
合計	808	417	51.6%

Ⅲ集計結果

※ 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（％）はすべて「n」を基数（100％）として算出している。
また、小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100％にならないこともある。

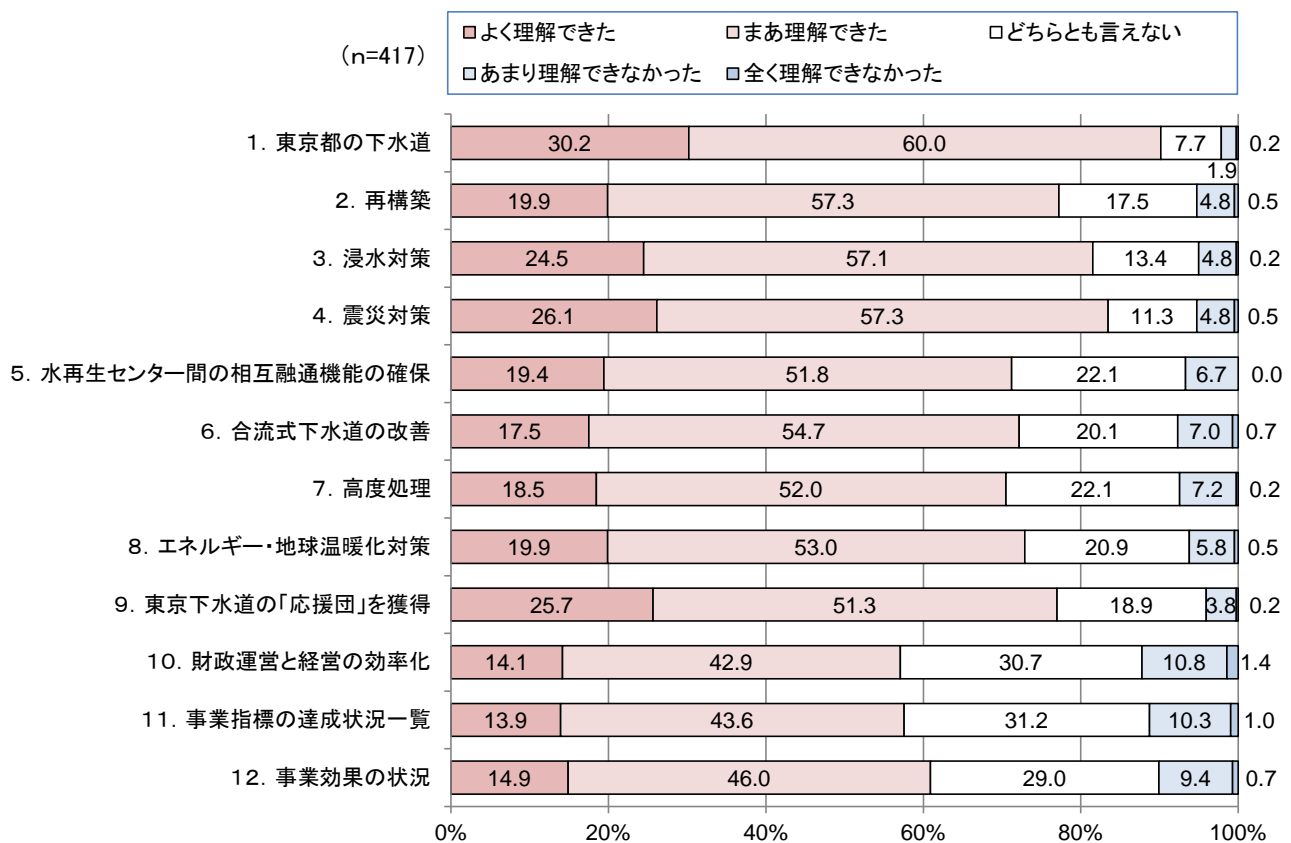
1. 『東京都下水道事業 経営レポート2015』について

1-1. レポートの理解度

- ◆ レポートの理解度については、「1.東京都の下水道」の【理解度】*が90.2%と最も多く、次いで「4.震災対策」が83.4%、「3.浸水対策」が81.6%であった。
- ◆ 【非理解度】*は、「10.財政運営と営業の効率化」が12.2%、と最も多く、次いで「11.事業指標の達成状況一覧」が11.3%、「12.事業効果の状況」が10.1%であった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

図表1-1 レポートの理解度



※ レポートの認知度について、「よく理解できた」、「まあ理解できた」の回答を合算した比率を【理解度】、「あまり理解できなかった」、「全く理解できなかった」の回答を合算した比率を【非理解度】と定義した。

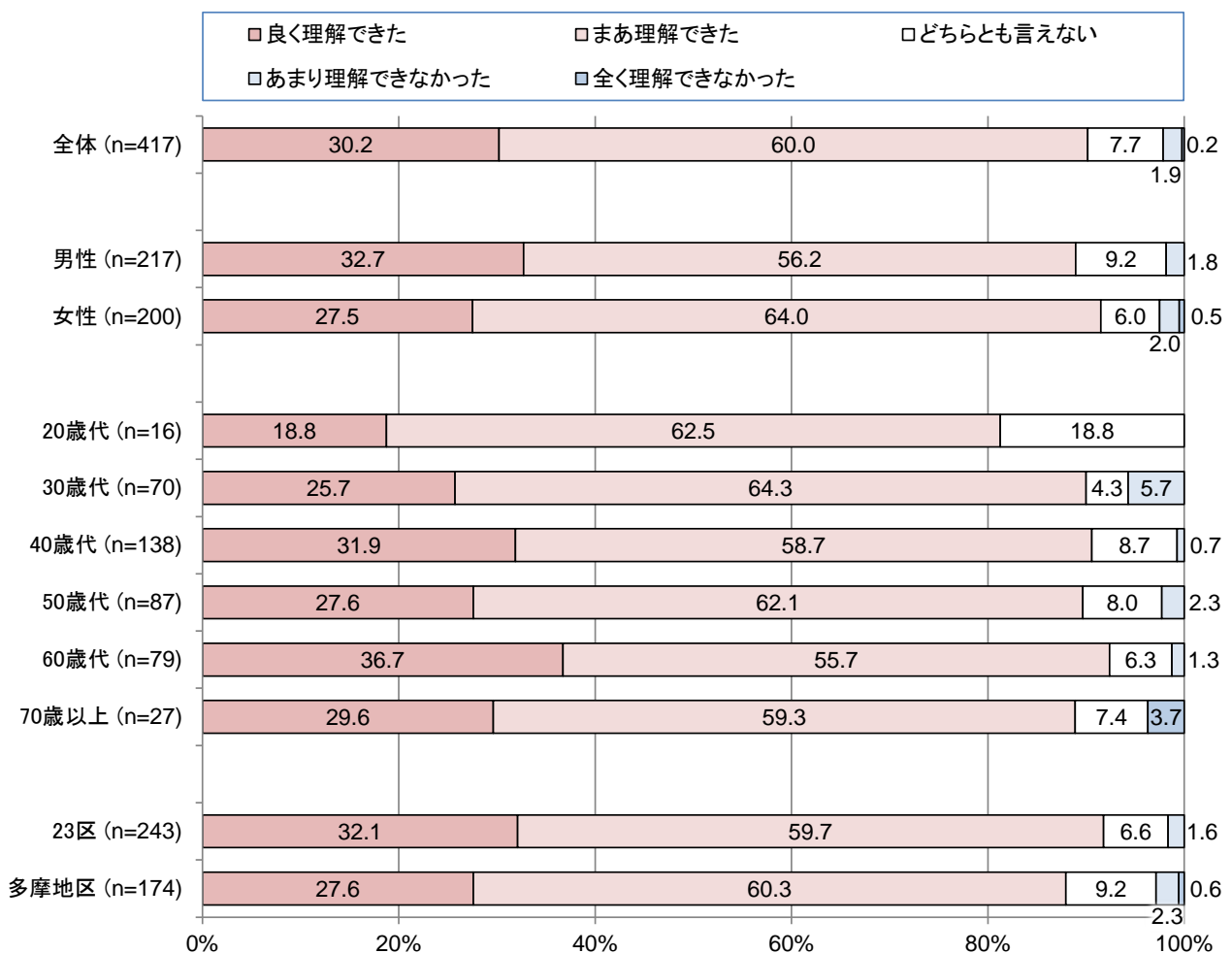
1-1-1. レポートの理解度（1. 東京都の下水道）

- ◆ レポートの理解度「1.東京都の下水道」については、【理解度】※が 90.2%、【非理解度】※が 2.1%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、女性が男性より 2.6 ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、60 歳代が 92.4%と最も多く、次いで 40 歳代が 90.5%、30 歳代が 90.0%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23 区が多摩地区より 3.9 ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

【1. 東京都の下水道】

図表 1-1-1 レポートの理解度（東京都の下水道）

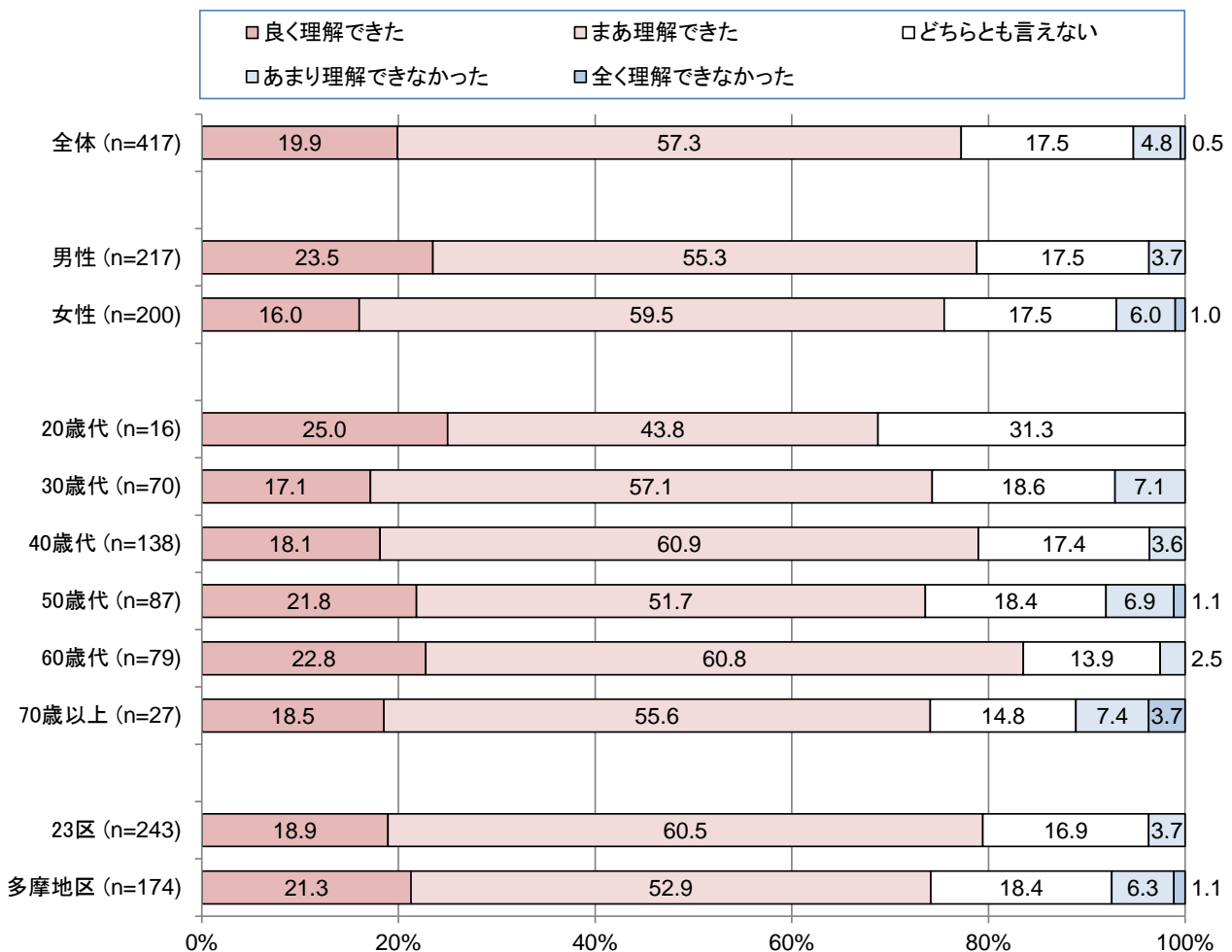


1-1-2. レポートの理解度（2. 再構築）

- ◆ レポートの理解度「2. 再構築」については、【理解度】*が77.2%、【非理解度】*が5.3%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】*は、男性が女性より3.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】*は、60歳代が83.6%と最も多く、次いで40歳代が79.0%、30歳代が74.2%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】*は、23区が多摩地区より5.2ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）
【2. 再構築】

図表1-1-2 レポートの理解度（再構築）

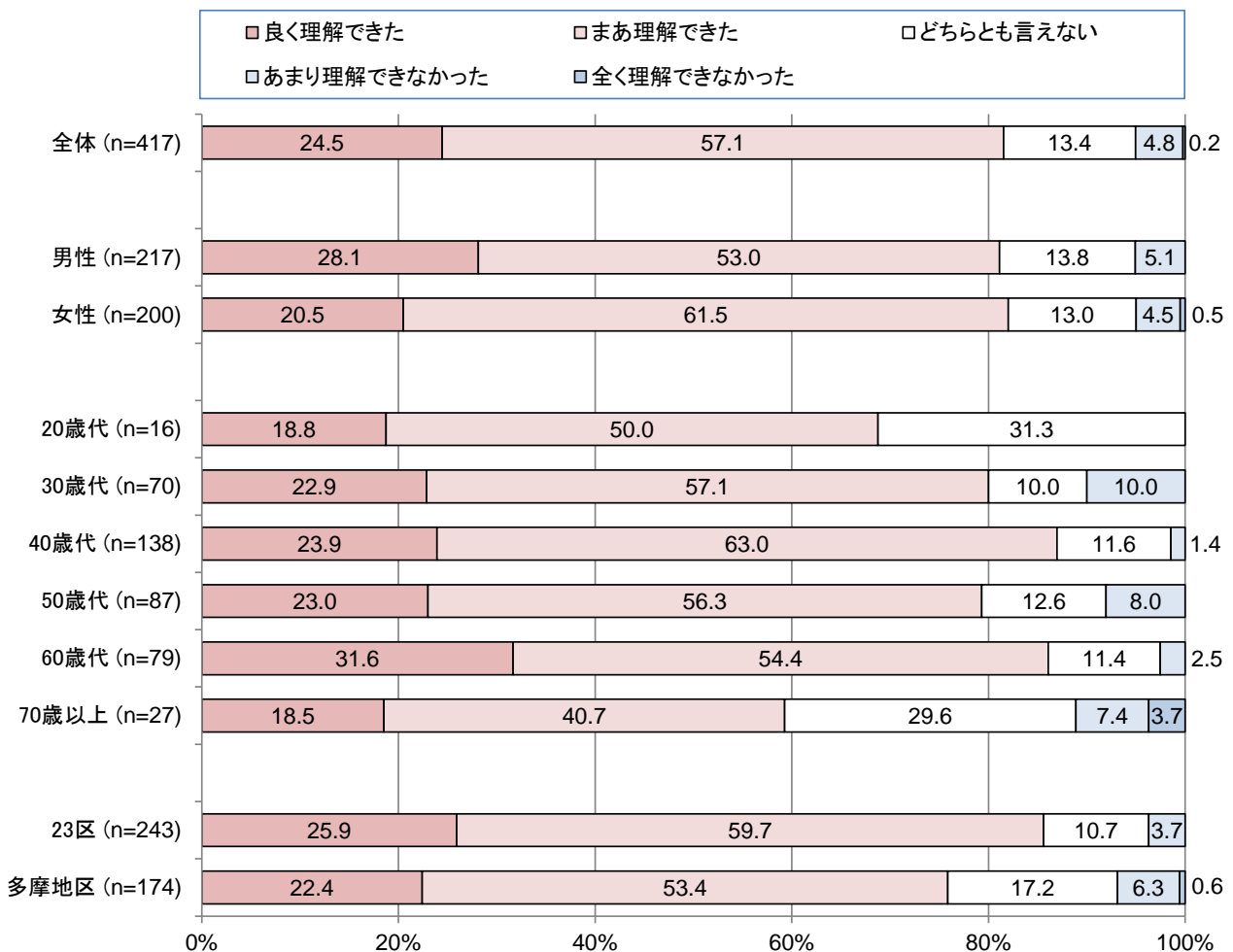


1-1-3. レポートの理解度 (3. 浸水対策)

- ◆ レポートの理解度「3. 浸水対策」については、【理解度】※が81.6%、【非理解度】※が5.0%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、女性が男性より0.9ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、40歳代が86.9%と最も多く、次いで60歳代が86.0%、30歳代が80.0%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より9.8ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)
【3. 浸水対策】

図表1-1-3 レポートの理解度 (浸水対策)

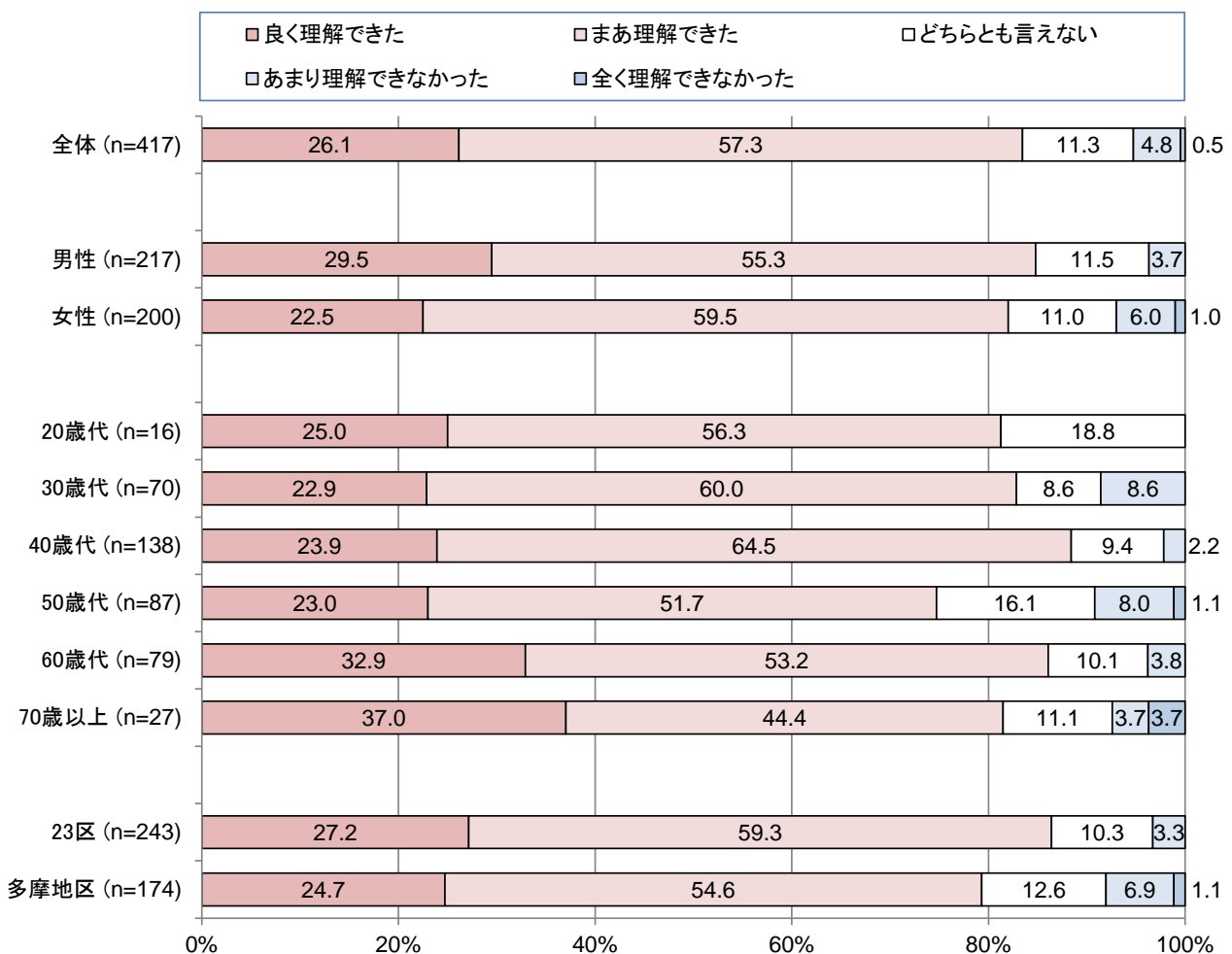


1-1-4. レポートの理解度（4. 震災対策）

- ◆ レポートの理解度「4. 震災対策」については、【理解度】※が83.4%、【非理解度】※が5.3%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、男性が女性より2.8ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、40歳代が88.4%と最も多く、次いで60歳代が86.1%、30歳代が82.9%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より7.2ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）
【4. 震災対策】

図表1-1-4 レポートの理解度（震災対策）

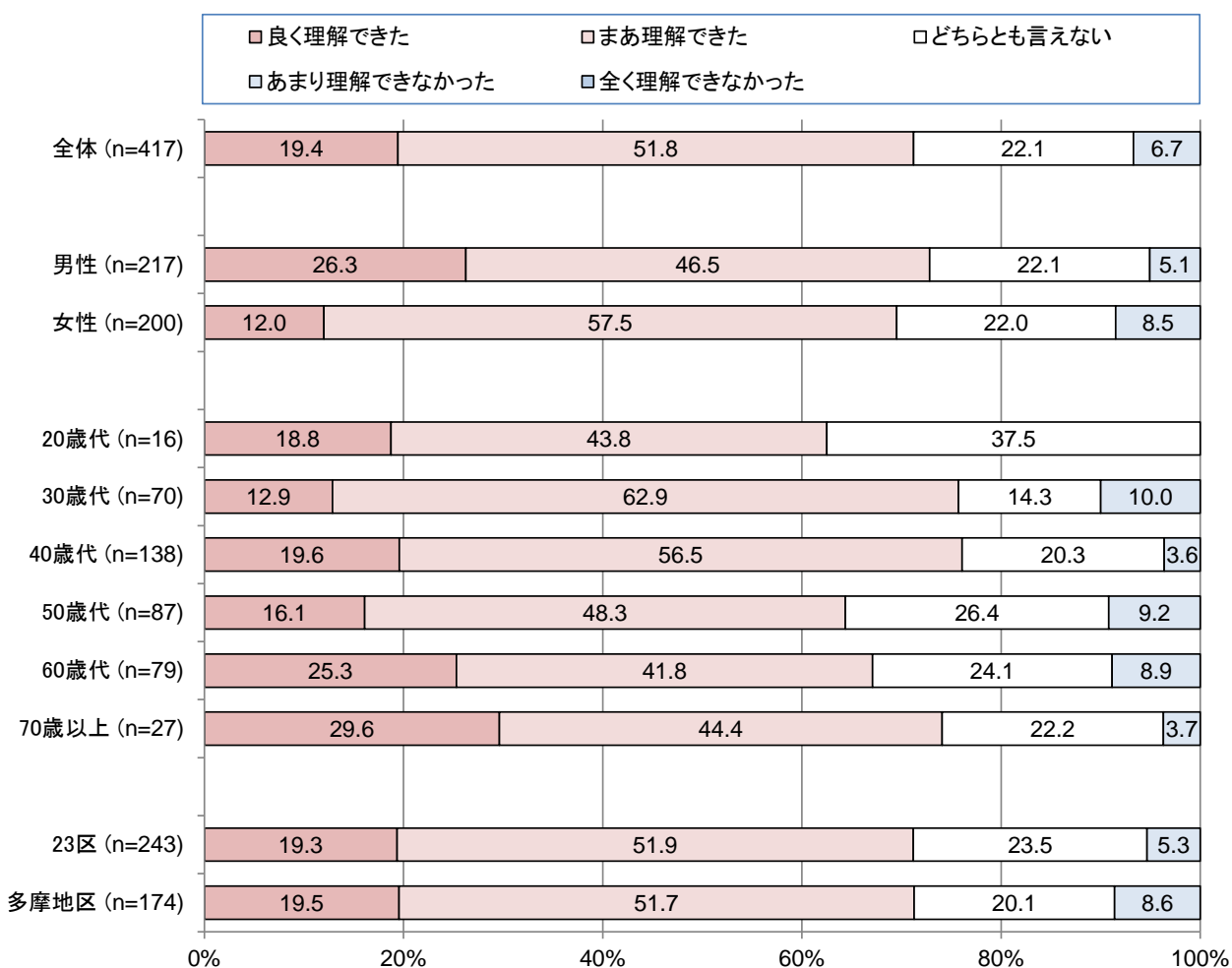


1-1-5. レポートの理解度(5. 水再生センター間の相互融通機能の確保)

- ◆ レポートの理解度「5. 水再生センター間の相互融通機能の確保」については、【理解度】*が71.2%、【非理解度】*が6.7%であった。
- ◆ 性別でみると、【理解度】*は、男性が女性より3.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】*は、40歳代が76.1%と最も多く、次いで30歳代が75.8%、70歳以上が74.0%であった。
- ◆ 地域別でみると、【理解度】*は、23区と多摩地区で大きな差はみられない。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)
【5. 水再生センター間の相互融通機能の確保】

図表1-1-5 レポートの理解度(水再生センター間の相互融通機能の確保)



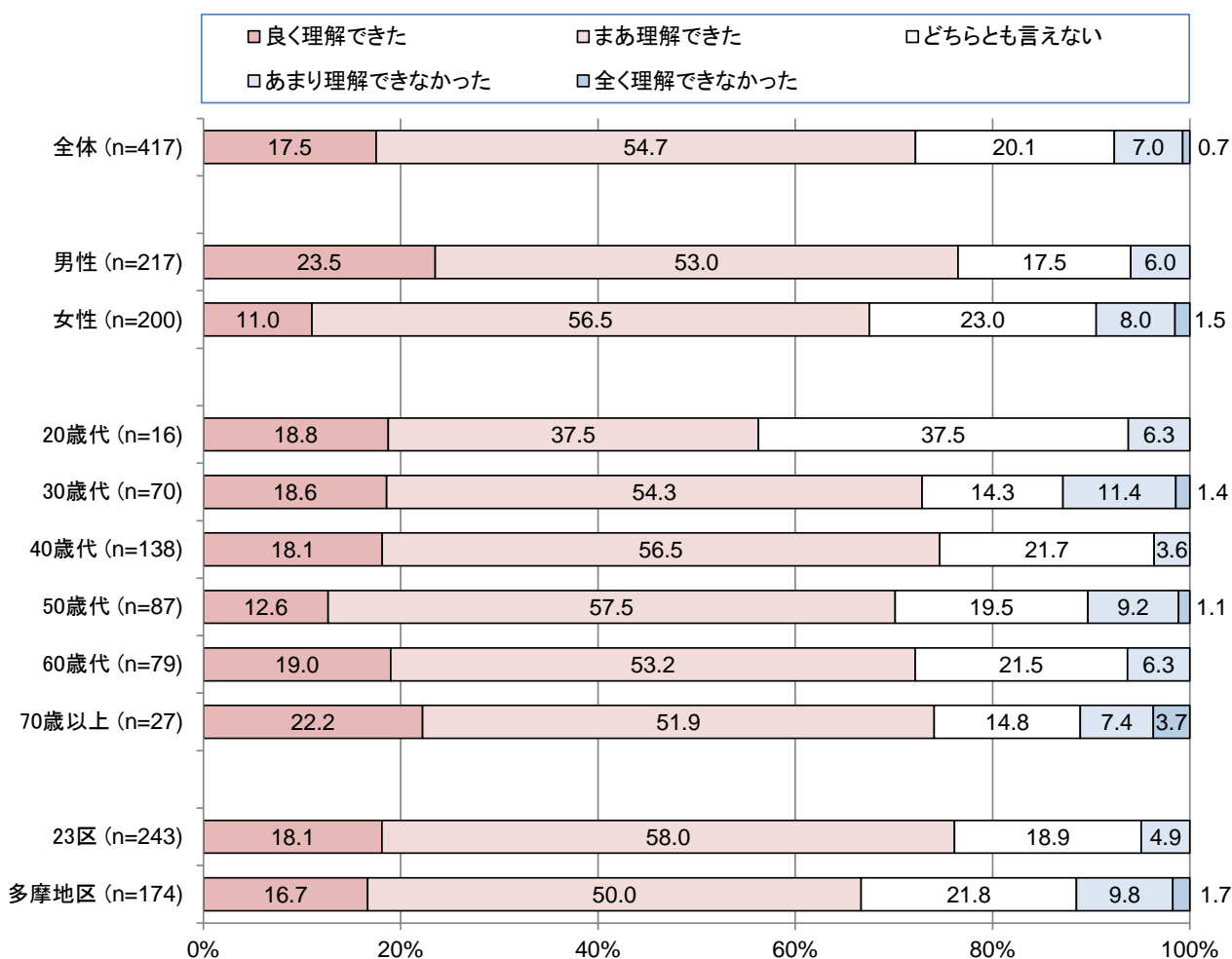
1-1-6. レポートの理解度（6. 合流式下水道の改善）

- ◆ レポートの理解度「6. 合流式下水道の改善」については、【理解度】※が72.2%、【非理解度】※が7.7%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、男性が女性より9.0ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、40歳代が74.6%と最も多く、次いで70歳以上が74.1%、30歳代が72.9%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より9.4ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

【6. 合流式下水道の改善】

図表1-1-6 レポートの理解度（合流式下水道の改善）

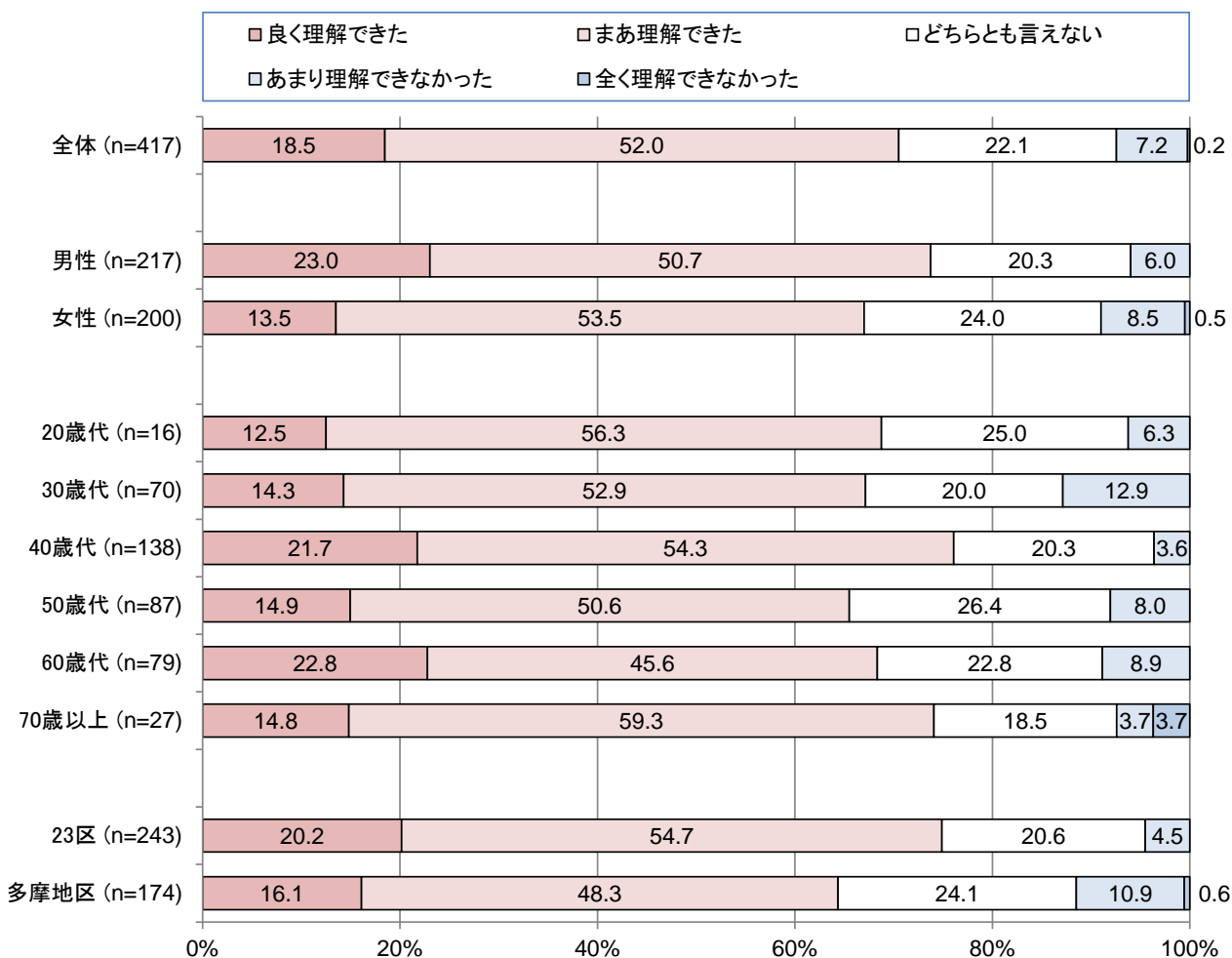


1-1-7. レポートの理解度（7. 高度処理）

- ◆ レポートの理解度「7. 高度処理」については、【理解度】※が70.5%、【非理解度】※が7.4%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、男性が女性より6.7ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、40歳代が76.0%と最も多く、次いで70歳以上が74.1%、20歳代が68.8%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より10.5ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）
【7. 高度処理】

図表1-1-7 レポートの理解度（高度処理）

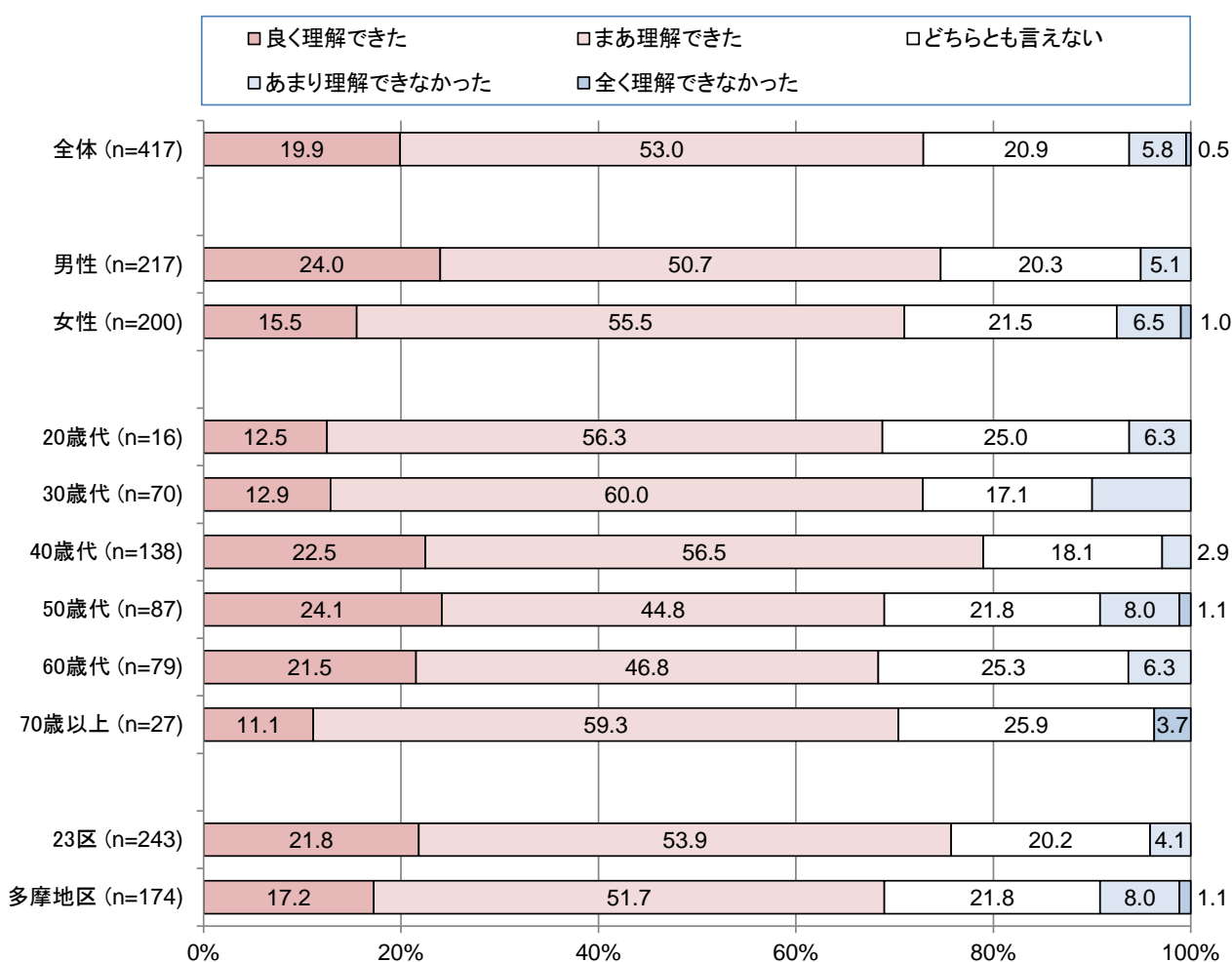


1-1-8. レポートの理解度（8. エネルギー・地球温暖化対策）

- ◆ レポートの理解度「8. エネルギー・地球温暖化対策」については、【理解度】※が72.9%、【非理解度】※が6.3%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、男性が女性より3.7ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、40歳代が79.0%と最も多く、次いで30歳代が72.9%、70歳以上が70.4%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より6.7ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）
【8. エネルギー・地球温暖化対策】

図表1-1-8 レポートの理解度（エネルギー・地球温暖化対策）

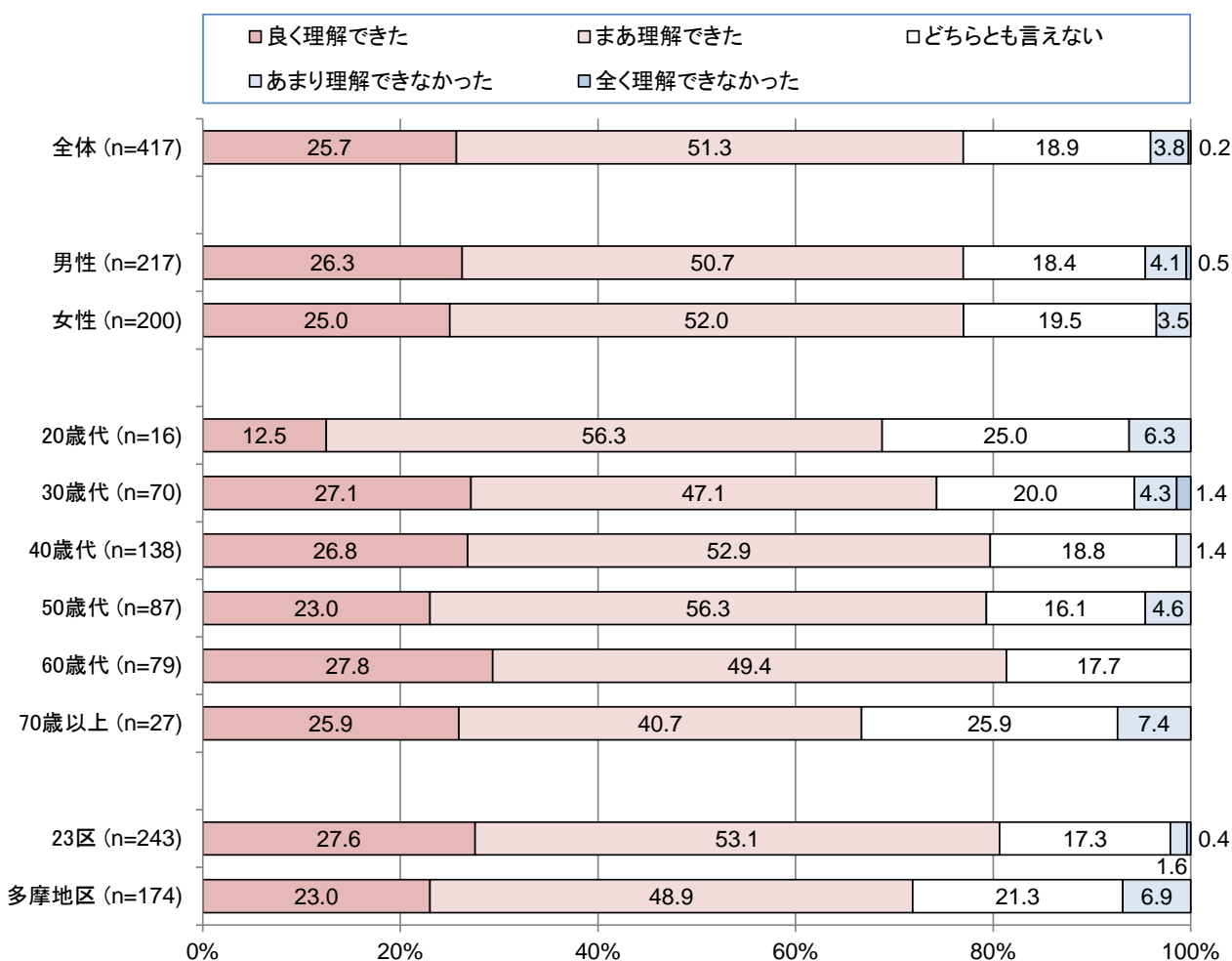


1-1-9. レポートの理解度（9. 東京下水道の「応援団」を獲得）

- ◆ レポートの理解度「9. エネルギー・地球温暖化対策」については、【理解度】*が77.0%、【非理解度】*が4.0%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】*は、男性と女性で大きな差はみられない。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】*は、40歳代が79.7%と最も多く、次いで50歳代が79.3%、60歳代が77.2%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】*は、23区が多摩地区より8.8ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）
【9. 東京下水道の「応援団」を獲得】

図表1-1-9 レポートの理解度（東京下水道の「応援団」を獲得）



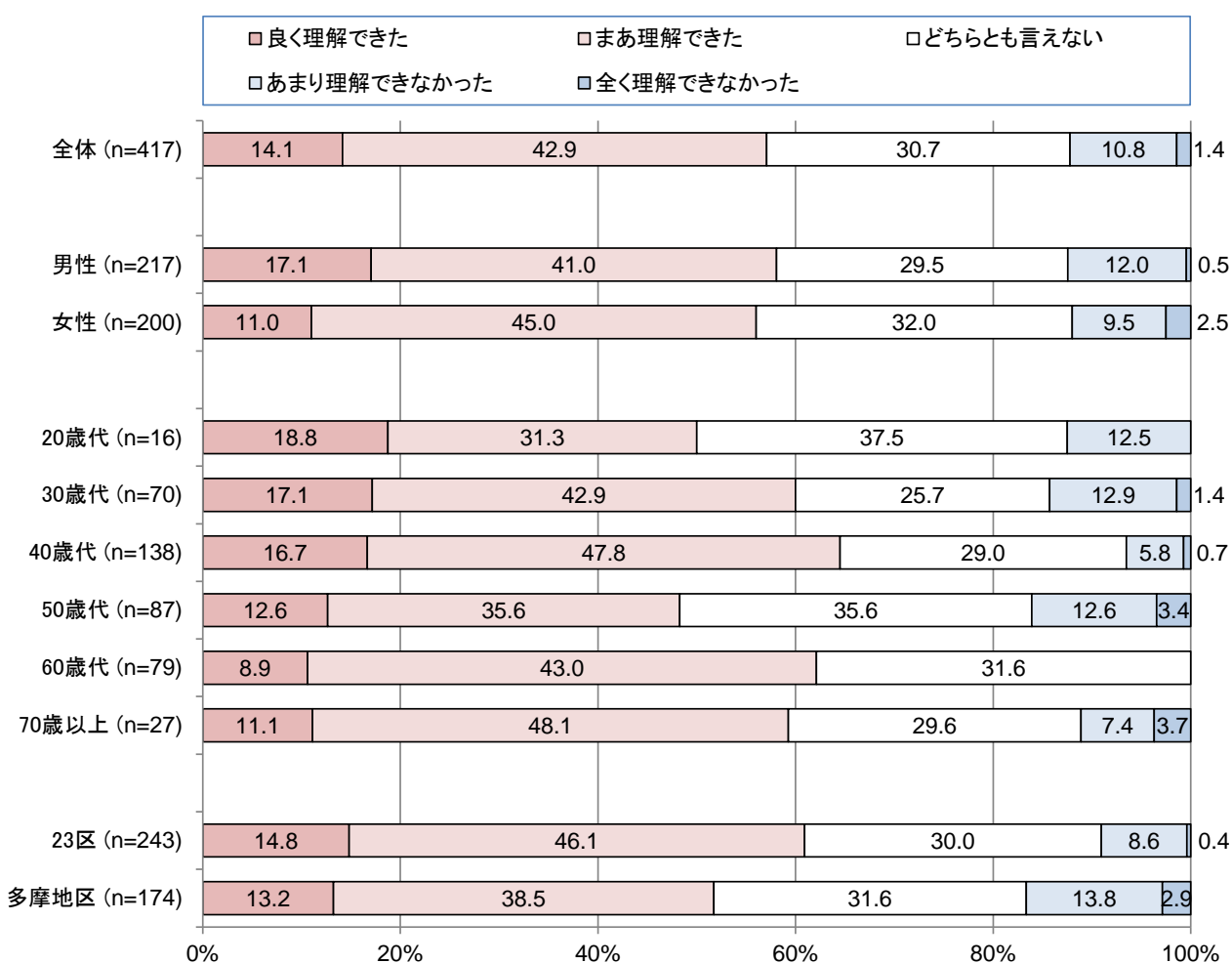
1-1-10. レポートの理解度（10. 財政運営と経営の効率化）

- ◆ レポートの理解度「10. エネルギー・地球温暖化対策」については、【理解度】*が57.0%、【非理解度】*が12.2%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】*は、男性が女性より2.1ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】*は、40歳代が64.5%と最も多く、次いで30歳代が60.0%、70歳以上が59.2%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】*は、23区が多摩地区より9.2ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

【10. 財政運営と経営の効率化】

図表1-1-10 レポートの理解度（財政運営と経営の効率化）



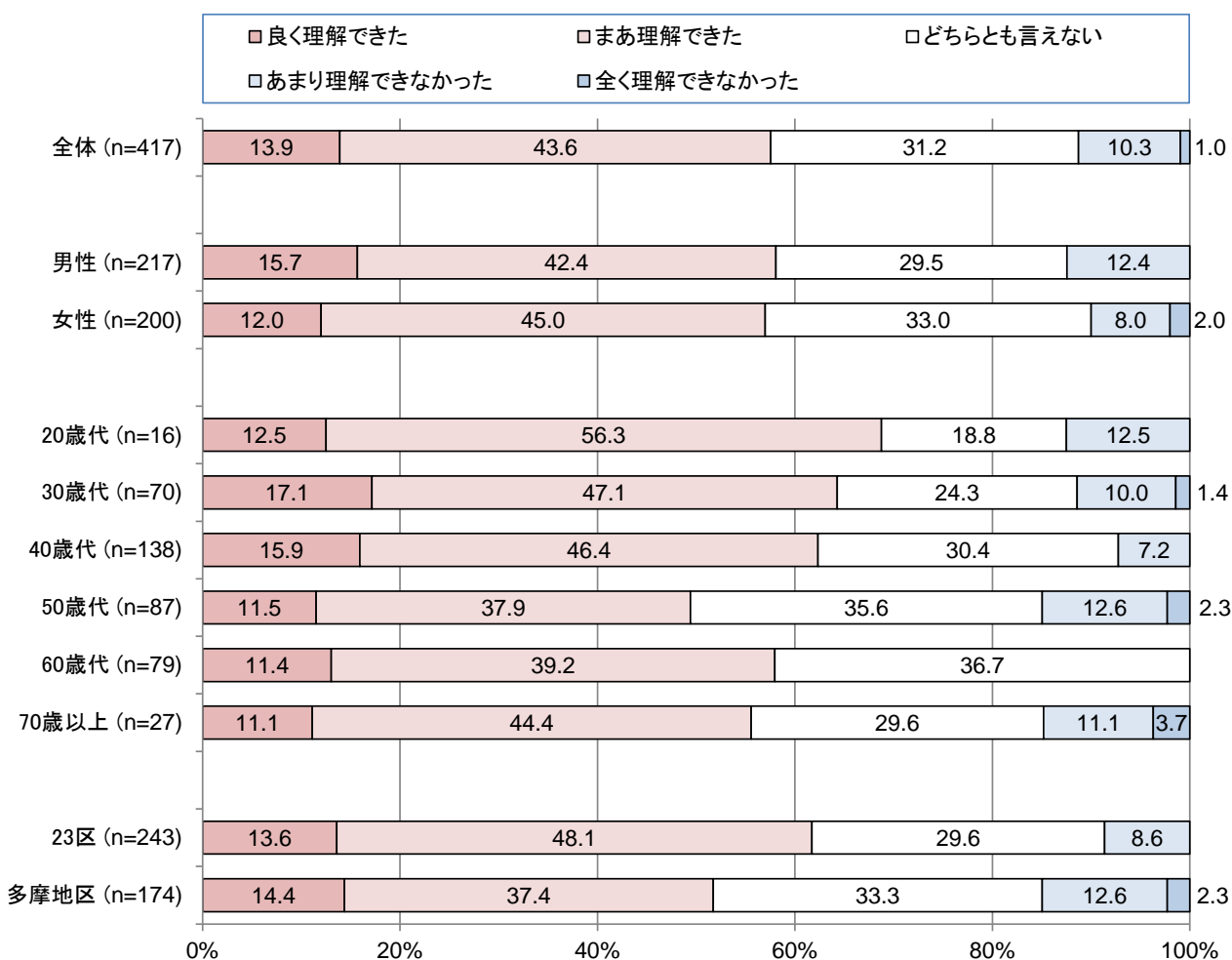
1-1-11. レポートの理解度（11. 事業指標の達成状況一覧）

- ◆ レポートの理解度「11. 事業指標の達成状況一覧」については、【理解度】※が57.5%、【非理解度】※が11.3%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、男性が女性より1.1ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、20歳代が68.8%と最も多く、次いで30歳代が64.2%、40歳代が62.3%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より9.9ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

【11. 事業指標の達成状況一覧】

図表1-1-11 レポートの理解度（事業指標の達成状況一覧）



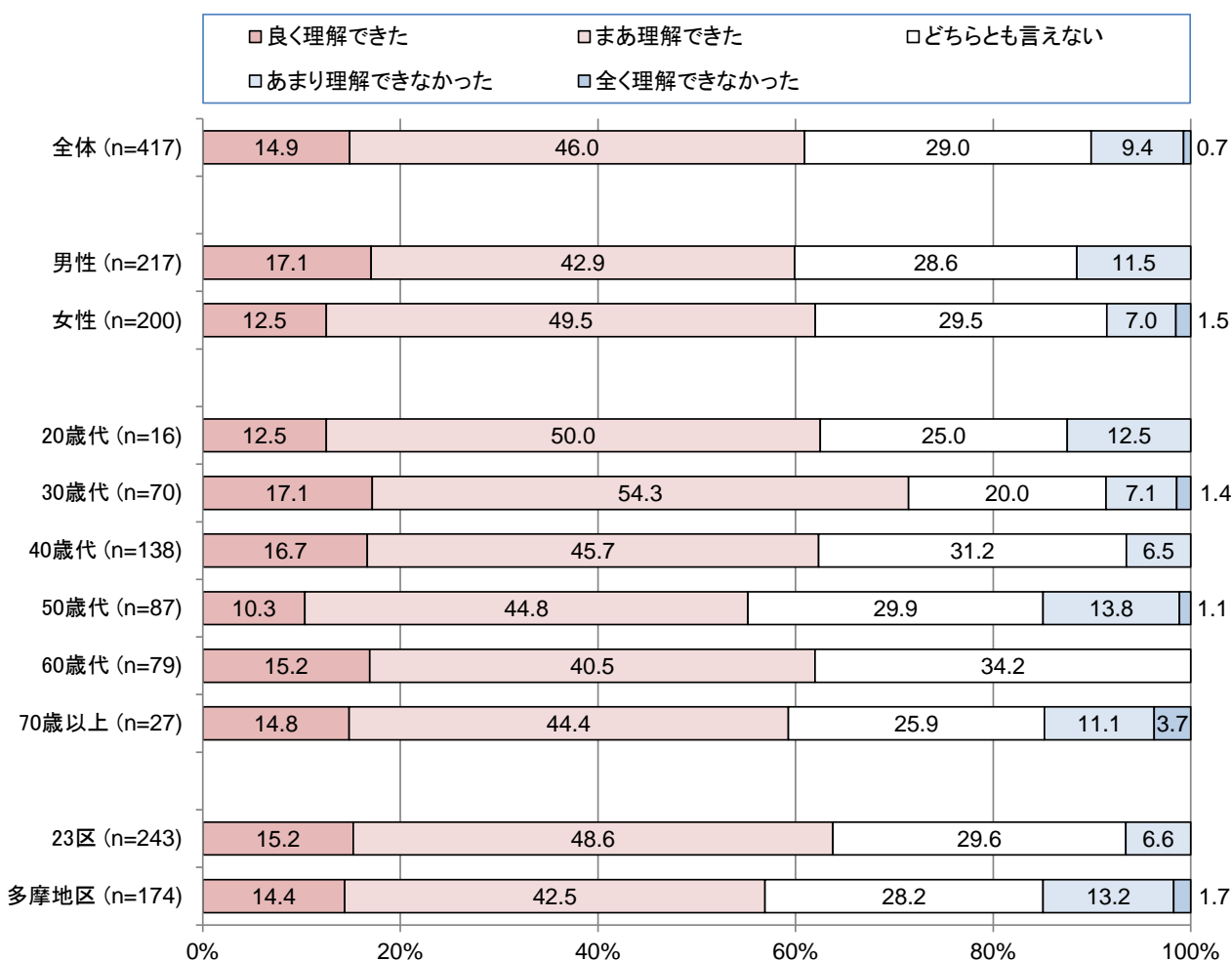
1-1-12. レポートの理解度（12. 事業効果の状況）

- ◆ レポートの理解度「12. 事業効果の状況」については、【理解度】※が60.9%、【非理解度】※が10.1%であった。
- ◆ 性別で見ると、【理解度】※は、女性が男性より2.0ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は、30歳代が71.4%と最も多く、次いで20歳代が62.5%、40歳代が62.4%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【理解度】※は、23区が多摩地区より6.9ポイント高かった。

Q5 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

【12. 事業効果の状況】

図表1-1-12 レポートの理解度（事業効果の状況）

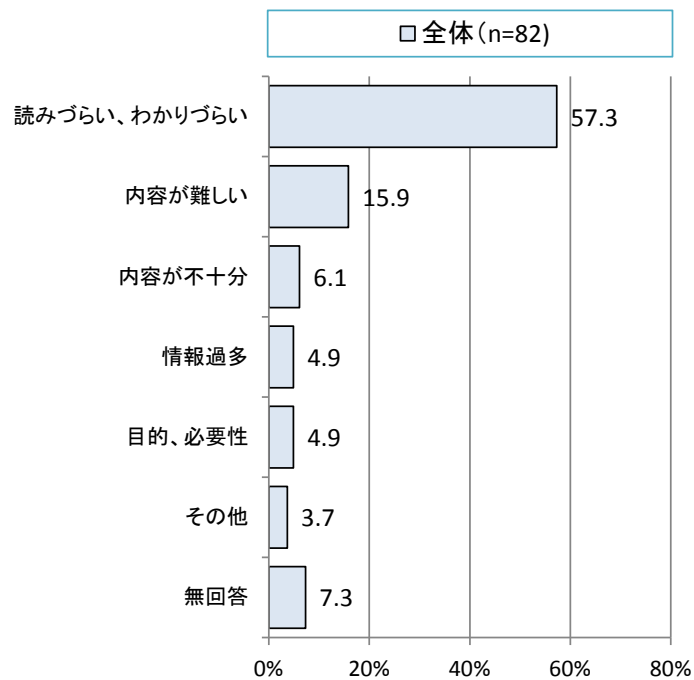


1-2. レポートについて理解できなかった理由（自由回答）

- ◆ レポートについて理解できなかった理由については、「読みづらい、わかりづらい」が57.3%と最も多く、次いで「内容が難しい」が15.9%であった。
- ◆ 以下、レポートについて理解できなかった理由を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q6. 上記Q5の中で、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表1-2 レポートについて理解できなかった理由（自由回答）



◆ 【1. 東京都の下水道】

- ◇ 字が多い。例えば右下に四角で囲んで「このページで伝えたいこと」を図示または、箇条書きして、概要はそこを見ればわかるように記載してはどうか。興味を持って詳しい内容を知りたいればページ全体を見ればよいと思います。（50歳代男性、23区）
- ◇ 字が多すぎて読む気になりませんでした。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 文字ベースの説明が多く、分かりづらかったです。（30歳代男性、23区）

◆ 【2. 再構築】

- ◇ 字ばかりでとっつきにくいから。（20歳代女性、多摩地区）
- ◇ 表の見方がわかりにくかった。親しみのない言葉があり、読み込みにくかった。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 本当に一般人に対する資料なのか？と疑いたくなるほどの回りくどい表現と専門もしくはお役所用語。（50歳代女性、多摩地区）

◆ 【3. 浸水対策】

- ◇ そもそも施設の内容が分からないため、理解まで至らなかった。（30歳代男性、多摩地区）
- ◇ 財政運営の効率化を指標にだしているのはいいが、その他に補助資料で円グラフなどもっと具体的にわかりやすく数値だけではなく、写真などを使ったり、海外との比較などもっとわかりやすくしないと、一般市民からはかけ離れているので普通の会社の財務諸表と違ってわからない。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 字が多すぎて全く読む気が無くなったから。読ませる工夫が欲しい。（60歳代男性、多摩地区）

◆ 【4. 震災対策】

- ◇ 数値の羅列で感覚的に分かりづらい。図表の方が達成率などを把握しやすいのではないかと。（50歳代女性、23区）
- ◇ 全体的にそうなのですが、文字や数字が多すぎて読む気が失せる。（40歳代女性、23区）
- ◇ 元々、知らない分野なので、説明されても分からない。（50歳代男性、多摩地区）

◆ 【5. 水再生センター間の相互融通機能の確保】

- ◇ もともとわかりにくい項目なので、基本的なことが理解できてないから。（40歳代女性、23区）
- ◇ イラストや分かりやすい図表がないからである。（60歳代男性、23区）
- ◇ 内容が専門的すぎる。（30歳代男性、23区）

◆ 【6. 合流式下水道の改善】

- ◇ ごちゃごちゃしていて、読む気が失せるから。（40歳代男性、23区）
- ◇ 合流云々は、都心（区部）だけなんではしょうか？地図を見ても、自分の地域がわからないので、どういいのかわかりません。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ なんのためにやっているかの説明がないから。（40歳代男性、多摩地区）

◆ 【7. 高度処理】

- ◇ 記事が一同にたくさん書いてあり、後ろの方になると集中がなくなり読みづらくなる。二部、三部にわけてほしいです。（30歳代女性、23区）
- ◇ そもそも、何を目的として作られた冊子かわからない。財政報告なのか、活動報告なのか、これを見た人に何を知らせてもらいたかったのか、こんなにがんばって取り組んでいますよ。ってということ？特に地図のページは何がいいたいか専門職じゃないのだから理解不能です。（50歳代女性、多摩地区）
- ◇ 用語が難しい。（40歳代女性、多摩地区）

◆ 【8. エネルギー・地球温暖化対策】

- ◇ 業界用語が多い：入札・受注率は、消費者（都民）水道局と業者間の話。（50歳代女性、23区）
- ◇ 内容が細かすぎるのでは？少々読みにくい。申し訳ないが財務内容は興味が湧きませんでした。（60歳代男性、23区）
- ◇ 数字やコメントの説明でイメージしにくい。もう少し、イメージや図などで比較対象できると理解しやすい。（60歳代男性、23区）

◆ 【9. 東京下水道の「応援団」を獲得】

- ◇ スローガンのような言葉が多い。（40歳代男性、多摩地区）
- ◇ 詳細すぎて読むのが嫌になってくる。よくやってるのは理解できるのでよろしくという気持ちです。（70歳以上男性、多摩地区）
- ◇ 一般の都民にわかってもらおうという書き方ではないから。自己満足的な書き方ですね。（50歳代女性、多摩地区）

◆ 【10. 財政運営と経営の効率化】

- ◇ 高度に技術的な内容や具体的な数値（目標値、達成率）については専門家でない判断が難しい。それでも、一般の人にわかりやすく説明しようとする努力や詳しい施策を公表することは必要と思う。（40歳代男性、多摩地区）
- ◇ 個人へのアンケートである事を考え、もっと要約して提示して下さい。（事業計画を二十数ページも確認しないと回答できないようでは困ります）。（60歳代女性、多摩地区）
- ◇ 本来あるべき数字なのかどうかの判断がつかない。（50歳代女性、23区）

◆ 【11. 事業指標の達成状況一覧】

- ◇ 数字がたくさん並んでいるとちょっと理解しづらい。固いイメージに感じてしまう。（50歳代女性、23区）
- ◇ 表がわかりにくかった。イラストがあると、わかりやすかった。（20歳代女性、23区）
- ◇ 本数値の意味合いが実感として解かりにくいと思いました。（50歳代男性、多摩地区）

◆ 【12. 事業効果の状況】

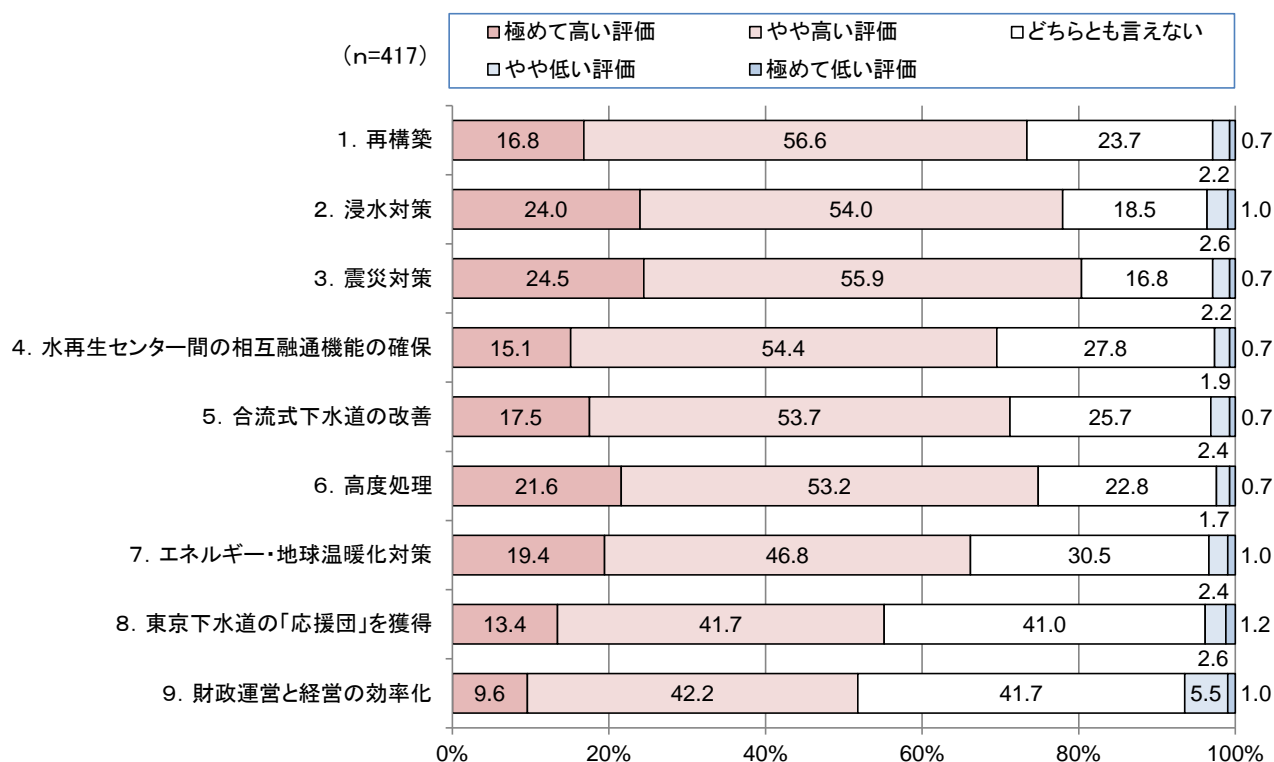
- ◇ 書き方が難しいと感じたから。（40歳代女性、23区）
- ◇ Q12 目標値が記載されていないために、実数等を把握しにくい。（60歳代男性、多摩地区）
- ◇ 表が多く、理解するのが難しい。（50歳代女性、多摩地区）

1-3. レポートの評価

- ◆ レポートの評価については、「3.浸水対策」の【高い評価】※が80.4%と最も多く、次いで「2.浸水対策」が78.0%、「6.高度処理」が74.8%であった。
- ◆ 全項目において、【低い評価】※は1割未満であった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表1-3 レポートの評価



※ レポートの評価について、「極めて高い評価」、「やや高い評価」の回答を合算した比率を【高い評価】、「やや低い評価」、「極めて低い評価」の回答を合算した比率を【低い評価】と定義した。

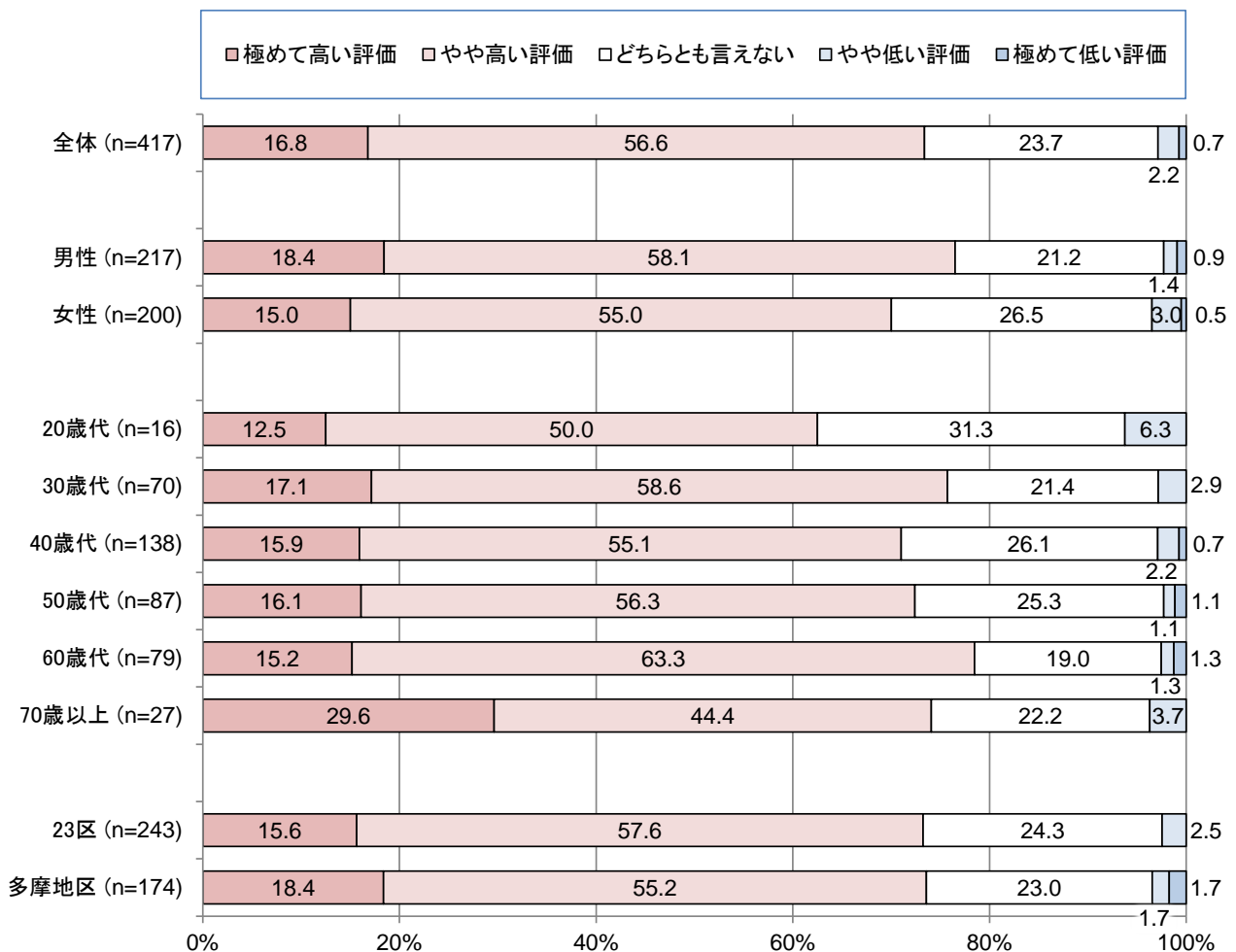
1-3-1. レポートの評価（1. 再構築）

- ◆ レポートの評価「1. 再構築」については、【高い評価】*が73.4%、【低い評価】*が2.9%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、男性が女性より6.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、60歳代が78.5%と最も多く、次いで30歳代が75.7%、70歳以上が74.0%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、多摩地区が23区より0.4ポイントとやや高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【1. 再構築】

図表1-3-1 レポートの評価（再構築）

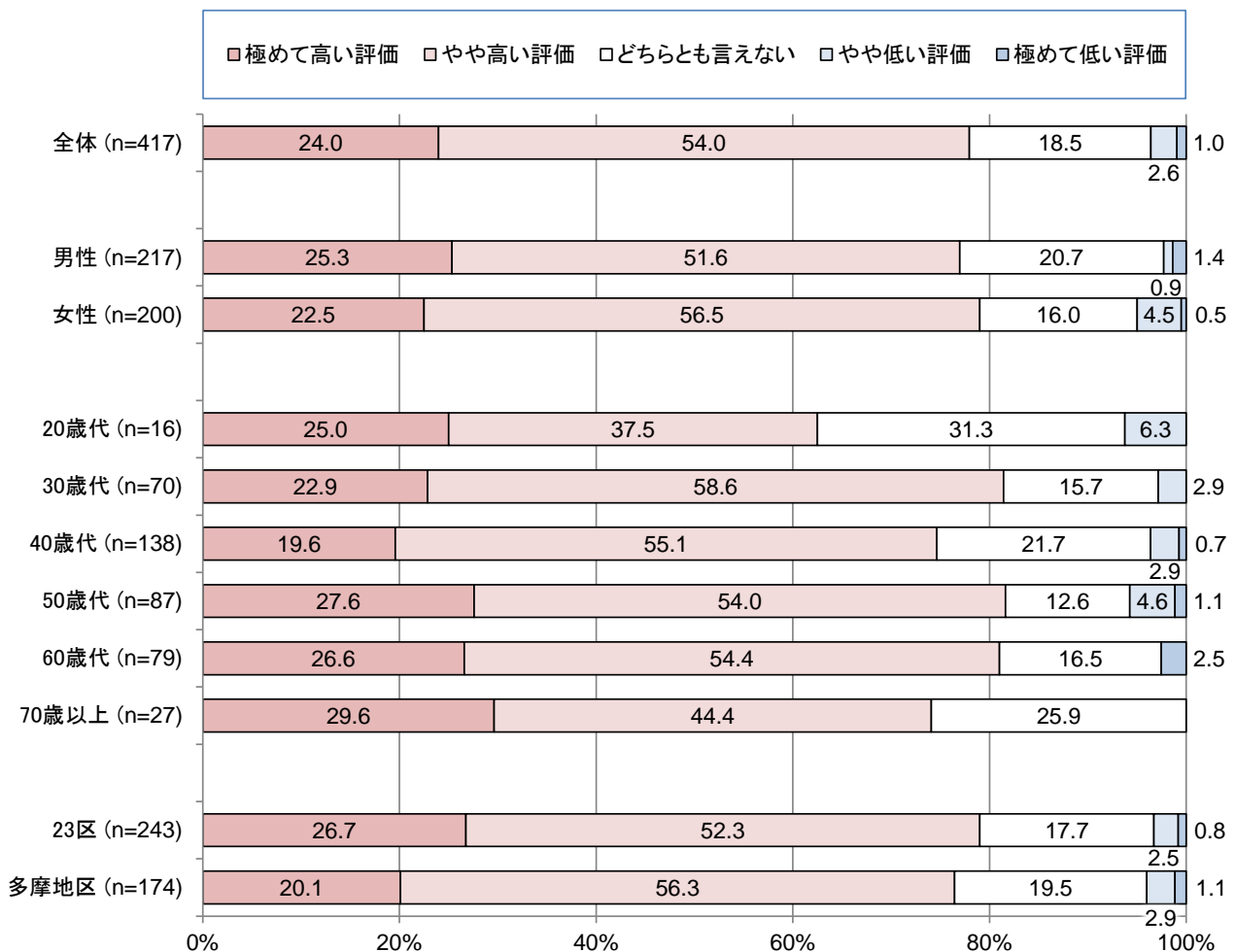


1-3-2. レポートの評価（2. 浸水対策）

- ◆ レポートの評価「2. 浸水対策」については、【高い評価】*が78.0%、【低い評価】*が3.6%であった。
- ◆ 性別でみると、【高い評価】*は、女性が男性より2.1ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【高い評価】*は、50歳代が81.6%と最も多く、次いで30歳代が81.5%、60歳代が81.0%であった。
- ◆ 地域別でみると、【高い評価】*は、23区が多摩地区より2.6ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）
【2. 浸水対策】

図表1-3-2 レポートの評価（浸水対策）

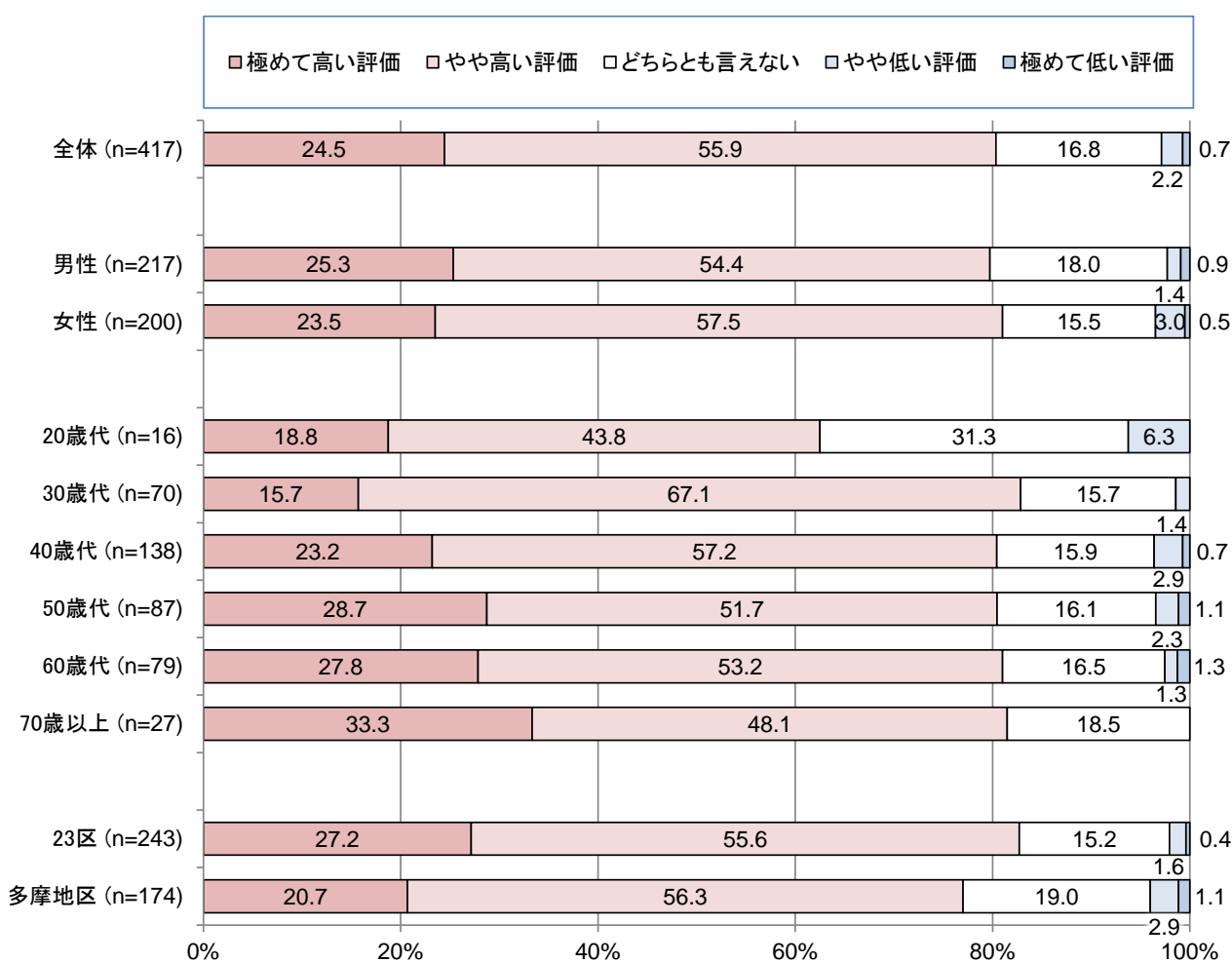


1-3-3. レポートの評価（3. 震災対策）

- ◆ レポートの評価「3. 震災対策」については、【高い評価】*が80.4%、【低い評価】*が2.6%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、女性が男性より1.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、30歳代が82.8%と最も多く、20歳代が62.6%と最も低かった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、23区が多摩地区より5.8ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）
【3. 震災対策】

図表1-3-3 レポートの評価（震災対策）

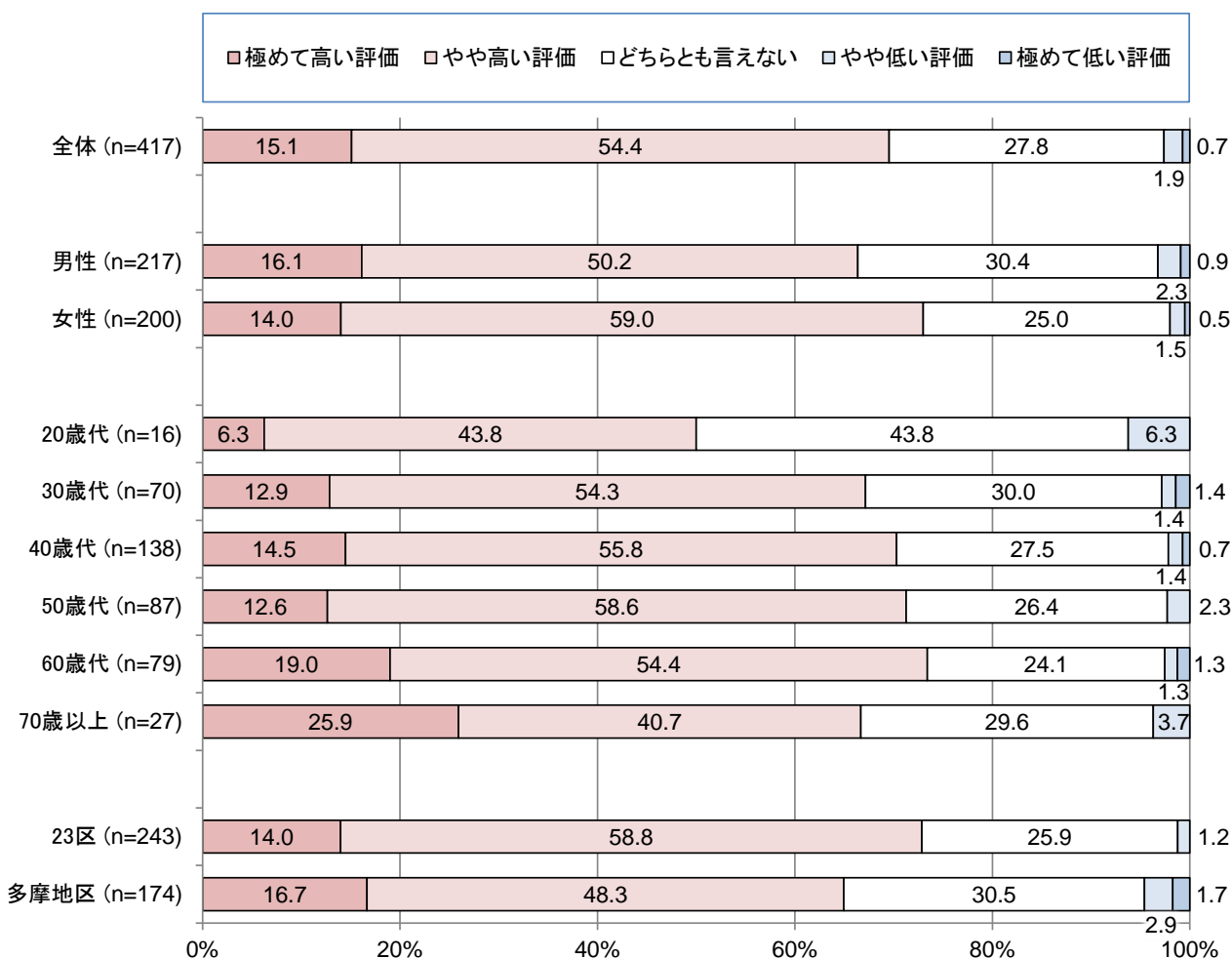


1-3-4. レポートの評価（4. 水再生センター間の相互融通機能の確保）

- ◆ レポートの評価「4. 水再生センター間の相互融通機能の確保」については、【高い評価】*が 69.5%、【低い評価】*が 2.6%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、女性が男性より 6.7 ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、70 歳以上を除いて、年齢が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあり、60 歳代では 73.4%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、23 区が多摩地区より 7.8 ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）
【4. 水再生センター間の相互融通機能の確保】

図表 1-3-4 レポートの評価（水再生センター間の相互融通機能の確保）



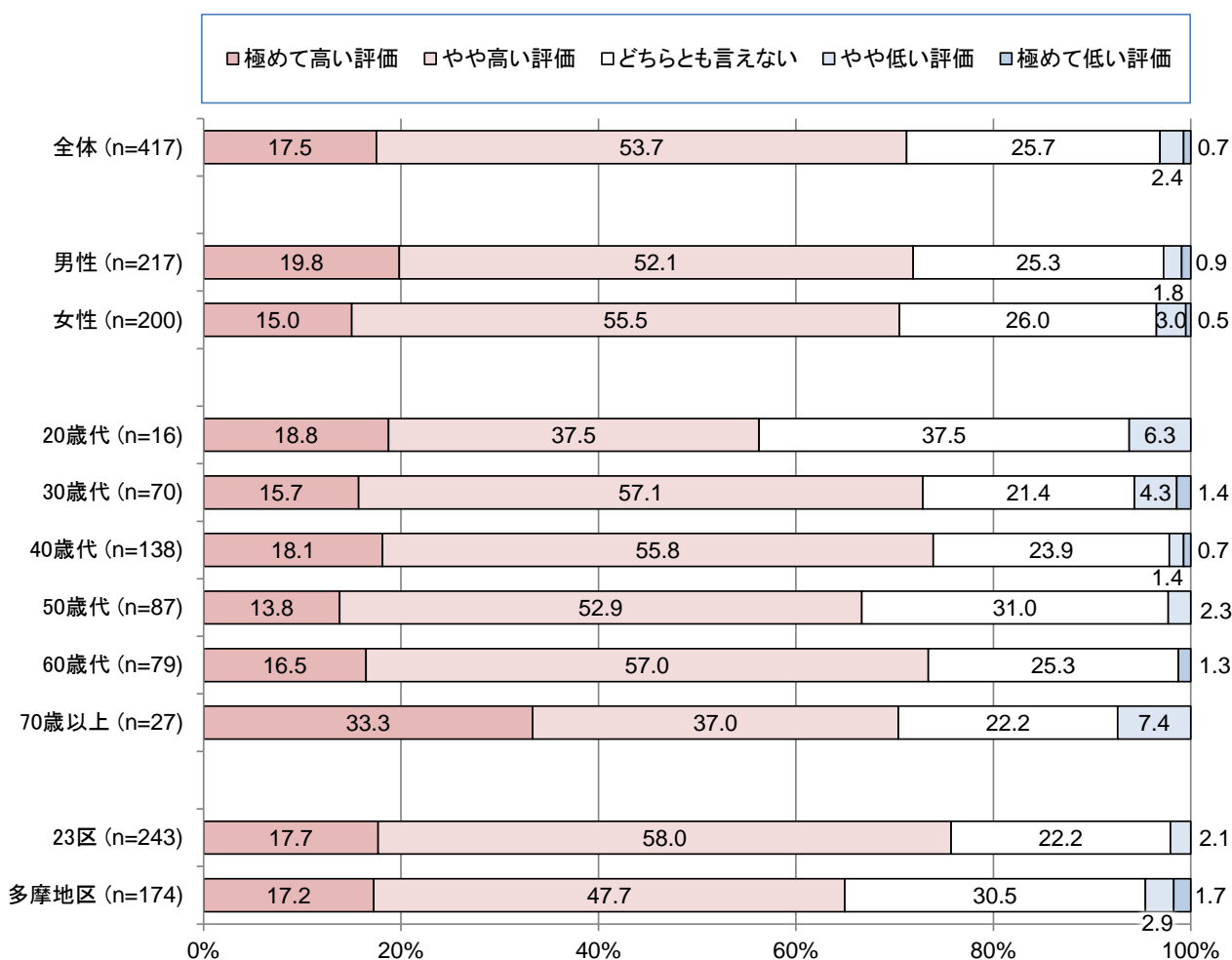
1-3-5. レポートの評価（5. 合流式下水道の改善）

- ◆ レポートの評価「5. 合流式下水道の改善」については、【高い評価】※が71.2%、【低い評価】※が3.1%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】※は、男性が女性より1.4ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】※は、60歳代が73.9%と最も多く、次いで60歳代が73.5%、30歳代が72.9%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】※は、23区が多摩地区より10.8ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【5. 合流式下水道の改善】

図表1-3-5 レポートの評価（合流式下水道の改善）

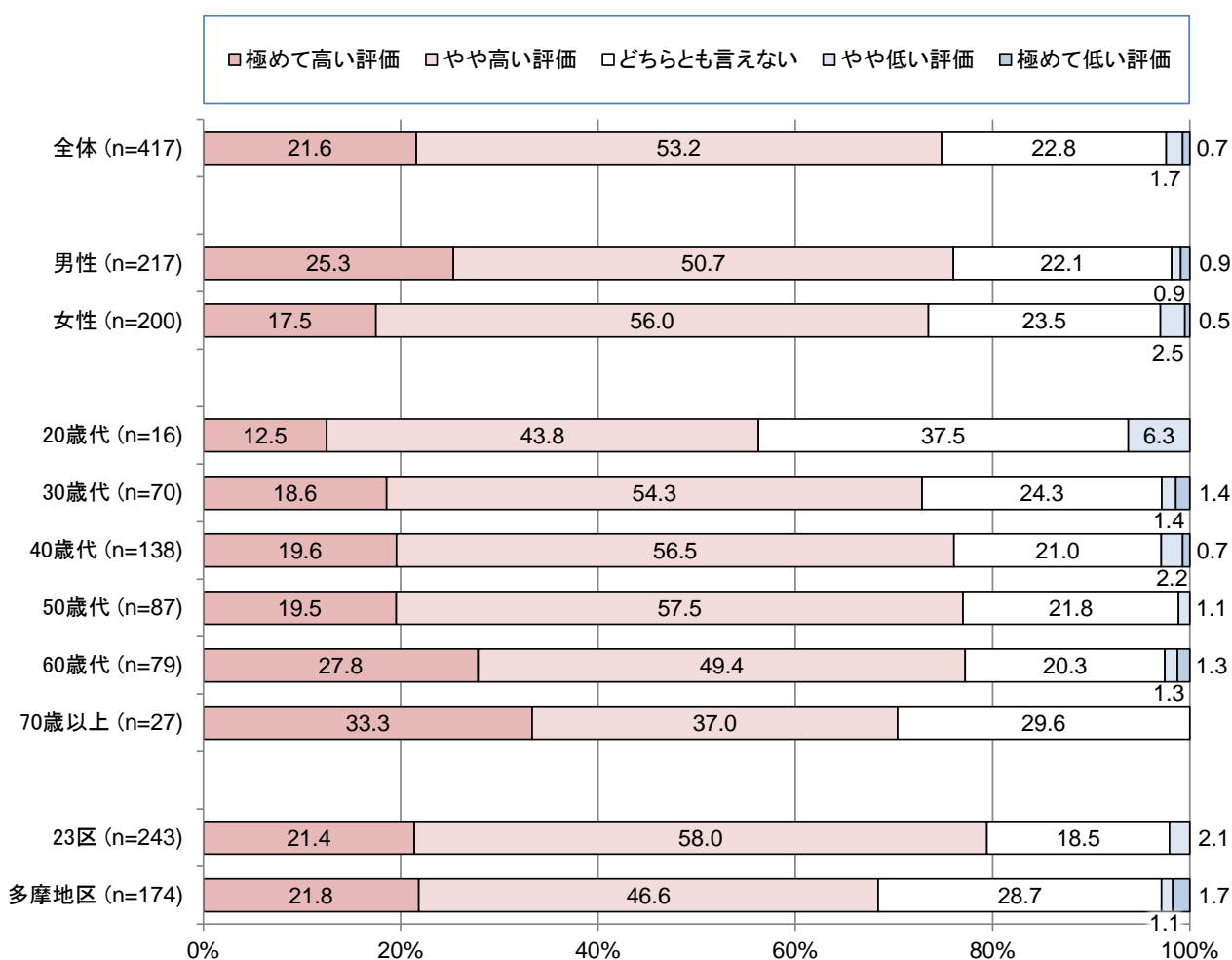


1-3-6. レポートの評価（6. 高度処理）

- ◆ レポートの評価「6. 高度処理」については、【高い評価】*が74.8%、【低い評価】*が2.4%であった。
- ◆ 性別でみると、【高い評価】*は、男性が女性より2.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【高い評価】*は、60歳代が77.2%と最も多く、次いで50歳代が77.0%、40歳代が76.1%であった。
- ◆ 地域別でみると、【高い評価】*は、23区が多摩地区より11.0ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）
【6. 高度処理】

図表1-3-6 レポートの評価（高度処理）

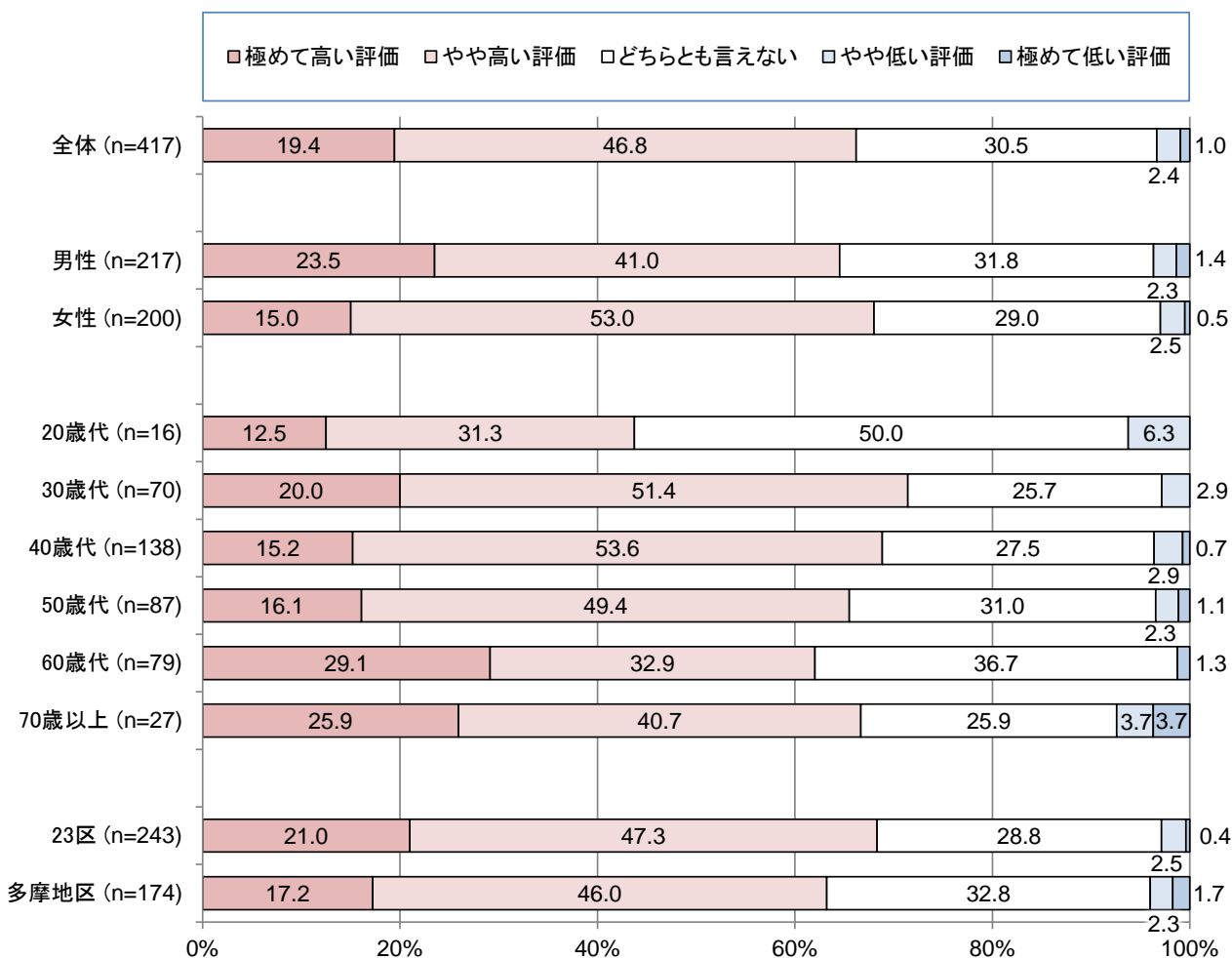


1-3-7. レポートの評価（7. エネルギー・地球温暖化対策）

- ◆ レポートの評価「7. エネルギー・地球温暖化対策」については、【高い評価】*が66.2%、【低い評価】*が3.4%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、女性が男性より3.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、30歳代が71.4%と最も多く、20歳代が43.8%と最も低かった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、23区が多摩地区より5.1ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）
【7. エネルギー・地球温暖化対策】

図表1-3-7 レポートの評価（エネルギー・地球温暖化対策）



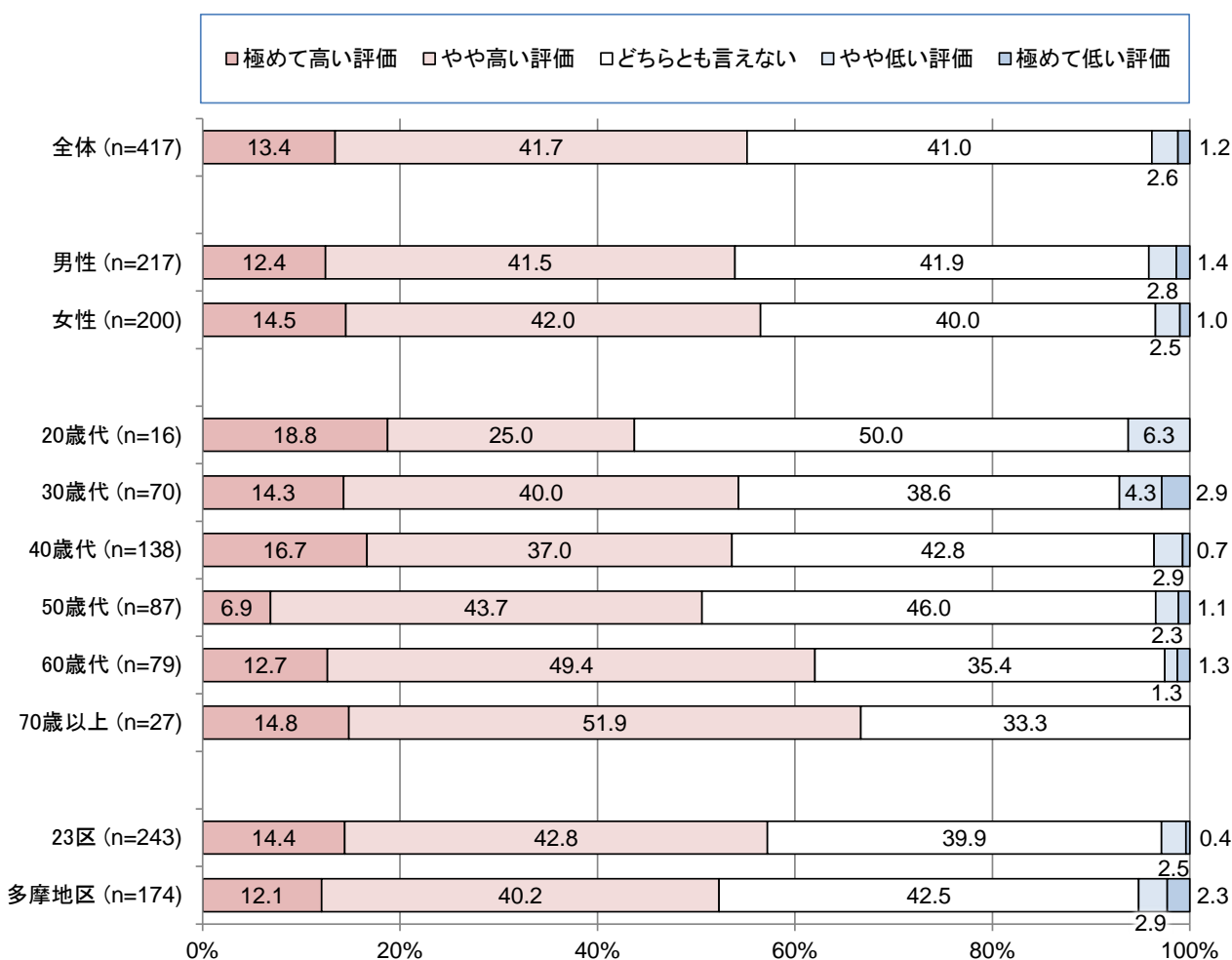
1-3-8. レポートの評価（8. 東京下水道の「応援団」を獲得）

- ◆ レポートの評価「8. 東京下水道の「応援団」を獲得」については、【高い評価】*が 55.1%、【低い評価】*が 3.8%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、女性が男性より 2.6 ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、70 歳以上が 66.7%と最も多く、20 歳代が 43.8%と最も低かった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、23 区が多摩地区より 4.9 ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【8. 東京下水道の「応援団」を獲得】

図表 1-3-8 レポートの評価（東京下水道の「応援団」を獲得）



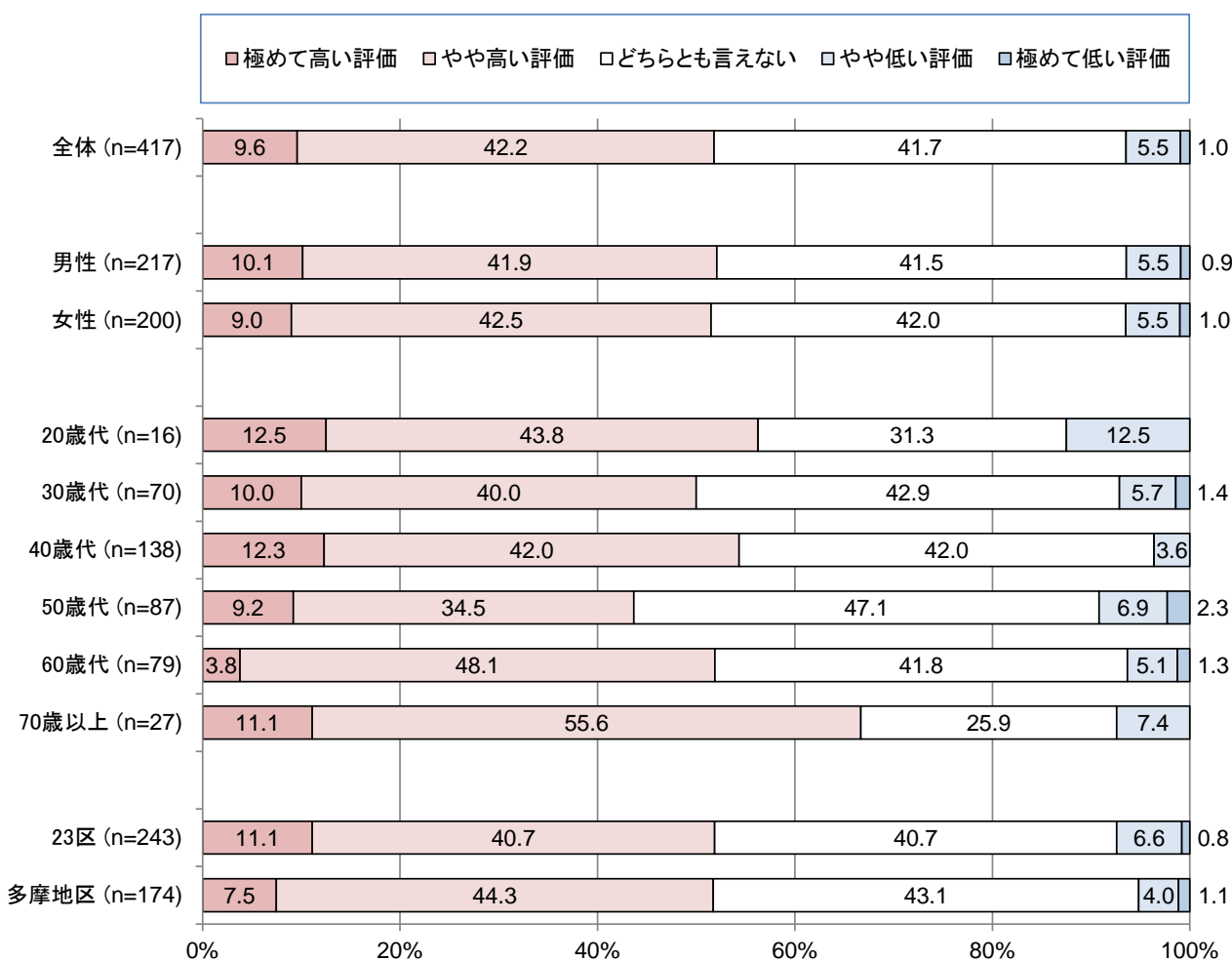
1-3-9. レポートの評価（9. 財政運営と経営の効率化）

- ◆ レポートの評価「9. 財政運営と経営の効率化」については、【高い評価】※が51.8%、【低い評価】※が6.5%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】※は、男性が女性より0.5ポイントとやや高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】※は、70歳以上が66.7%と最も多く、50歳代が43.7%と最も低かった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】※は、23区が多摩地区より4.9ポイント高かった。

Q7 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【9. 財政運営と経営の効率化】

図表1-3-9 レポートの評価（財政運営と経営の効率化）

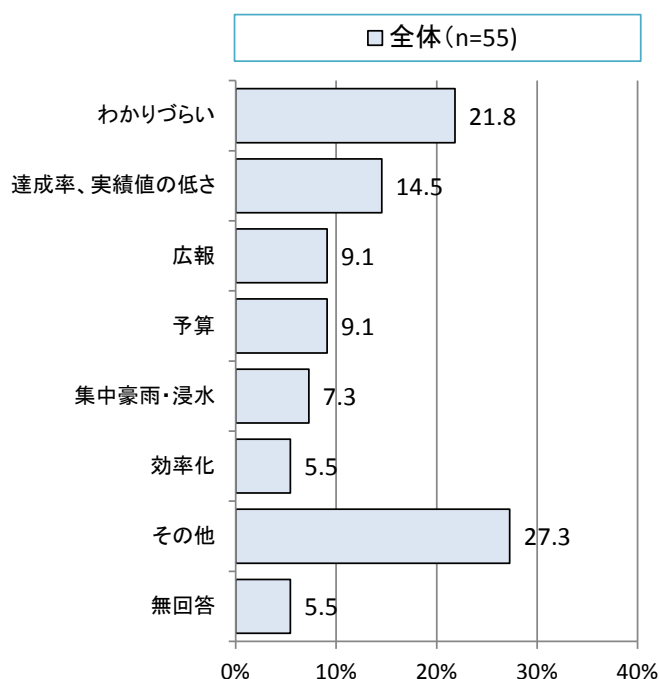


1-4. レポートについて評価が低い理由（自由回答）

- ◆ レポートについて評価が低い理由については、「その他」が27.3%と最も多く、次いで「わかりづらい」が21.8%、「達成率、実績値の低さ」が14.5%であった。
- ◆ 以下、レポートについて評価が低い理由を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q8. 上記Q7の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表1-4 レポートについて評価が低い理由（自由回答）



◆ 【やや低い評価】

- ◇ 下水道は重要なインフラにもかかわらず、その露出度は非常に地味であると思う。広報東京都などは熟読しているが、下水道に関する記事を余り見かけない。もっと都民に関して広報を強化することが重要であると考え。（30歳代男性、多摩地区）
- ◇ 重要性が低いと思いました。集中豪雨などの今後起こる可能性の高い災害に対して、必要性の高い事項に集中して事業を行うほうが良いと思います。（40歳代男性、多摩地区）
- ◇ 集中豪雨など異常気象で浸水などの対策は急務だと思います。計画より実施が遅れているようなのが心配です。（40歳代女性、多摩地区）

◆ 【極めて低い評価】

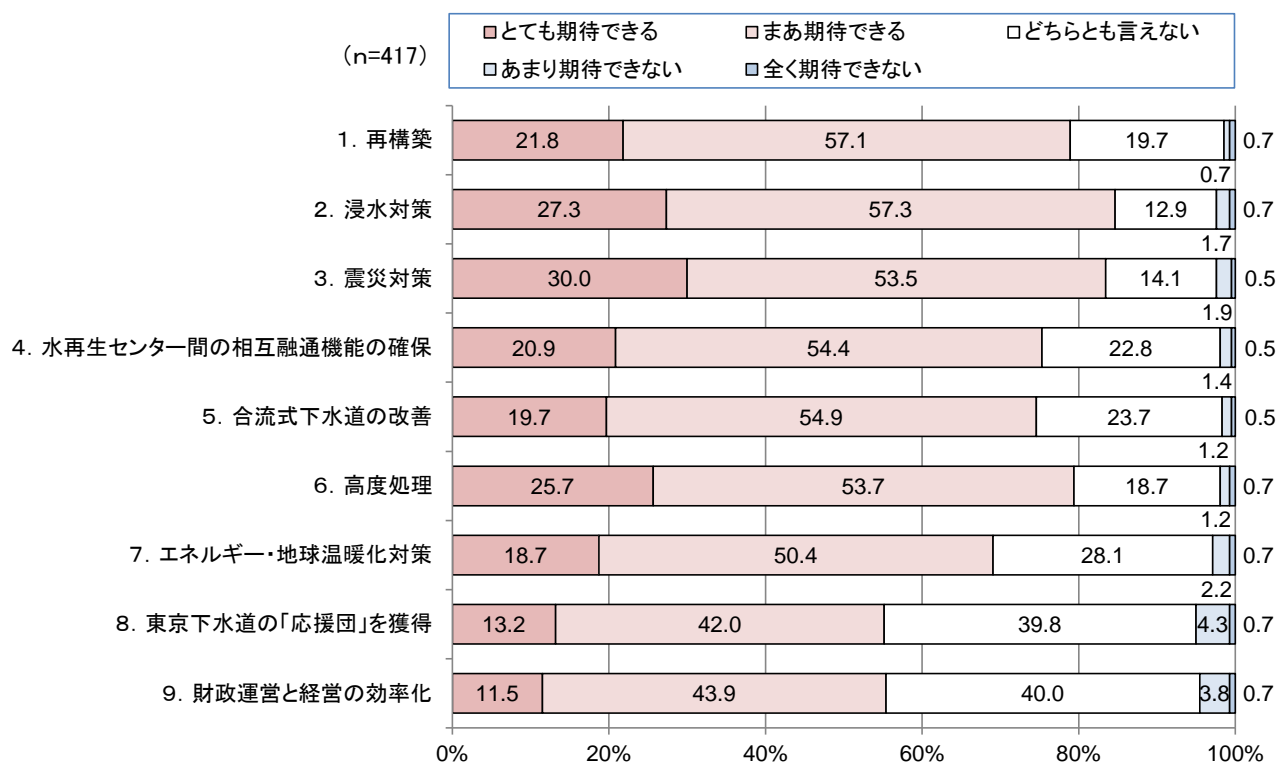
- ◇ 一目見て何を訴えたいのか、何を理解させたいのか判らない。（60歳代男性、多摩地区）
- ◇ 今年の夏、茨城などでひどい水害が起きた。ゲリラ豪雨の心配もある。「絶対に床上浸水はしない」と断言できるレベルまで対策を進めてほしい。（30歳代男性、多摩地区）
- ◇ 震災対策等、下水道だけで可能なのかわからないから。区の浸水マップ等を本当に信じ下水道局がうごいているのか、下水道局をしんじて浸水マップができていのかかわからないから、信頼するのが難しい。（50歳代女性、23区）

1-5. 東京都下水道事業への期待度

- ◆ 東京都下水道事業への期待度については、「2.浸水対策」の【期待できる】※が84.6%と最も多く、次いで「3.震災対策」が83.5%、「1.再構築」が78.9%であった。
- ◆ 全項目において、【期待できない】※は1割未満であった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)

図表1-5 東京都下水道事業への期待度



※ 東京都下水道事業への期待度について、「とても期待できる」、「まあ期待できる」の回答を合算した比率を【期待できる】、「あまり期待できない」、「全く期待できない」の回答を合算した比率を【期待できない】と定義した。

1-5-1. 東京都下水道事業への期待度（1. 再構築）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「1. 再構築」については、【期待できる】※が78.9%、【期待できない】※が1.4%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】※は、男性が女性より3.7ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】※は、30歳代が82.9%と最も多く、次いで60歳代が81.1%、50歳代が79.3%であった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】※は、多摩地区が23区より2.8ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

【1. 再構築】

図表1-5-1 東京都下水道事業への期待度（再構築）



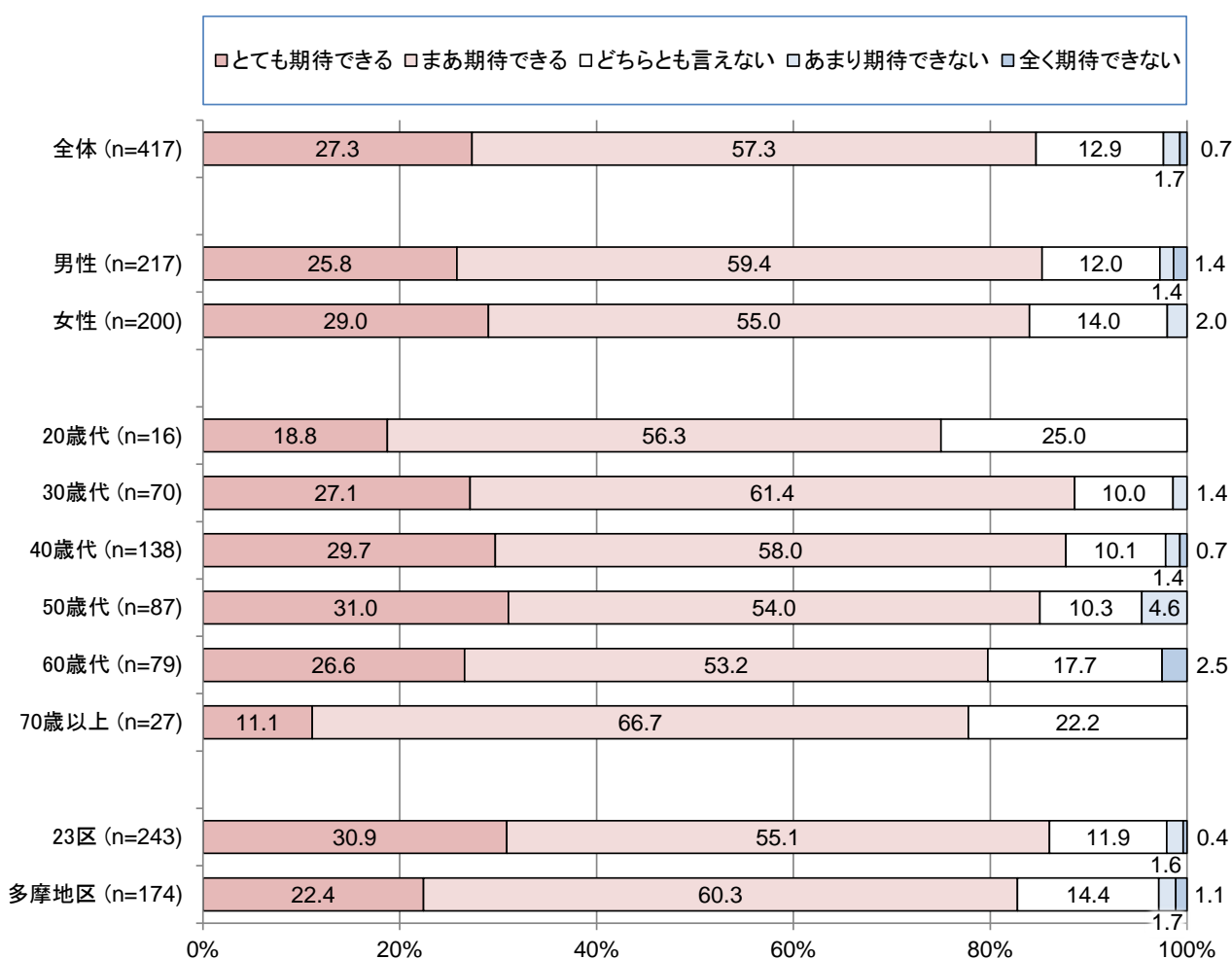
1-5-2. 東京都下水道事業への期待度（2. 浸水対策）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「2. 浸水対策」については、【期待できる】*が84.6%、【期待できない】*が2.4%であった。
- ◆ 性別で見ると、【期待できる】*は、男性が女性より1.2ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【期待できる】*は、20歳代を除いて、年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向に有、30歳代が88.5%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、【期待できる】*は、23区が多摩地区より3.3ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

【2. 浸水対策】

図表1-5-2 東京都下水道事業への期待度（浸水対策）



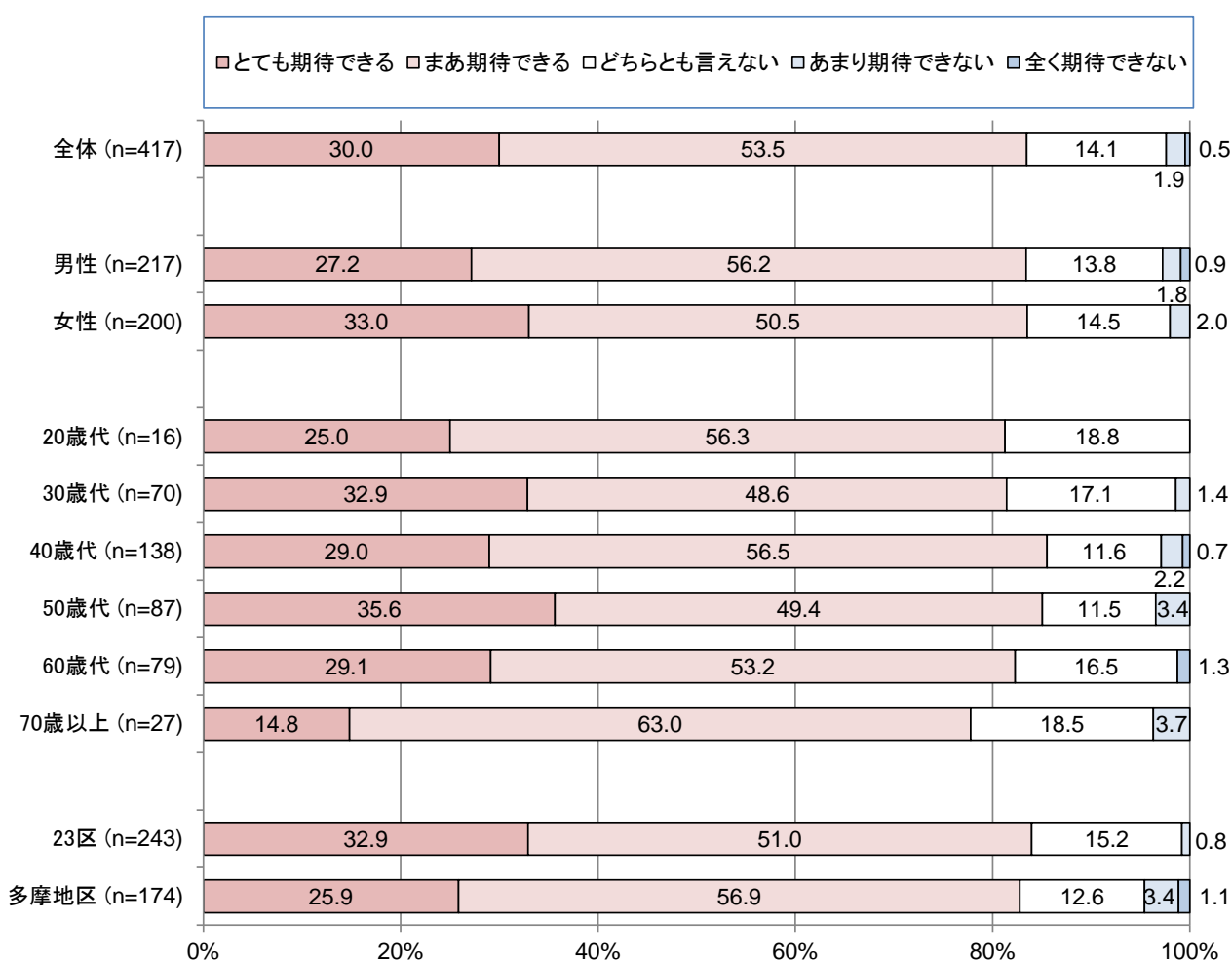
1-5-3. 東京都下水道事業への期待度（3. 震災対策）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「3. 震災対策」については、【期待できる】*が83.5%、【期待できない】*が2.4%であった。
- ◆ 性別で見ると、【期待できる】*は、男性と女性で大きな差はみられない。
- ◆ 年代別で見ると、【期待できる】*は、40歳代が85.5%と最も多く、次いで50歳代が85.0%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【期待できる】*は、23区が多摩地区より1.1ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

【3. 震災対策】

図表1-5-3 東京都下水道事業への期待度（震災対策）



1-5-4. 東京都下水道事業への期待度

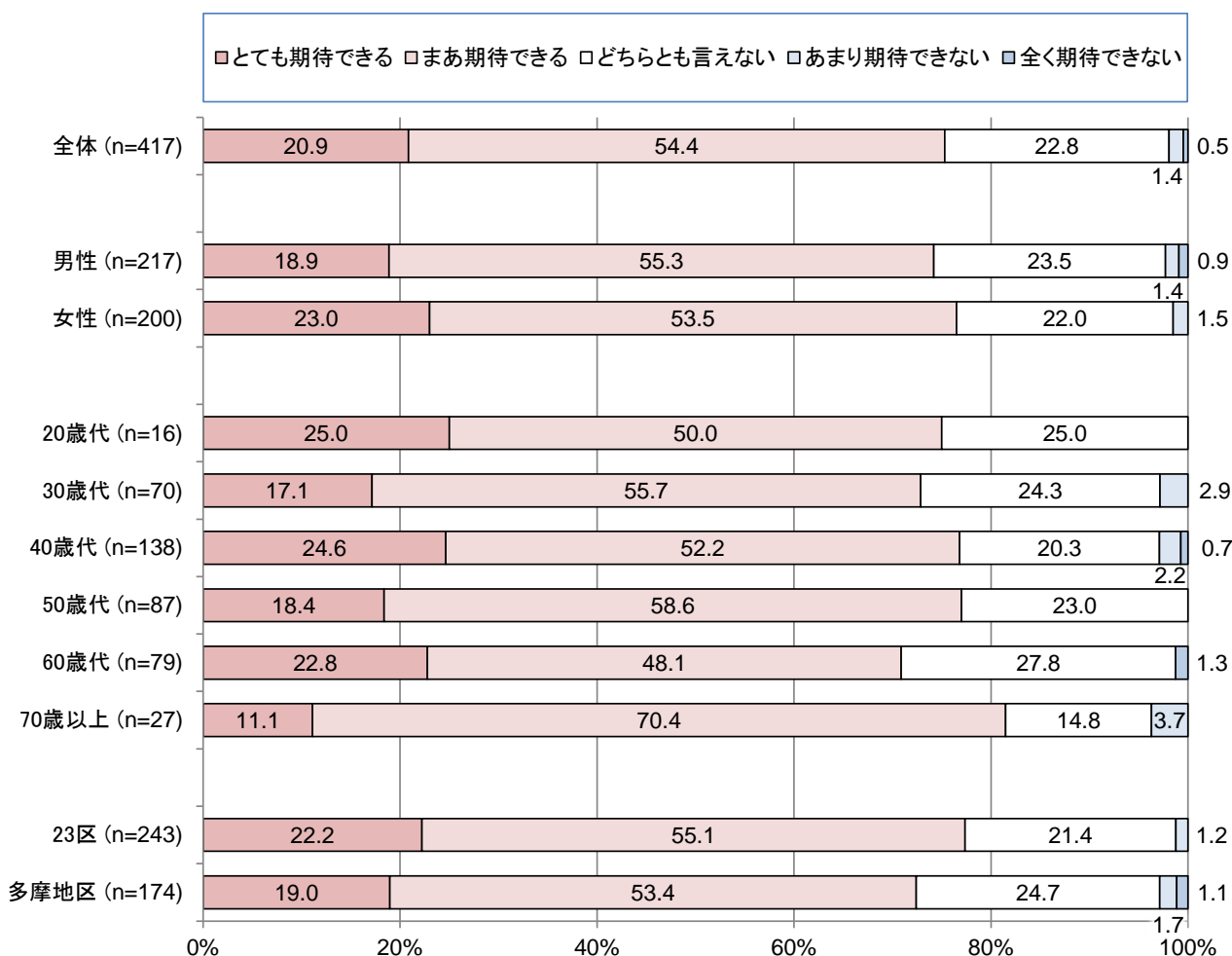
(4. 水再生センター間の相互融通機能の確保)

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「4. 水再生センター間の相互融通機能の確保」については、【期待できる】※が75.3%、【期待できない】※が1.9%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】※は、女性が男性より2.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】※は、70歳以上が81.5%と最も多く、次いで50歳代が77.0%、40歳代が76.8%であった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】※は、23区が多摩地区より4.9ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)

【4. 水再生センター間の相互融通機能の確保】

図表1-5-4 東京都下水道事業への期待度(水再生センター間の相互融通機能の確保)



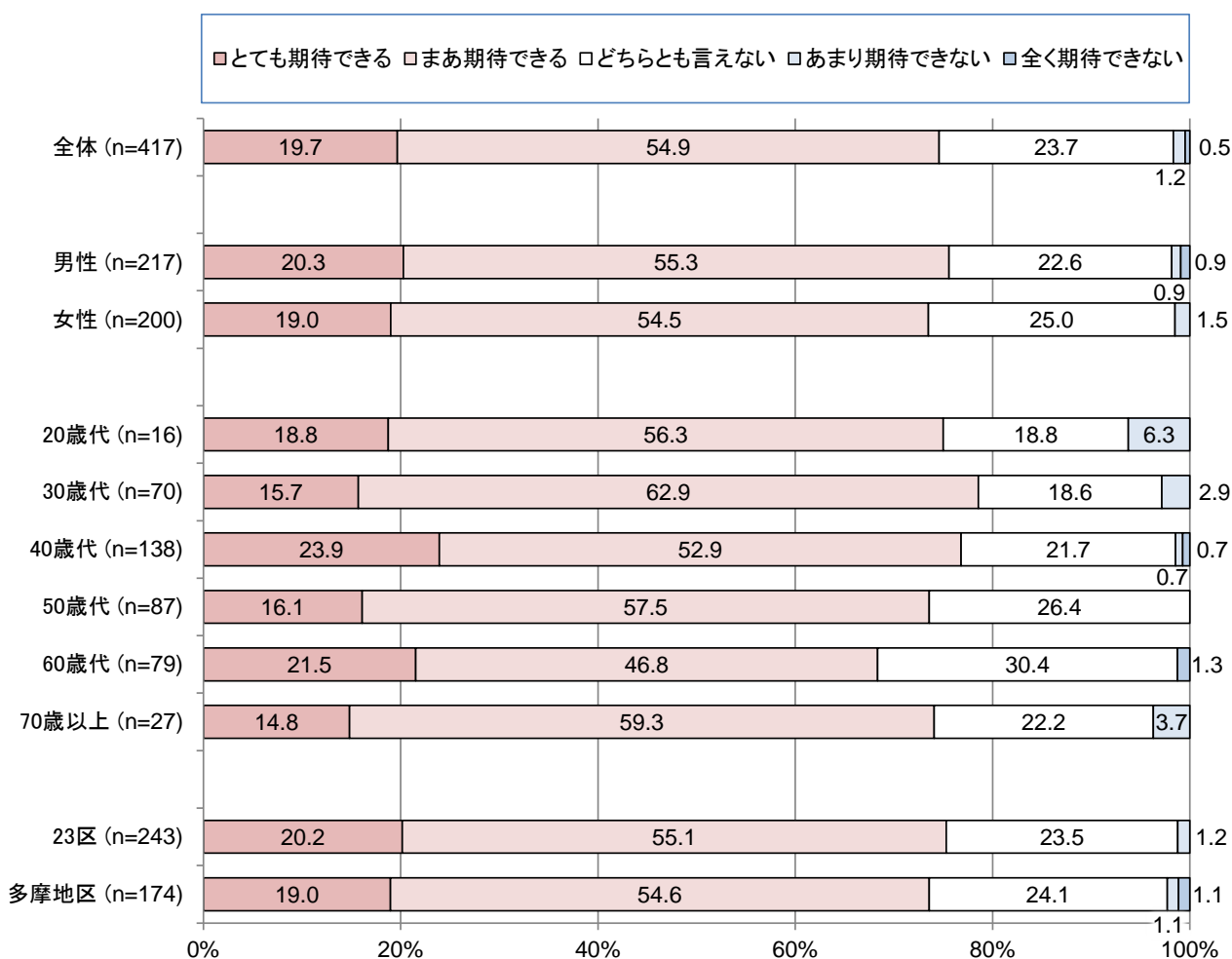
1-5-5. 東京都下水道事業への期待度（5. 合流式下水道の改善）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「5. 合流式下水道の改善」については、【期待できる】※が 74.6%、【期待できない】※が 1.7%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】※は、男性が女性より 2.1 ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】※は、30 歳代が 78.6%と最も多く、次いで 40 歳代が 76.8%、20 歳代が 75.1%であった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】※は、23 区が多摩地区より 1.7 ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

【5. 合流式下水道の改善】

図表 1-5-5 東京都下水道事業への期待度（合流式下水道の改善）

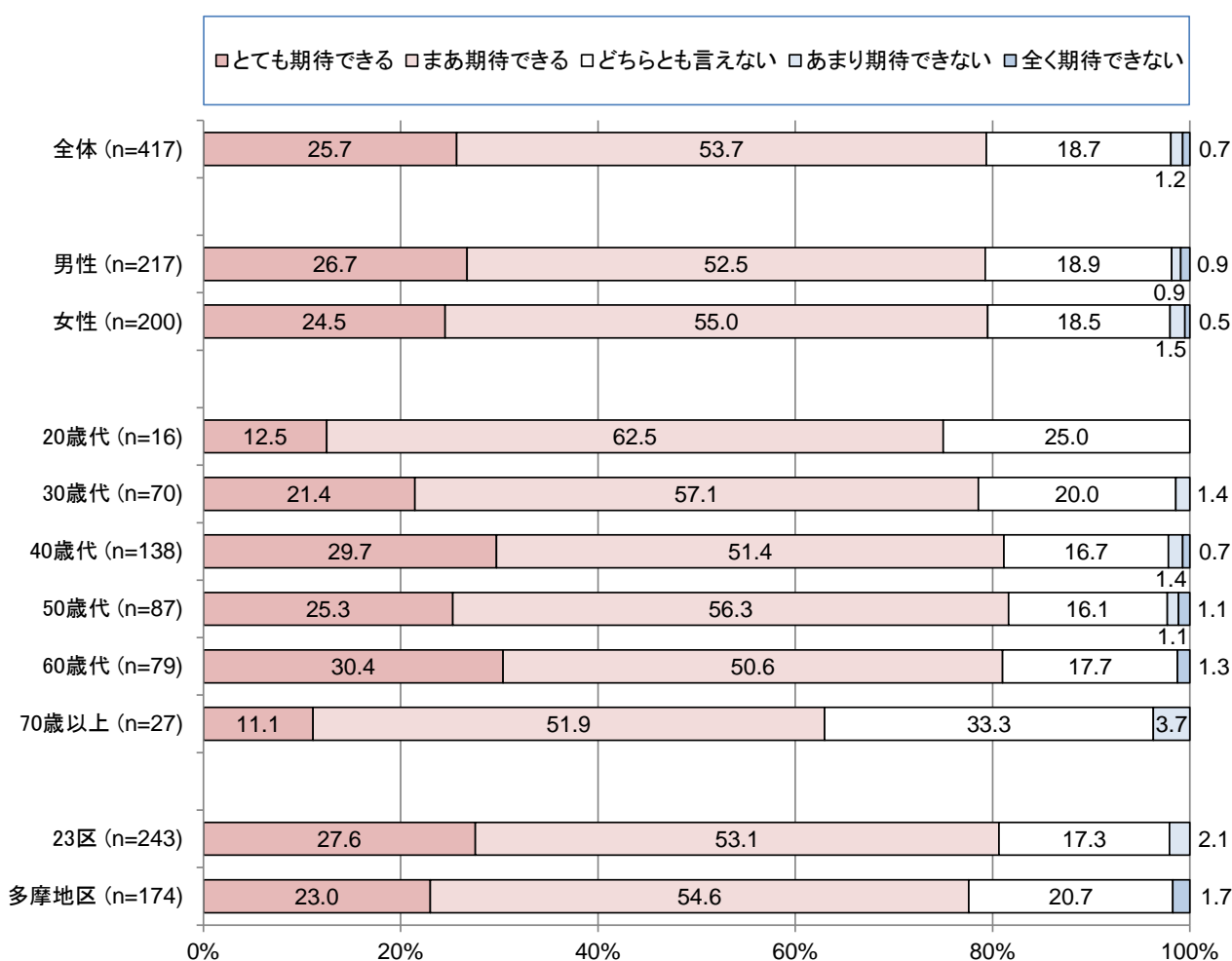


1-5-6. 東京都下水道事業への期待度（6. 高度処理）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「6. 高度処理」については、【期待できる】*が79.4%、【期待できない】*が1.9%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】*は、男性と女性で大きな差はみられない。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】*は、50歳代が81.6%と最も多く、次いで40歳代が81.1%、60歳代が81.0%であった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】*は、23区が多摩地区より3.1ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）
【6. 高度処理】

図表1-5-6 東京都下水道事業への期待度（高度処理）



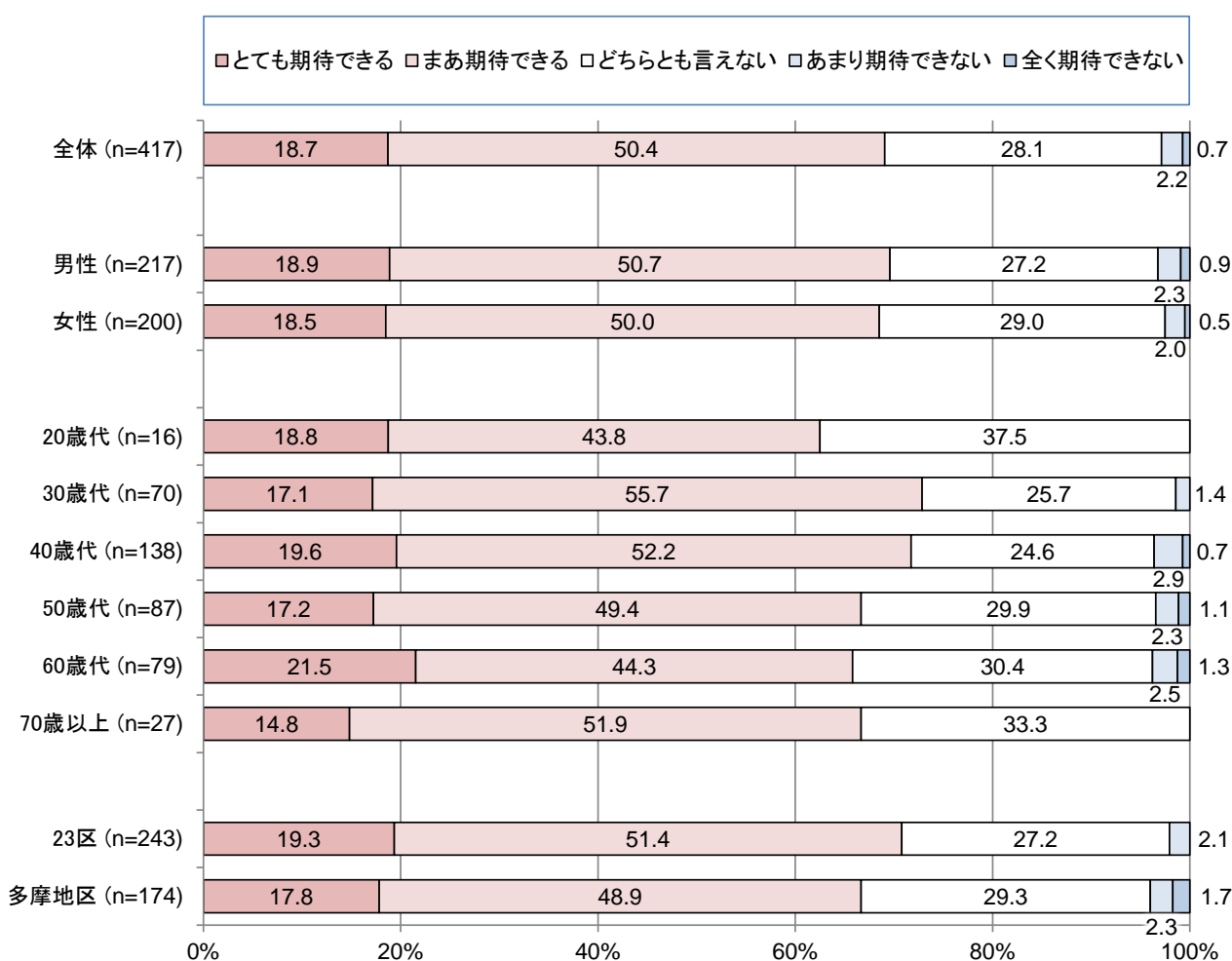
1-5-7. 東京都下水道事業への期待度（7. エネルギー・地球温暖化対策）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「7. エネルギー・地球温暖化対策」については、【期待できる】※が69.1%、【期待できない】※が2.9%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】※は、男性が女性より1.1ポイント高かった。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】※は、30歳代が72.8%と最も多く、次いで40歳代が71.8%であった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】※は、23区が多摩地区より4.0ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

【7. エネルギー・地球温暖化対策】

図表1-5-7 東京都下水道事業への期待度（エネルギー・地球温暖化対策）



1-5-8. 東京都下水道事業への期待度

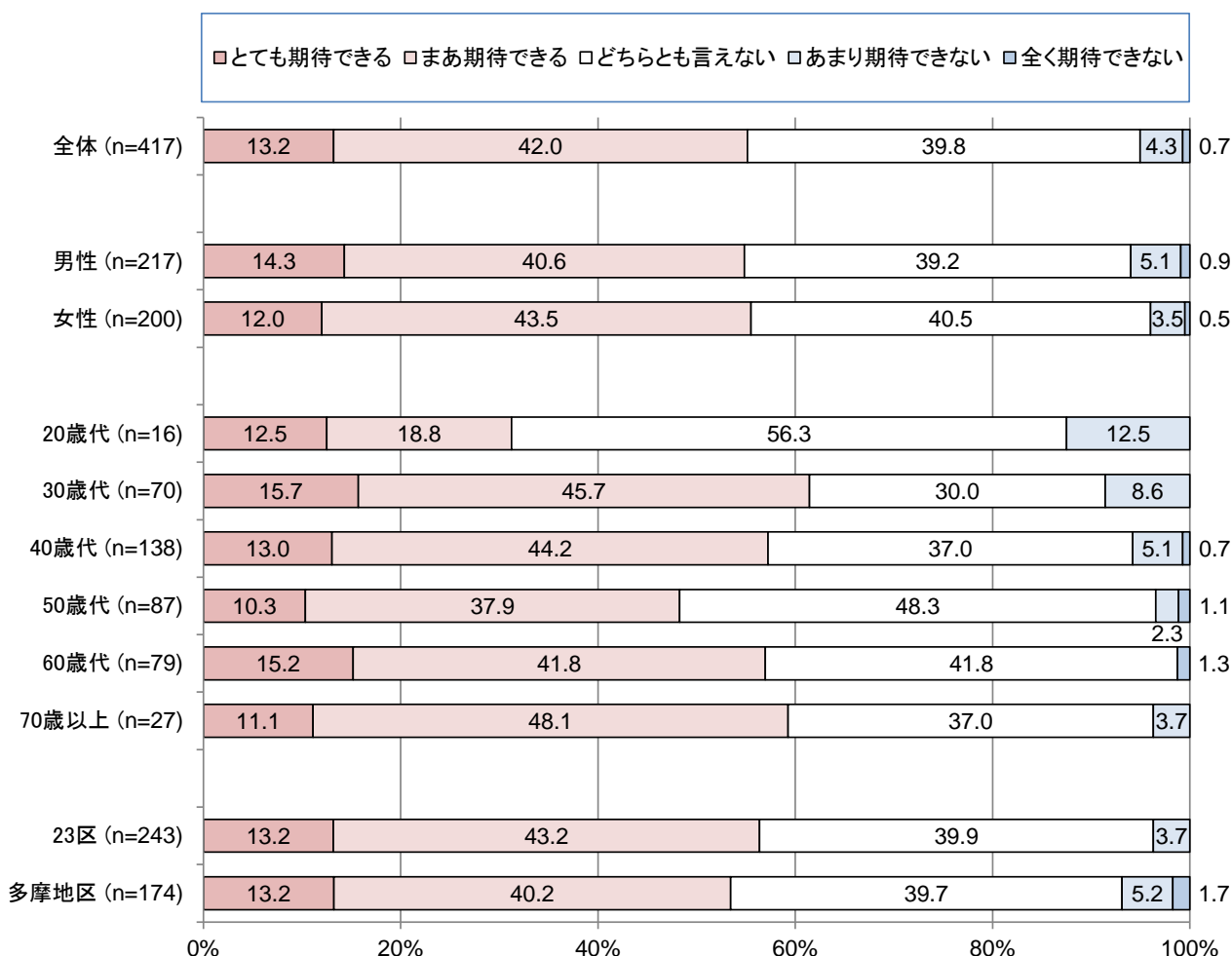
(8. 東京下水道の「応援団」を獲得)

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「8. 東京下水道の「応援団」を獲得」については、【期待できる】*が55.2%、【期待できない】*が5.0%であった。
- ◆ 性別でみると、【期待できる】*は、女性が男性より0.6ポイントとやや高かった。
- ◆ 年代別でみると、【期待できる】*は、30歳代が61.4%と最も多く、20歳代が31.3%と最も低かった。
- ◆ 地域別でみると、【期待できる】*は、23区が多摩地区より3.0ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)

【8. 東京下水道の「応援団」を獲得】

図表1-5-8 東京都下水道事業への期待度（東京下水道の「応援団」を獲得）

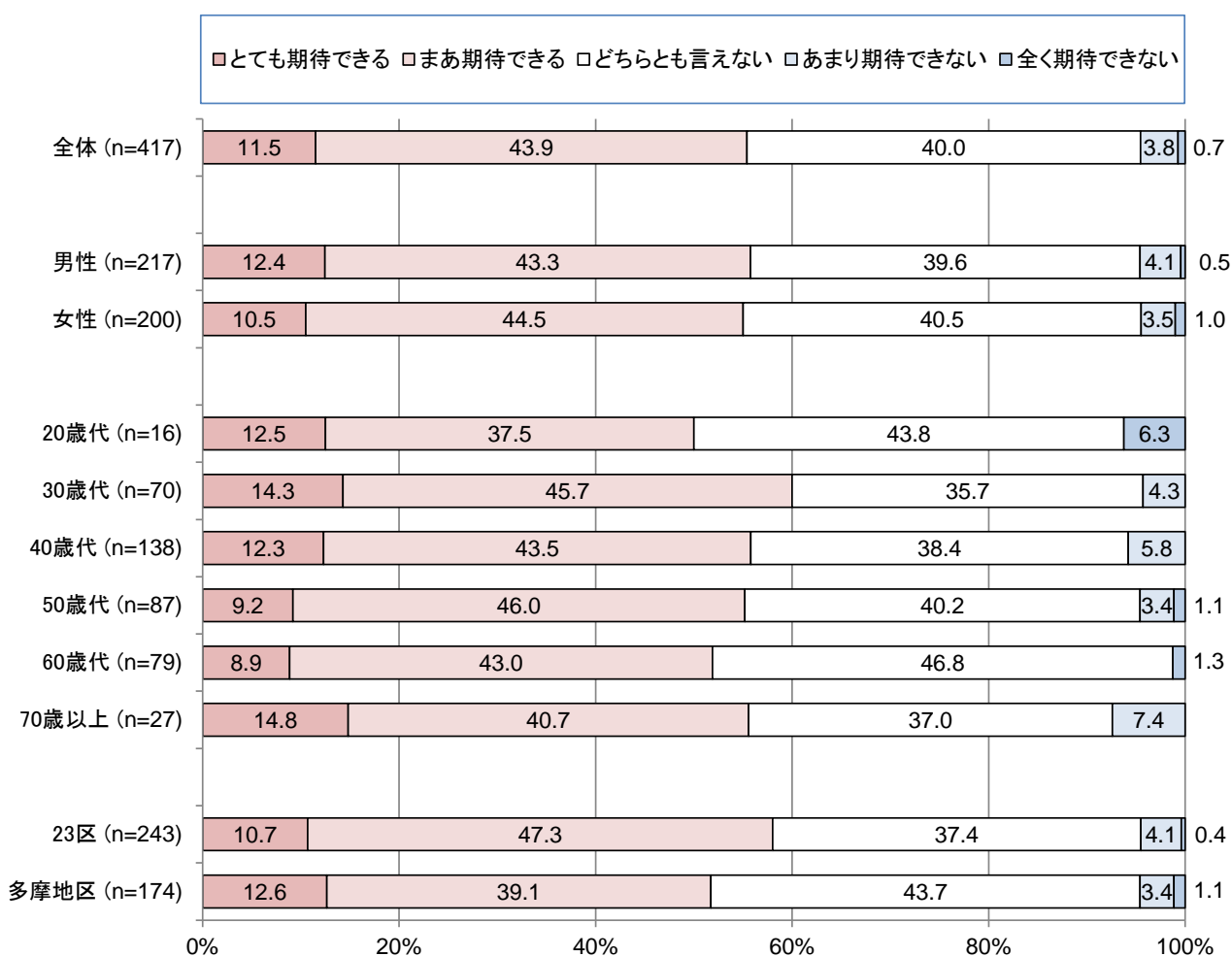


1-5-9. 東京都下水道事業への期待度（9. 財政運営と経営の効率化）

- ◆ 東京都下水道事業への期待度「9. 財政運営と経営の効率化」については、【期待できる】※が 55.4%、【期待できない】※が 4.5%であった。
- ◆ 性別で見ると、【期待できる】※は、男性が女性より 0.7 ポイントとやや高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【期待できる】※は、30 歳代が 60.0%と最も多く、他の年代は5割であった。
- ◆ 地域別で見ると、【期待できる】※は、23 区が多摩地区より 6.3 ポイント高かった。

Q9 『東京都下水道事業経営レポート2015』をお読みになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）
【9. 財政運営と経営の効率化】

図表 1-5-9 東京都下水道事業への期待度（財政運営と経営の効率化）

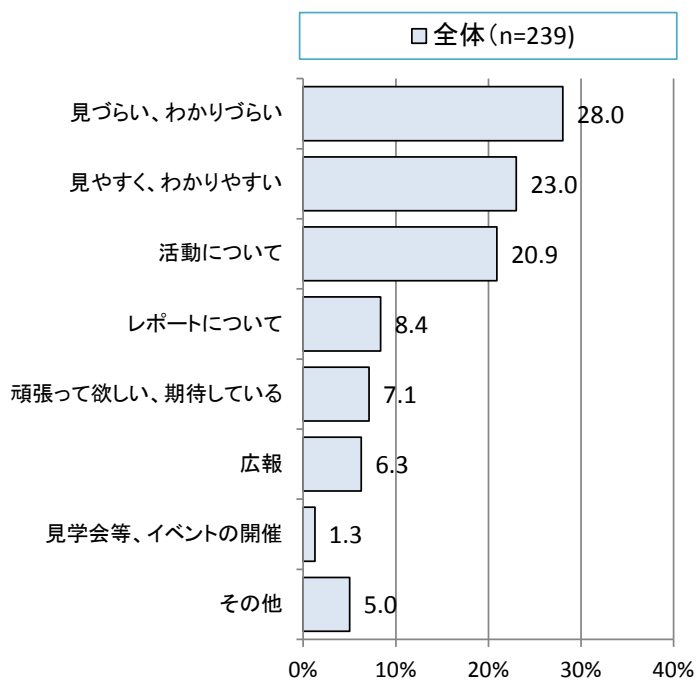


1-6. 東京都下水道事業への感想や意見（自由回答）

- ◆ 東京都下水道事業への感想や意見については、「見づらい、わかりづらい」が28.0%と最も多く、次いで「見やすく、わかりやすい」が23.0%、「活動について」が20.9%であった。
- ◆ 以下、東京都下水道事業への感想や意見を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q10. 『東京都下水道事業経営レポート2015』に対する率直なご感想やご意見などをお聞かせください。（自由回答）

図表1-6 東京都下水道事業への感想や意見（自由回答）



◆ 【見づらい、わかりづらい】

- ◇ 正直に書くと読むのが面倒くさかったです・・・。もっと一目で見て分かり易くならないかなあと思いました。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ レポートを読むのが大変なので、信頼性の高い回答、意見を得るのが難しいと思います。（50歳代男性、多摩地区）
- ◇ 内容的には良く出来散ると思うが、説明文書としての読みやすさ、表現方法に再考の余地が有ると思う。（60歳代男性、23区）

◆ 【見やすく、わかりやすい】

- ◇ 必要十分な要件について内容が堅く、淡泊にもかかわらず、見やすく簡潔にまとめられていて、わかりやすいと思いました。（40歳代男性、23区）
- ◇ 見やすい紙面になっていると思います。具体的地名のある地図を出していただけるのも身近なこととして理解ができてよかった。ただ、地図上の表記の仕方がもう少しわかり易いとなおいいのと思います。（50歳代女性、23区）
- ◇ 各施策とも非常にコンパクトにまとめられており、わかりやすいと感じました。23区外の下水の施策については、各市役所が実施していると理解しています。三多摩に住んでいる者として、23区外の代表的な下水道施策のトピックスも入れて頂けると、より身近に感じられるのでは？と思いました。（50歳代男性、多摩地区）

◆ 【活動について】

- ◇ 多方面にわたり今後の下水道経営をスムーズにより快適な環境にするために努力を重ねられていることが如実にわかりました。こういう地道な努力の積み重ねにより日常生活だけでなく、災害などにも十分に備えられることをおおいに期待しています。（60歳代女性、多摩地区）
- ◇ 様々な事業を計画的に行っていることが理解できました。今後も事業の効率化や、各事業のコスト対効果についての検証を行っていかれることを期待しております。（40歳代男性、多摩地区）
- ◇ 差はあるもののどの対策についても水道局の本気度が目標値に現れていて胸が熱くなった。特に震災対策のマンホール浮上抑制対策の数値がずば抜けて凄かった。緊急輸送道路は22年に完成ってもっと凄い。そのほかにも100%が多くとても感心している。（40歳代女性、23区）

◆ 【レポートについて】

- ◇ 細かい数値が記載されているがこれらの数値がどの程度のものか判断がつかない。地球温暖化にたいする下水道の割合が、全体でどの程度のものかわからなかった。（50歳代男性、多摩地区）
- ◇ 事業の目標値に対する達成率は理解できるが、目標の設定、妥当性、絶対値が判断できないので難しいところです。（60歳代男性、23区）
- ◇ 昨年度の比較だけでなく、5年間くらいを比較した表があると、よかった。（20歳代女性、23区）

◆ 【頑張っていて欲しい、期待している】

- ◇ 下水同局の職員の皆様様の真摯な働きと御努力により、今日の世界に自慢のできる東京都の施設と成りました。都民の利用者の一人と致しまして深く感謝申し上げます、これからも宜しくお願い致します。（60歳代女性、多摩地区）
- ◇ 自己点検することはとても良い事だと思います。世界に冠たる東京の下水道を目指してください。（40歳代男性、23区）

- ◇ 私たちの生活を文字通り地下で支えておられる日頃の努力に感謝します。自然の力は私たちの予想を超えることも多く繰り返しの見直しや準備が大切なのだと思いました。利用者共にある事業をさらに進めていただきたい。（50歳代女性、多摩地区）

◆ 【広報】

- ◇ モニターになるまでこのようなレポートがあると知りませんでした。もっとアピールしたほうがいいと思います。下水道局の評価だけでなく第三者の評価もあるといいと思います。（40歳代男性、23区）
- ◇ 「応援団」というネーミングに違和感があります。下水道を応援というより、幅広い人たちに理解してもらいたいのではないのかなと、思うのですが……。 （40歳代女性、多摩地区）
- ◇ こういったアンケートとか意見はすごく良いと思いますが、もっと幅広い意見を集める努力が必要かと思います！（70歳以上男性、23区）

◆ 【見学会等、イベントの開催】

- ◇ 応援団の中で「でまえ授業」について。出張授業は小学校でよく行われていますが、子どもたちに聞くととても楽しみだし、それなりに理解して話してくれたりするので、もっと全地域で行うべきだと思います。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 生活の安心・安全と良好な水環境を推進していくために関係者がいろいろな視点から努力していただいていることを知り感謝しています。当たり前のように思いこみ、目に触れることが少なく意識されにくい地味な下水道の役割と仕組みを多くの人が認識すべきことも感じます。特に子供の時から認識するためには教育現場で施設の見学とか携わっている方々のお話を聞いて理解するとかの積極的な機会を作るべきことを提案したいです。（70歳以上女性、多摩地区）
- ◇ 震災などで片方のセンターの機能が麻痺しても残りのセンターが助けるという仕組みは大事にしたい。学校への出前授業などたのしい取り組みを今後も前向きに頑張してほしい。（30歳代女性、23区）

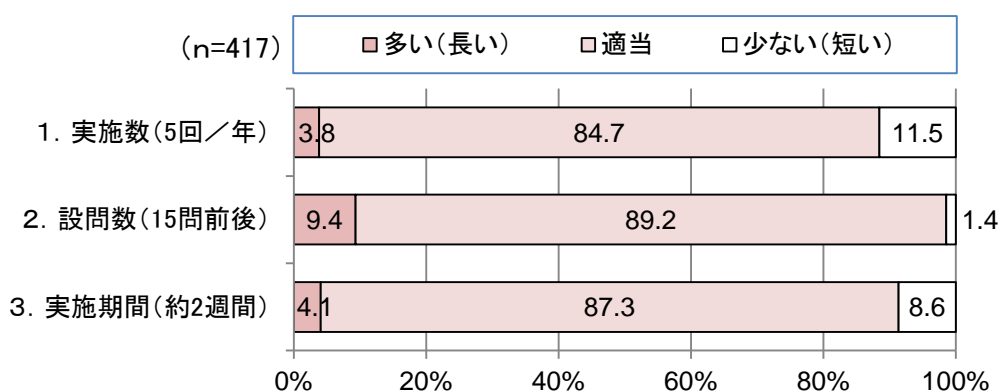
2. 下水道モニターの感想について

2-1. アンケートの頻度

- ◆ アンケートの頻度については、「適当」が最も多く、それぞれ「1.実施数（5回／年）」が84.7%、「2.設問数（15問前後）」が89.2%、「3.実施期間（約2週間）」が87.3%であった。

Q11. 下水道モニターアンケートは、およそ1か月おきに年5回実施しています。設問数は属性に関するものを除きおよそ15問前後、1回あたりの実施期間は約2週間です。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。（単一回答）

図表2-1 アンケートの頻度



2-1-1. アンケートの頻度（1. 実施数）

- ◆ アンケートの頻度「1.実施数」については、「多い（長い）」が3.8%、「適当」が84.7%、「少ない（短い）」が11.5%であった。
- ◆ 性別で見ると、「適当」は、女性が男性より1.9ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「多い（長い）」は、20歳代が12.5%、「少ない（短い）」は60歳代が13.9%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、「多い（長い）」は、多摩地区が23区より1.3ポイント高かった。

Q1 1. 下水道モニターアンケートは、およそ1か月おきに年5回実施しています。設問数は属性に関するものを除きおよそ15問前後、1回あたりの実施期間は約2週間です。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。（単一回答）

【1. 実施数】

図表2-1-1 アンケートの頻度（実施数）



2-1-2. アンケートの頻度 (2. 設問数)

- ◆ アンケートの頻度「2. 設問数」については、「多い(長い)」が9.4%、「適当」が89.2%、「少ない(短い)」が1.4%であった。
- ◆ 性別で見ると、「適当」は、女性が男性より1.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「多い(長い)」は、70歳以上が14.8%、「少ない(短い)」は60歳代が3.8%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、「多い(長い)」は、多摩地区が23区より1.7ポイント高かった。

Q1 1. 下水道モニターアンケートは、およそ1か月おきに年5回実施しています。設問数は属性に関するものを除きおよそ15問前後、1回あたりの実施期間は約2週間です。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。(単一回答)

【2. 設問数】

図表2-1-2 アンケートの頻度 (設問数)



2-1-3. アンケートの頻度 (3. 実施期間)

- ◆ アンケートの頻度「3. 実施期間」については、「多い(長い)」が4.1%、「適当」が87.3%、「少ない(短い)」が8.6%であった。
- ◆ 性別で見ると、「適当」は、女性が男性より2.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「多い(長い)」は、60歳代が7.6%、「少ない(短い)」は20歳代が18.8%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、「多い(長い)」は、多摩地区が23区より2.8ポイント高かった。

Q1 1. 下水道モニターアンケートは、およそ1か月おきに年5回実施しています。設問数は属性に関するものを除きおよそ15問前後、1回あたりの実施期間は約2週間です。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。(単一回答)

【3. 実施期間】

図表2-1-3 アンケートの頻度 (実施期間)

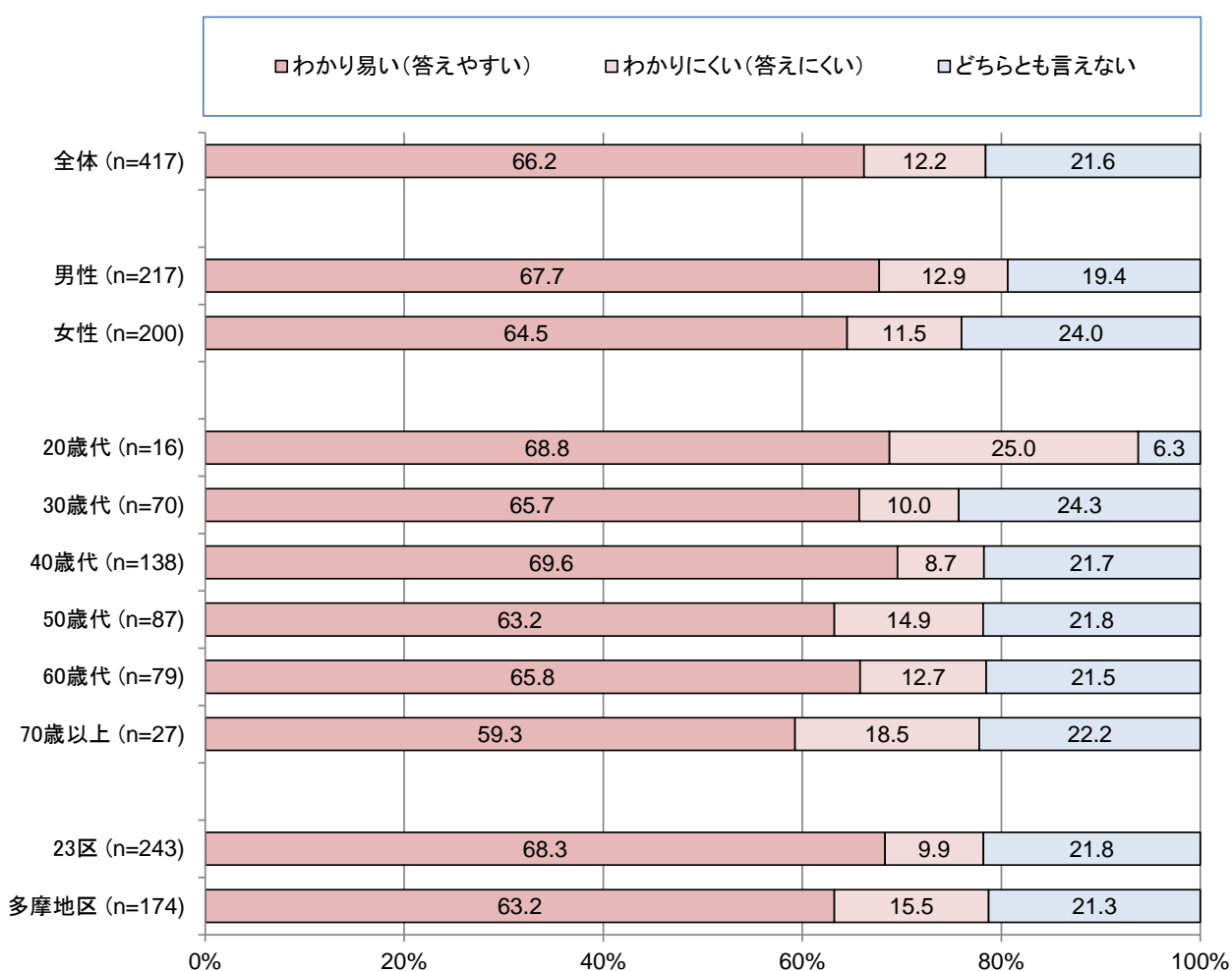


2-2. 設問内容のわかり易さ

- ◆ 設問内容のわかり易さについては、「わかり易い(答えやすい)」が86.2%、「わかりにくい(答えにくい)」が12.2%、「どちらとも言えない」が21.6%であった。
- ◆ 性別で見ると、「わかり易い(答えやすい)」は、男性が女性より3.2ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「わかり易い(答えやすい)」は、40歳代が69.6%と最も多く、次いで20歳代が68.8%となっており、「わかりにくい(答えにくい)」は、20歳代が25.0%と最も多く、次いで70歳以上が18.5%であった。
- ◆ 地域別で見ると、「わかり易い(答えやすい)」は、23区が多摩地区より5.1ポイント高かった。

Q12. 下水道モニターアンケートにおける、アンケートの設問内容のわかり易さ(答えやすさ)について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。(単一回答)

図表2-2 設問内容のわかり易さ

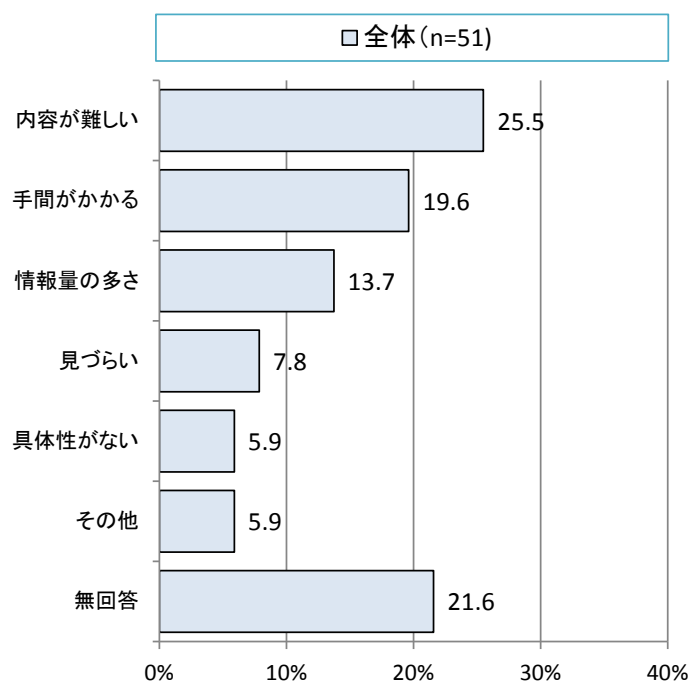


2-3. わかりにくいと思う理由（自由回答）

- ◆ わかりにくいと思う理由については、「内容が難しい」が 25.5%と最も多く、次いで「手間がかかる」が 19.6%、「情報量の多さ」が 13.7%であった。
- ◆ 以下、わかりにくいと思う理由を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q13. 上記Q12の中で、「わかりにくい（答えにくい）」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表2-3 わかりにくいと思う理由（自由回答）



【わかりにくいと思う理由】

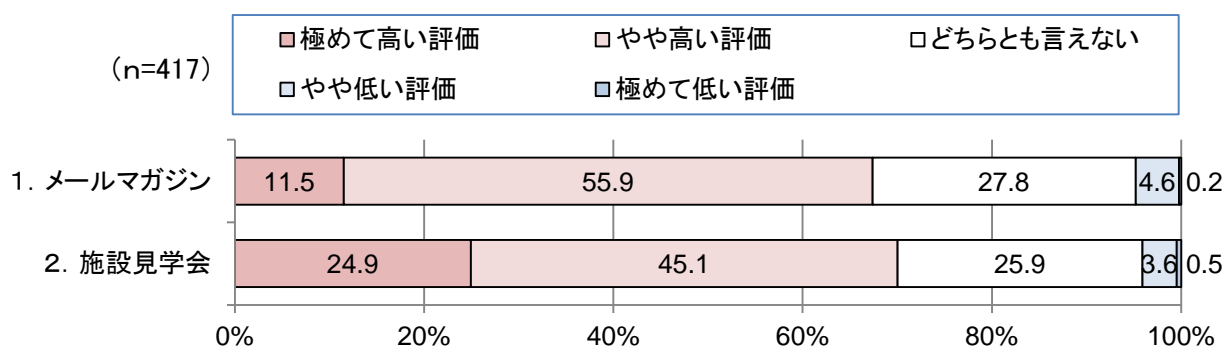
- ◇ 資料を見ながら答えるのは手間がかかり負担感がある。（50歳代女性、23区）
- ◇ 前のQで答えた通りです。事業計画の資料が多すぎる、もっと答え易いように簡易版を提示してくださいよう望みます。その他はとても良いと思います。（60歳代女性、多摩地区）
- ◇ 下水道は身近なものはずなのに、難しい言葉や長い文章での説明などが多く、あまり親しみを感じることができませんでした。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 5択の設問があるが、抽象的な評価基準となっており、個人的意識の差で回答にバラつきが出やすいのではないかと。もう少し、具体的な評価項目に絞り込みをしたほうが良いのではないかと。（60歳代男性、23区）
- ◇ 設問の日本語がわかりにくいです。また、設問自体がそもそも何を訊きたいのか、設問の意図がわかりにくいです。（50歳代男性、多摩地区）

2-4. メールマガジン及び施設見学会への評価

- ◆ メールマガジン及び施設見学会への評価については、【高い評価】※は、「1.メールマガジン」が67.4%、「2.施設見学会」が70.0%であった。

Q14. 下水道モニターでは、インターネットによる事業施策の評価等を伺うアンケートのほか、当局が定期的に配信するメールマガジンや、施設見学会を実施し、下水道事業に広く関心をもっていただく取組も行っています。メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表2-4 メールマガジン及び施設見学会への評価



※ メールマガジン及び施設見学会への評価について、「極めて高い評価」、「やや高い評価」の回答を合算した比率を【高い評価】、「やや低い評価」、「極めて低い評価」の回答を合算した比率を【低い評価】と定義した。

2-4-1. メールマガジン及び施設見学会への評価（1. メールマガジン）

- ◆ メールマガジン及び施設見学会への評価「1. メールマガジン」については、【高い評価】*が67.4%、【低い評価】*が4.8%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】*は、男性が女性より6.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】*は、60歳代が69.6%と最も多く、次いで20歳代と40歳代が同じく68.8%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】*は、23区が多摩地区より8.2ポイント高かった。

Q14. 下水道モニターでは、インターネットによる事業施策の評価等を伺うアンケートのほか、当局が定期的に配信するメールマガジンや、施設見学会を実施し、下水道事業に広く関心をもっていただく取組も行っています。メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【1. メールマガジン】

図表2-4-1 メールマガジン及び施設見学会への評価（メールマガジン）



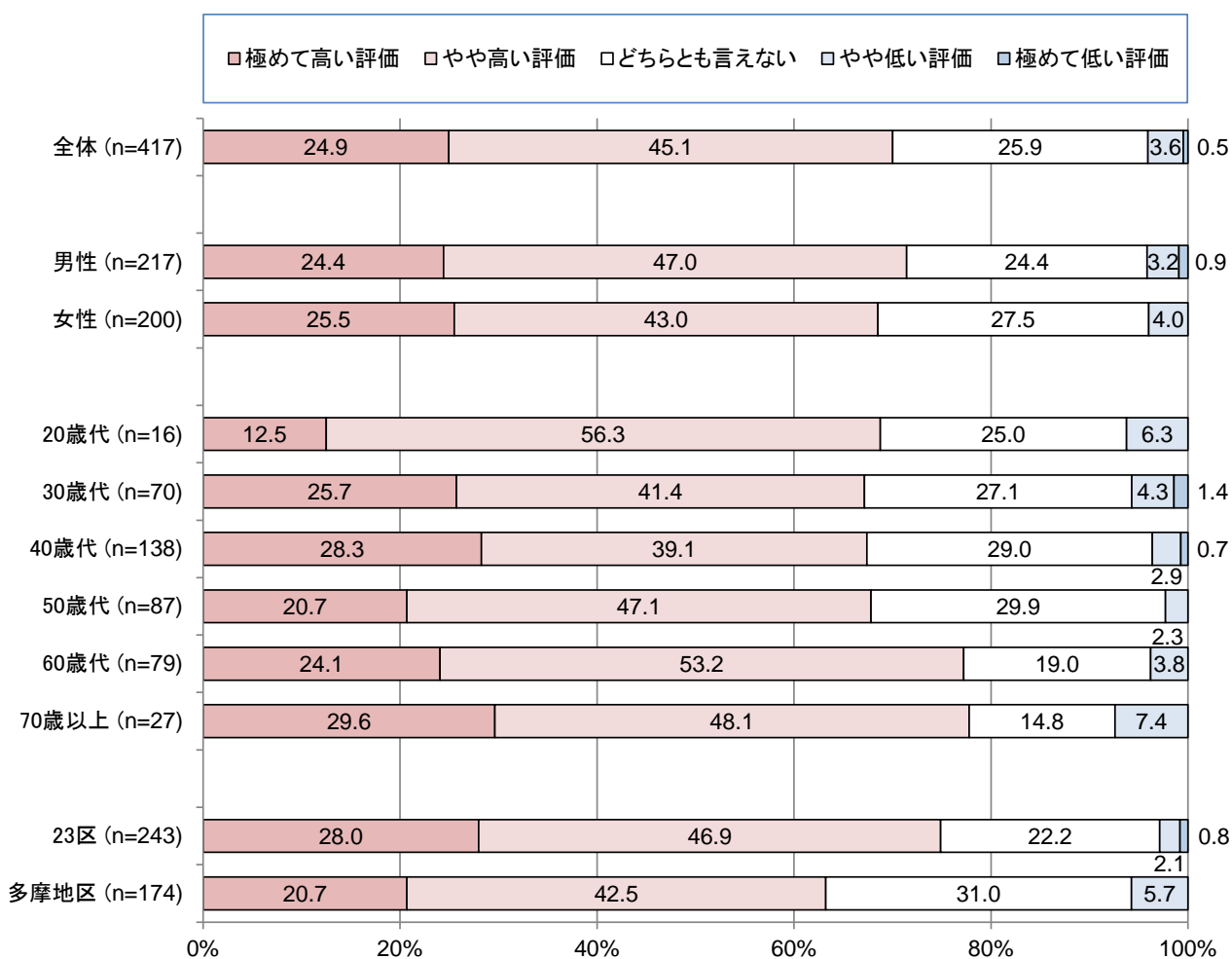
2-4-2. メールマガジン及び施設見学会への評価（2. 施設見学会）

- ◆ メールマガジン及び施設見学会への評価「2. 施設見学会」については、【高い評価】※が70.0%、【低い評価】※が4.1%であった。
- ◆ 性別で見ると、【高い評価】※は、男性が女性より2.9ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、【高い評価】※は、70歳以上が77.7%と最も多く、次いで60歳代が77.3%であった。
- ◆ 地域別で見ると、【高い評価】※は、23区が多摩地区より11.7ポイント高かった。

Q14. 下水道モニターでは、インターネットによる事業施策の評価等を伺うアンケートのほか、当局が定期的に配信するメールマガジンや、施設見学会を実施し、下水道事業に広く関心をもっていただく取組も行っています。メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

【2. 施設見学会】

図表2-4-2 メールマガジン及び施設見学会への評価（施設見学会）

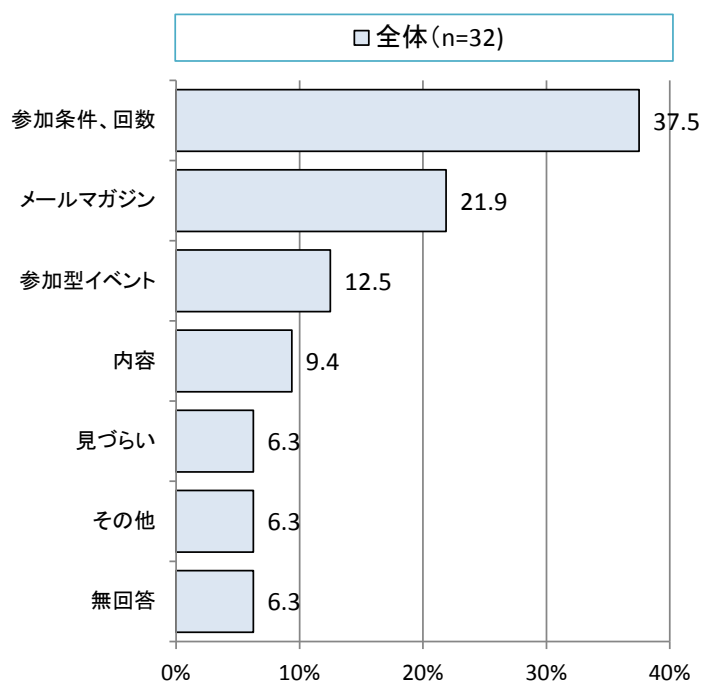


2-5. メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由（自由回答）

- ◆ メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由については、「参加条件、回数」が37.5%と最も多く、次いで「メールマガジン」が21.9%、「参加型イベント」が12.5%であった。
- ◆ 以下、メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q15. 上記Q14の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表2-5 メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由（自由回答）



【メールマガジン及び施設見学会への評価が低い理由】

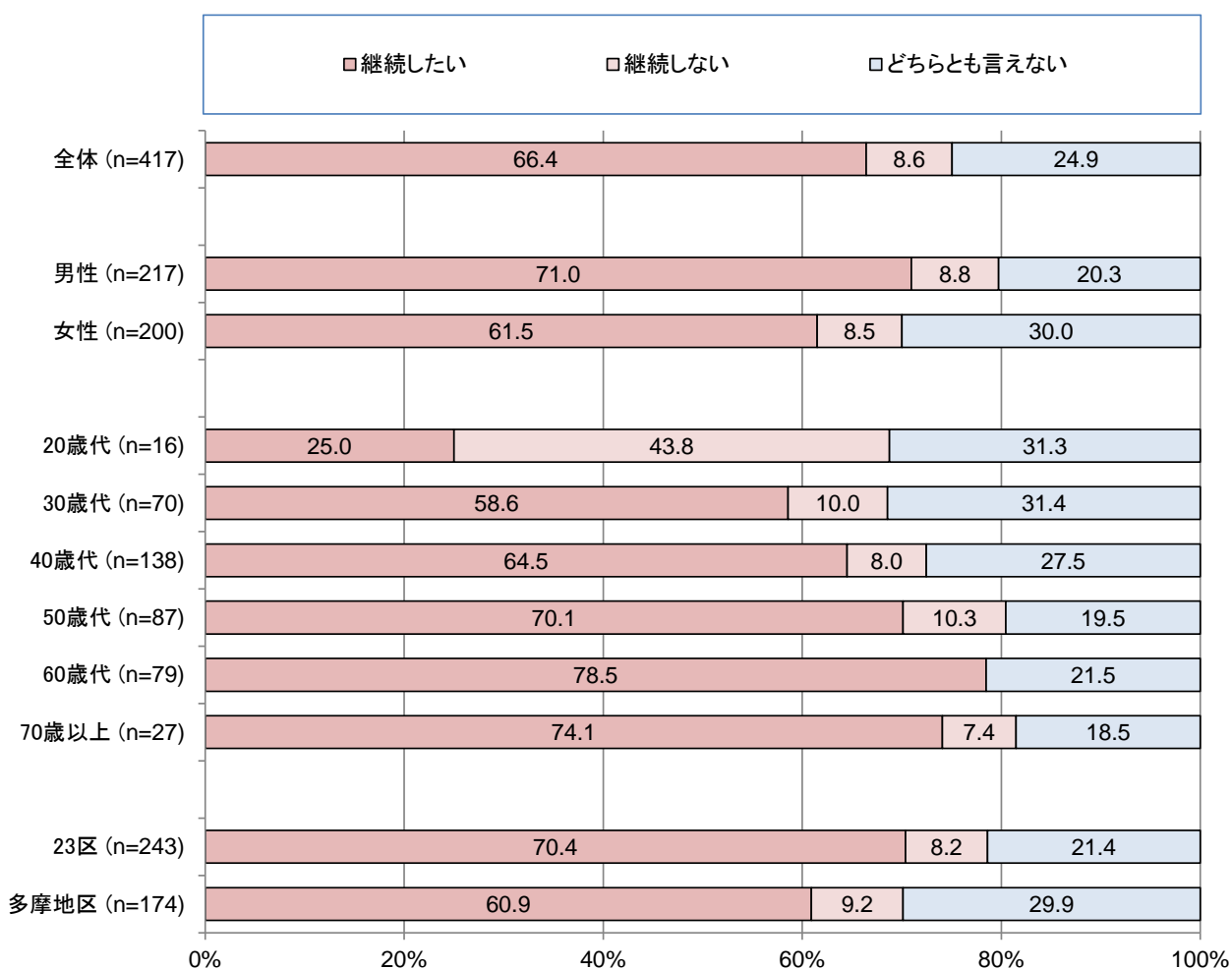
- ◇ 興味を持つ人がそれほど多いと思わないため。情報公開は必要だが、費用対効果の点でメールマガジンを作る必要があるかどうかはやや疑問に感じます。（40歳代男性、多摩地区）
- ◇ 施設見学をしたかったが、子供がいないと応募ができなかったり、回数が少なかった。もっと頻繁に開いてほしいです。（50歳代女性、多摩地区）
- ◇ ペア参加不可。休日や学校の休み（土日や長期休み）にあたらず、参加しづらい。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 参加できる人が限られてしまう。会社勤めの人にはなかなか参加できる人が少ないと思います。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 見学会等の開催頻度が少なすぎる。参画意識を植え付け、下水道行政のサポーターに育て上げる努力が不足している様に感じる。（60歳代男性、23区）

2-6. メールマガジンの継続受信意向

- ◆ メールマガジンの継続受信意向については、「継続したい」が66.4%、「継続しない」が8.6%、「どちらとも言えない」が24.9%であった。
- ◆ 性別で見ると、「継続したい」は、男性が女性より9.5ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「継続したい」は、70歳以上除いて、年齢があるにつれ割合が高くなる傾向にあり、60歳代が78.5%であった。
- ◆ 地域別で見ると、「継続したい」は、23区が多摩地区より9.5ポイント高かった。

Q16. 下水道局では、平成26年11月から、東京都下水道局メールマガジン『TOKYO下水道マガジン』の配信を開始しました。あなたは、下水道モニター終了後も、メールマガジンを継続して受信したい意志はありますか？以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）

図表2-6 メールマガジンの継続受信意向

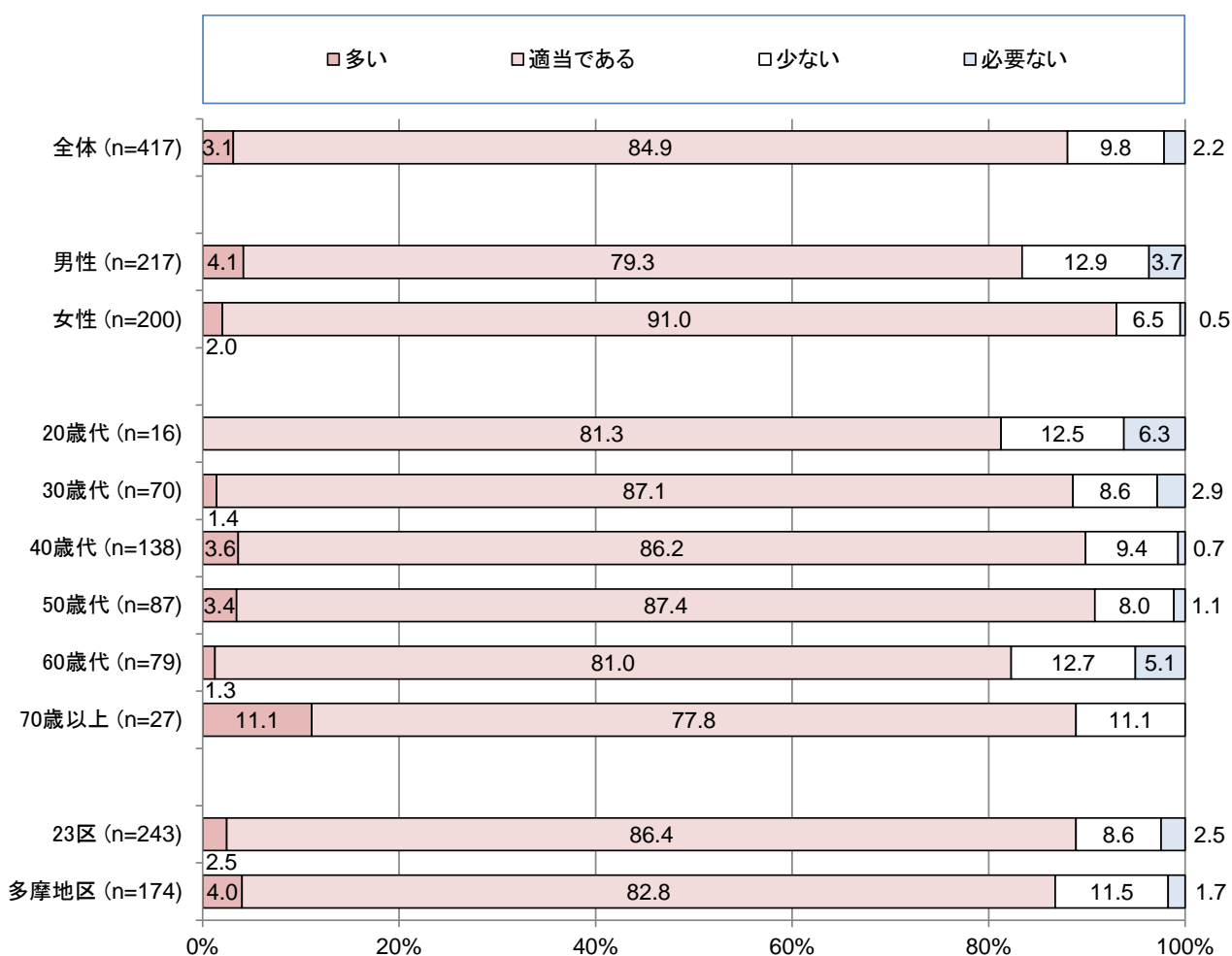


2-7. 謝礼について

- ◆ 謝礼については、「多い」が3.1%、「適当である」が84.9%、「少ない」が9.8%、「必要ない」が2.2%であった。
- ◆ 性別で見ると、「少ない」は、男性が女性より6.4ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「多い」は、70歳以上が11.1%、「少ない」は、60歳代が12.7%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、「適当である」は、23区が多摩地区より3.6ポイント高かった。

Q17. 下水道モニターでは、アンケートの回答数に応じて、1回あたり「500円の図書券」を謝礼として、すべてのアンケート終了時に贈呈しています。謝礼について、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。(単一回答)

図表2-7 謝礼について

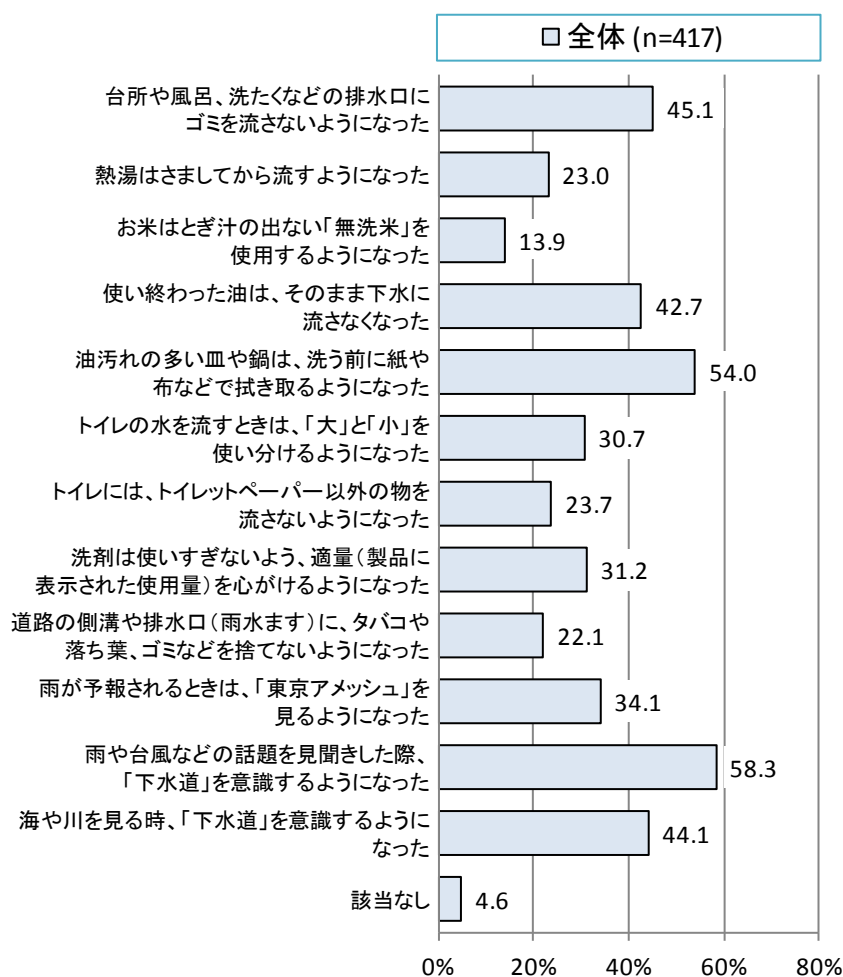


2-8-1. 意識や行動に変化のあった事項

- ◆ 意識や行動に変化のあった事項については、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が 58.3%と最も多く、次いで「油污れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が 54.0%、「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」が 45.1%であった。一方、「お米はとぎ汁の出ない「無洗米」を使用するようになった」は 13.9%と最も低かった。

Q18. 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化のあった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。
(複数回答)

図表2-8-1 意識や行動に変化のあった事項（全体）

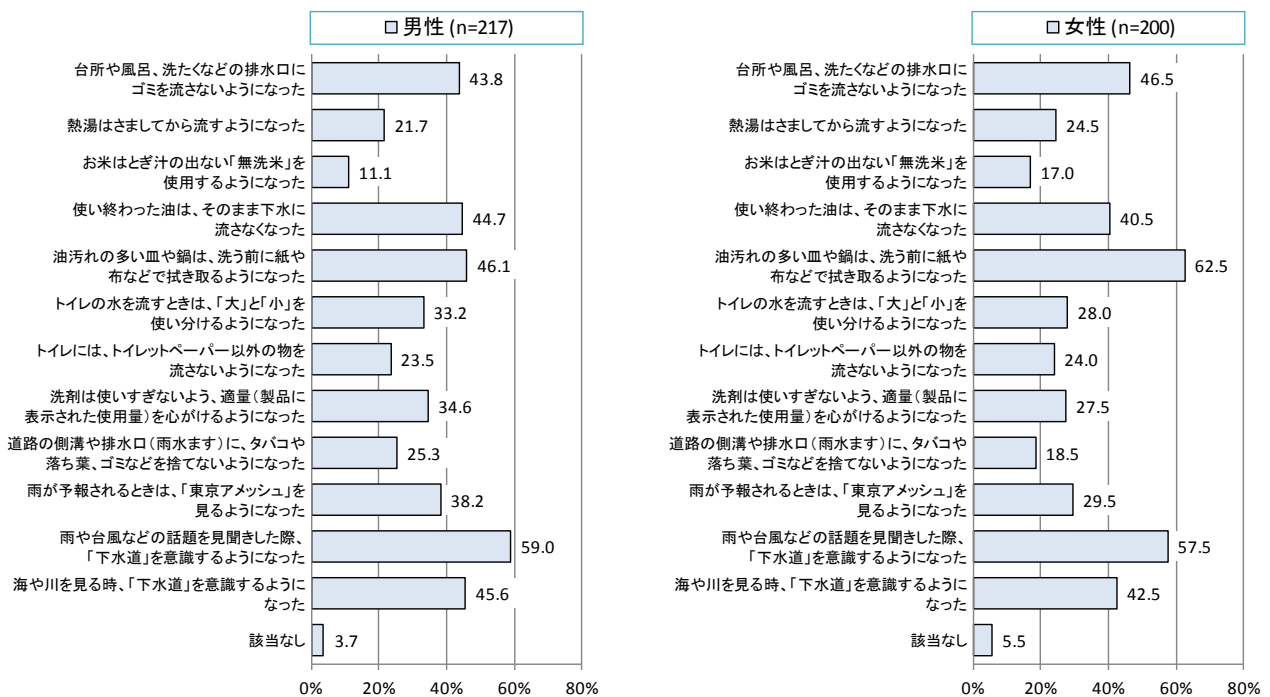


2-8-2. 意識や行動に変化のあった事項

- ◆ 意識や行動に変化のあった事項について性別でみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」は、男性が女性より 1.5 ポイント高く、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」と「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」は、それぞれ女性が男性より 16.4 ポイント、2.7 ポイント高かった。

Q18. 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化のあった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。
(複数回答)

図表2-8-2 意識や行動に変化のあった事項（性別）

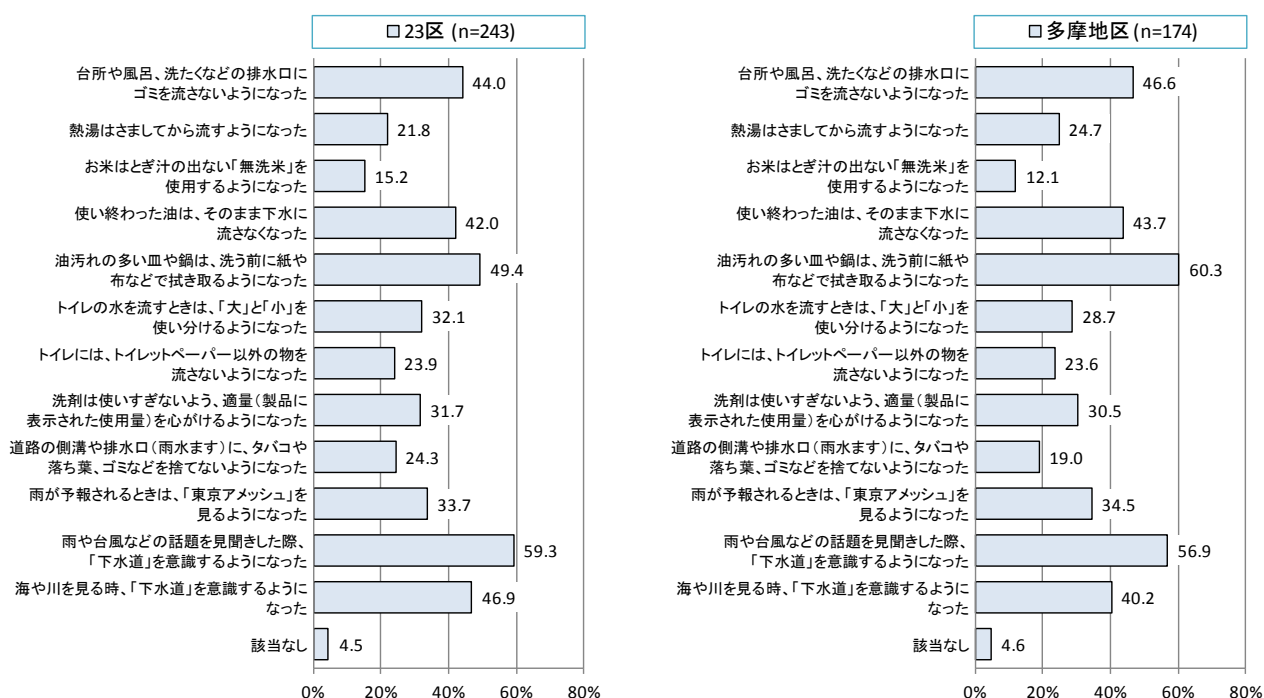


2-8-3. 意識や行動に変化のあった事項

- ◆ 意識や行動に変化のあった事項について地域別でみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」は、23区が多摩地区より2.4ポイント高く、「油污れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」と「台所や風呂、洗たくなどの排水口にゴミを流さないようになった」は、それぞれ多摩地区が23区より10.9ポイント、2.6ポイント高かった。

Q18. 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化のあった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。
(複数回答)

図表2-8-3 意識や行動に変化のあった事項（地域別）

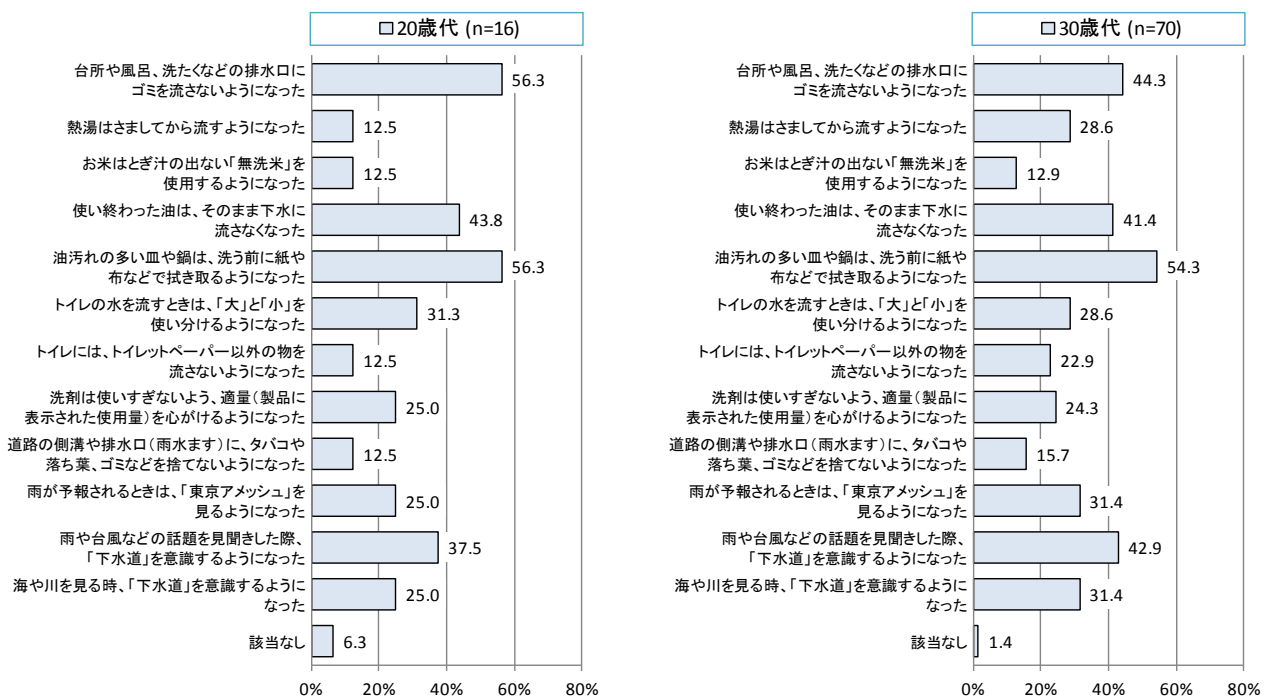


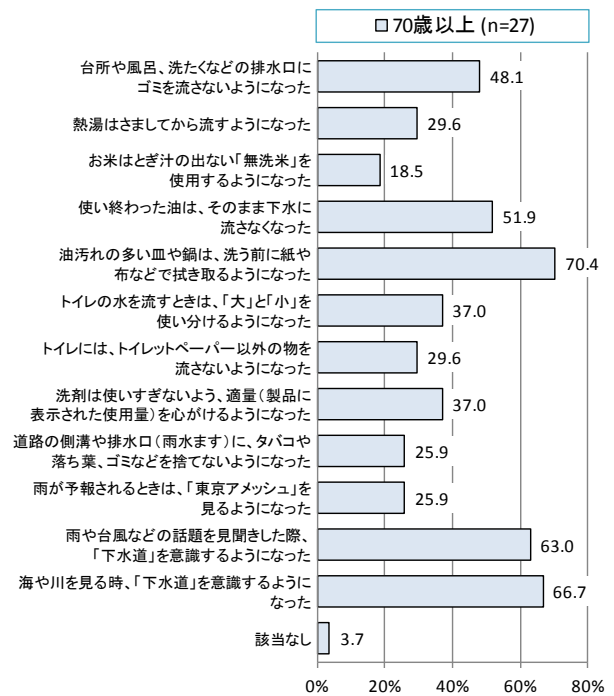
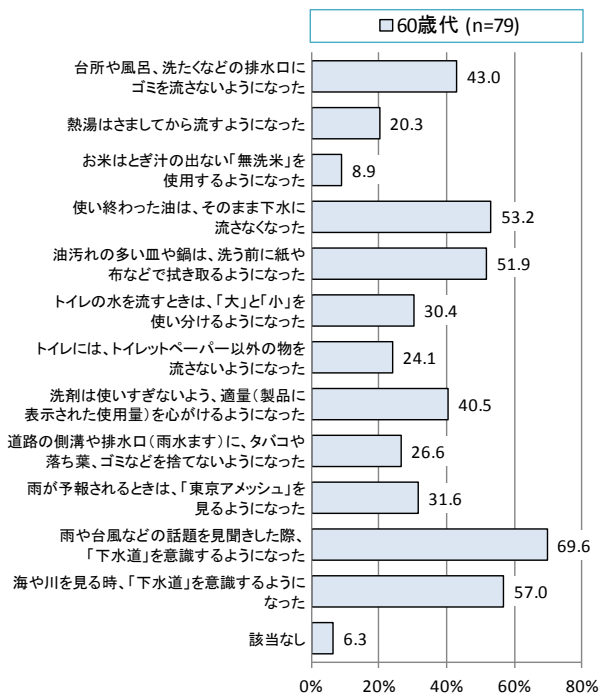
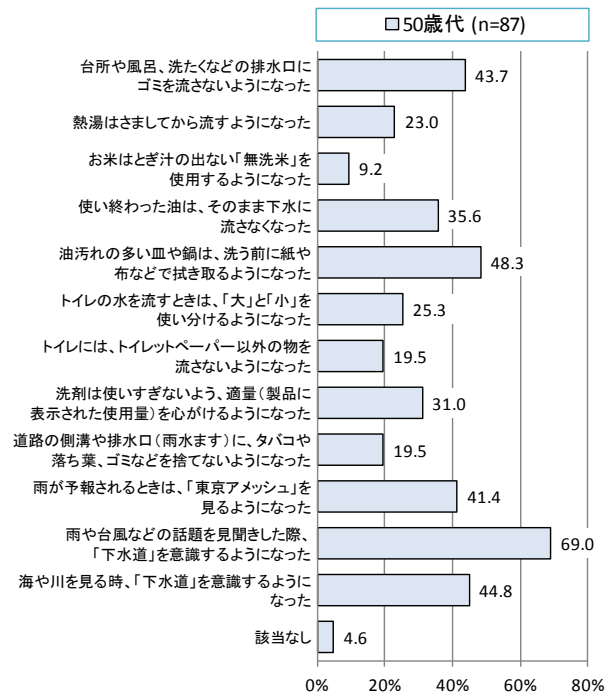
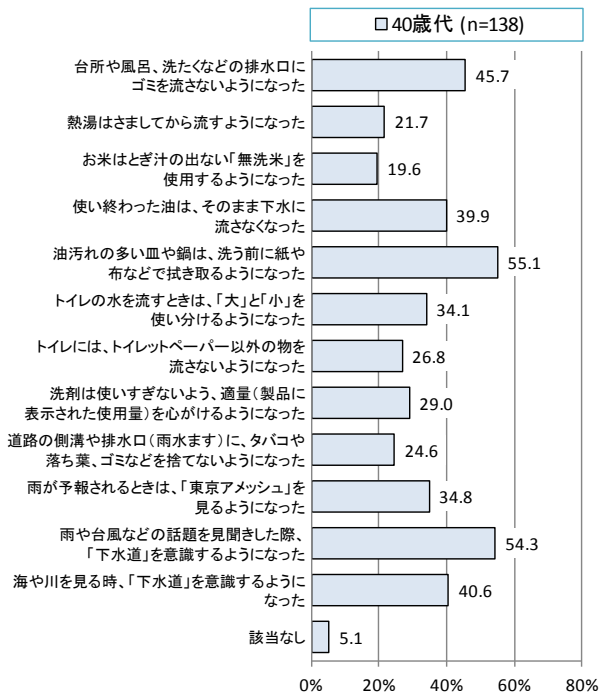
2-8-4. 意識や行動に変化のあった事項

- ◆ 意識や行動に変化のあった事項について年齢別でみると、50歳代と60歳代を除いて、他の年代では「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が最も多く、20歳代からそれぞれ56.3%、54.3%、55.1%、70.4%となっており、50歳代と60歳代では「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が最も多く、それぞれ69.0%、69.6%であった。

Q18. 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化のあった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。
(複数回答)

図表2-8-4 意識や行動に変化のあった事項（年代別）



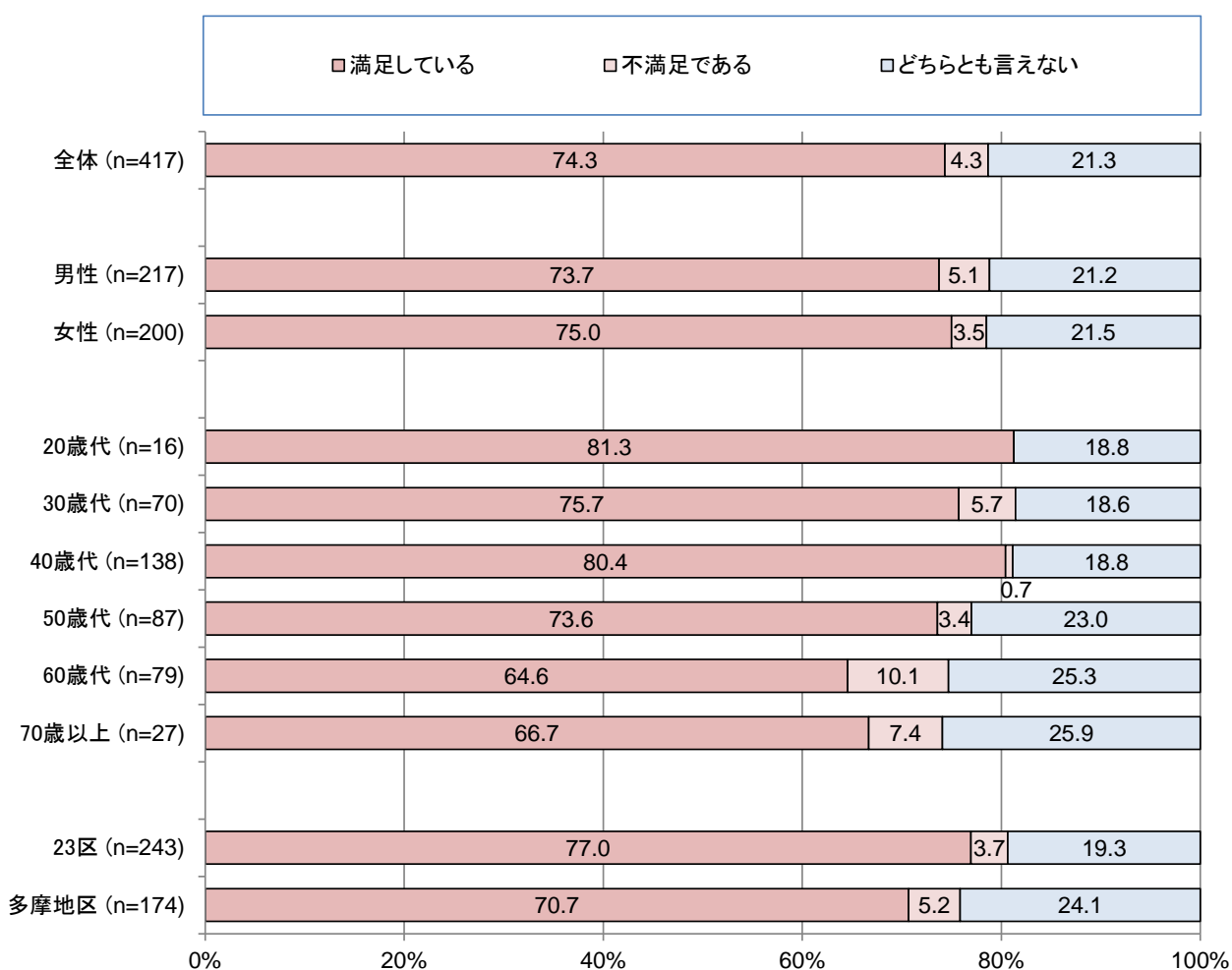


2-9. 下水道モニターの感想について

- ◆ 下水道モニターの感想については、「満足している」が74.3%、「不満足である」が4.3%、「どちらとも言えない」が21.3%であった。
- ◆ 性別で見ると、「満足している」は、女性が男性より1.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、「満足している」は、20歳代が81.3%と最も多く、次いで40歳代が80.4%となっており、「不満足である」は60歳代が10.1%と最も多かった。
- ◆ 地域別で見ると、「満足している」は、23区が多摩地区より6.3ポイント高かった。

Q19. 下水道モニターの感想として、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。
(単一回答)

図表2-9 下水道モニターの感想について

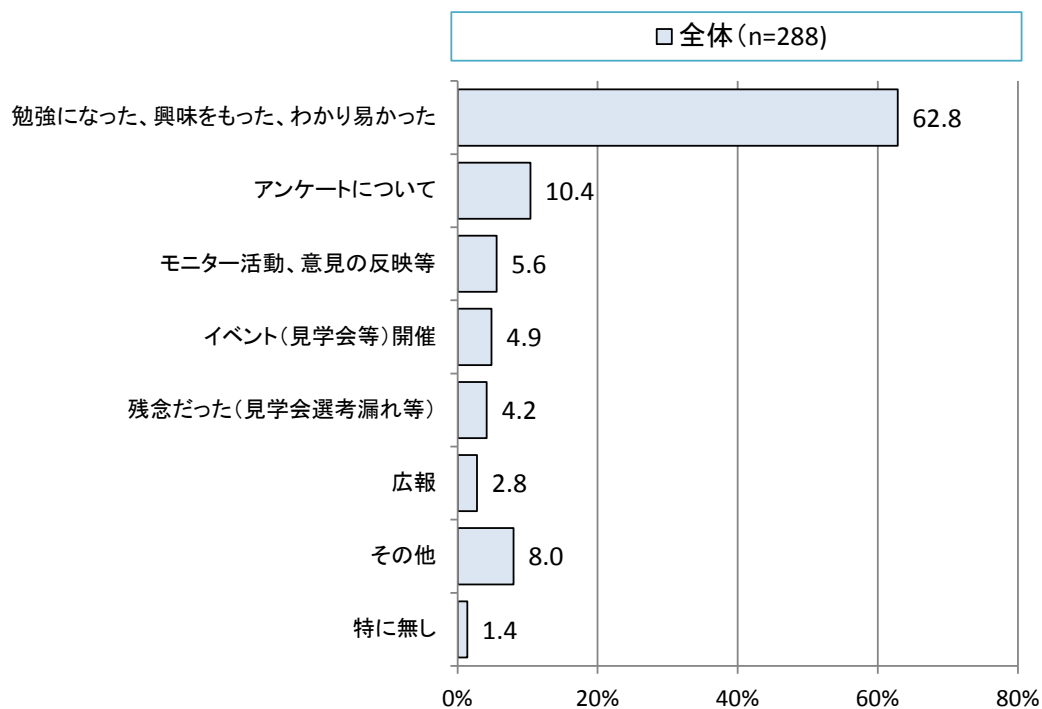


2-10. 下水道モニターの感想（自由回答）

- ◆ 下水道モニターの感想については、「勉強になった、興味を持った、わかり易かった」が62.8%と最も多く、次いで「アンケートについて」が10.4%、「その他」が8.0%であった。
- ◆ 以下、下水道モニターの感想を多数お寄せ頂いたので、一部紹介する。

Q20. 上記Q19の中で、具体的にどのような感想をお持ちであるか、自由にお答え下さい（自由回答）。

図表2-10 下水道モニターの感想（自由回答）



◆ 【勉強になった、興味をもった、わかり易かった】

- ◇ 専門的なデータを豊富に提示して下さり、読むのは結構たいへんでしたが、それでも一般向けに分かり易くなるように工夫されていたように思います。誠実かつ真摯な感触を得ました。アンケートの手順もスマートでした。（40歳代男性、23区）
- ◇ 難しい部分もあるが概ね理解できたと思う。下水道に対する考え方や見方が変わったと思う。（50歳代男性、多摩地区）
- ◇ 意識しなかった下水道に目が行くようになって良かったです。下水道にタバコの吸い殻や犬の糞を流す人に腹が立つようになりました。（40歳代男性、23区）

◆ 【アンケートについて】

- ◇ モニターになったことで、今までより関心を持ってよかったです。忙しい時期にアンケート回答期間が過ぎてしまい、何度か参加できなかったのが残念でした。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 身近でありながらも全く未知の分野でもあったので、提示される資料の解釈に時間を要した。アンケートの回答選択肢にも唐突なものがあった感も否めない。（60歳代男性、23区）
- ◇ もう少し参加していると感じられるものが必要だと思う。アンケートだけならモニターになる必要も無いと思う。集まって意見聞くとか無いなら、アンケート会社にお問い合わせすれば良いだけのものかと。こちらの意見をもっと出せるような方法があってこそモニターだと思う。（40歳代男性、23区）

◆ 【モニター活動、意見の反映等】

- ◇ モニターから何をほしいのだろう。評価？モニター自身の啓蒙？統計以前の仮説が存在しないように思われる。（60歳代男性、多摩地区）
- ◇ モニターに選んで頂いたことじたいは感謝しているが、設問じたいは難解で答えられないものが多い。また、モニターの意見が実際の現場で反映されているという実感が湧かない。（30歳代男性、多摩地区）
- ◇ 下水道と一口に意見を求められても範囲が広すぎて、勉強が追いつかない。下水道処理、温暖化対策などと項目を絞って調査担当を決め、現地調査等を行ってから、アンケートをするようにしたら、問題意識がさらに高まると思いますがいかがでしょうか。（60歳代女性、23区）

◆ 【イベント（見学会等）開催】

- ◇ 難しいかもしれないが、モニター向けの施設見学など、もう少し実際の現場を見学できる機会を増やして欲しいと思う。（50歳代男性、多摩地区）
- ◇ 水道局のイベント情報もわかり、モニターを行ってよかったですと思います。また次回も参加できたらと思っています。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 下水道局の取り組みや浸水対策などが非常に身近に感じられるようになった。また、施設見学会などの楽しいイベントがあり、とても充実していると思う。（40歳代男性、23区）

◆ 【残念だった（見学会選考漏れ等）】

- ◇ 施設見学会の集合場所の地図がとてもわかりにくく、実際に来る人のことを考えていないのではないかと思った。（40歳代女性、23区）
- ◇ 下水道モニターになって、施設見学できると思って楽しみにしていたのに、抽選で、しかもあたらずがっかりした。（50歳代女性、多摩地区）
- ◇ ただアンケートに答えるだけでなく、それと同時に下水道事業についてもっと幅広く知りたいと思いました。その意味で参加を申し込んだ施設見学会に参加出来なかったのは大変残念です。（60歳代男性、23区）

◆ 【広報】

- ◇ 子供が、小4で下水道の学習をしていたこともあり、親子で下水道について学ぶことができました。知らないことがたくさんあったので、多くの方に、知っていただきたいと思いました。もっと、手軽に情報がわかるようにされるといいのではないかと思います。広報活動が、かたい感じがしました。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 興味を持つか持たないかで下水道に限らずそうだと思います。身近なものなんですけど公報のあり方が凄く影響があるのではないかと思います。私もモニターをやらせて頂きほんの少しではありますが知ることが出来ました。（60歳代女性、23区）
- ◇ 見学会に参加して木場公園近傍に江東幹線工事が行われているのを知りました。近所に住みながら工事の事は全く知りませんでした。“水道ニュース”は新聞の折り込みで良く目にすることが多いが下水は余り見かけません。アメッシュを含めて”油・断”のPRを行うべきではないかと思います。（70歳以上男性、23区）

◆ 【その他】

- ◇ ライフライン維持運営ご苦労様です。これが機能不全を来すと大変な事態になります。（70歳以上男性、23区）
- ◇ 東京アメッシュは素晴らしいソフトで、子供達にもすすめ、しょっちゅう見ておりお気に入り登録しました。（50歳代女性、多摩地区）
- ◇ 上水が一瞬にして下水になる現実。水は、必需なのに上、下で分断。同じように大切にしないとという考えになる。同時に、人間が使える水は、貴重。（60歳代男性、23区）